

**土浦市多文化共生推進プラン
基礎調査業務 実施報告書**

平成 26 年 3 月

【目 次】

第1章 多文化共生推進プラン策定の背景や現在の市の状況について.....	1
1 多文化共生推進プランについて.....	1
(1) 多文化共生推進プラン策定の背景.....	1
(2) 多文化共生推進プランの策定の趣旨.....	1
(3) プランの位置づけ.....	1
(4) 策定委員会の役割.....	2
(5) 現在の取り組み.....	2
(6) プラン策定のスケジュール.....	3
2 多文化共生に関わる全国の状況.....	4
(1) 全国の外国人数.....	4
(2) 全国の国籍別外国人数.....	4
(3) 全国の在留資格別外国人数.....	5
(4) 身分または地位に基づく主な在留資格.....	5
(5) 都道府県別外国人数.....	6
3 多文化共生に関わる茨城県の状況.....	6
(1) 茨城県の外国人数.....	6
(2) 茨城県の国籍別外国人数.....	7
(3) 茨城県の在留資格別外国人数.....	7
(4) 茨城県の学校別外国人留学生数.....	8
(5) 茨城県の市町村別外国人数.....	8
4 多文化共生に関わる土浦市の状況.....	9
(1) 土浦市の外国人市民数.....	9
(2) 土浦市の国籍別外国人市民数.....	9
(3) 土浦市の在留資格別外国人市民数.....	10
(4) 土浦市の国籍別使用言語.....	10
(5) 土浦市の年齢別人口構成.....	11
(6) 土浦市の年齢別人口割合.....	11
(7) 土浦市の中学校区別外国人市民数.....	12
(8) 土浦市の町内別外国人市民数.....	12
(9) 土浦市の小学校別外国人児童数.....	13
(10) 土浦市の中学校別外国人生徒数.....	13

第2章 土浦市多文化共生に関する市民意識調査結果	14
I 実施概要	14
II 分析結果	15
1 調査結果のまとめ	15
2 調査結果	17
第3章 土浦市外国人市民等実態調査	48
I 実施概要	48
II 分析結果	49
1 調査結果のまとめ	49
2 調査結果	52
第4章 地域における外国人市民に関するアンケート	90
I 実施概要	90
II 分析結果	91
(1)-1 外国人世帯の町内会加入について（単数回答）	91
(1)-2 外国人世帯が加入している場合の世帯数について（単数回答）	92
(2)-1 外国人市民の町内会行事の参加について（単数回答）	92
(2)-2 町内会行事への参加ありの場合の人数	93
(3)外国人市民に関する町内での困りごとなどについての主な意見	93

第1章 多文化共生推進プラン策定の背景や現在の市の状況について

1 多文化共生推進プランについて

(1) 多文化共生推進プラン策定の背景

- ・平成2年以降、外国人市民が著しく増加し、定住化傾向が進む。
- ・平成18年3月、総務省が「地域における多文化共生推進プラン」策定。
- ・平成24年7月、入国管理法が改正され、外国人登録制度が廃止。

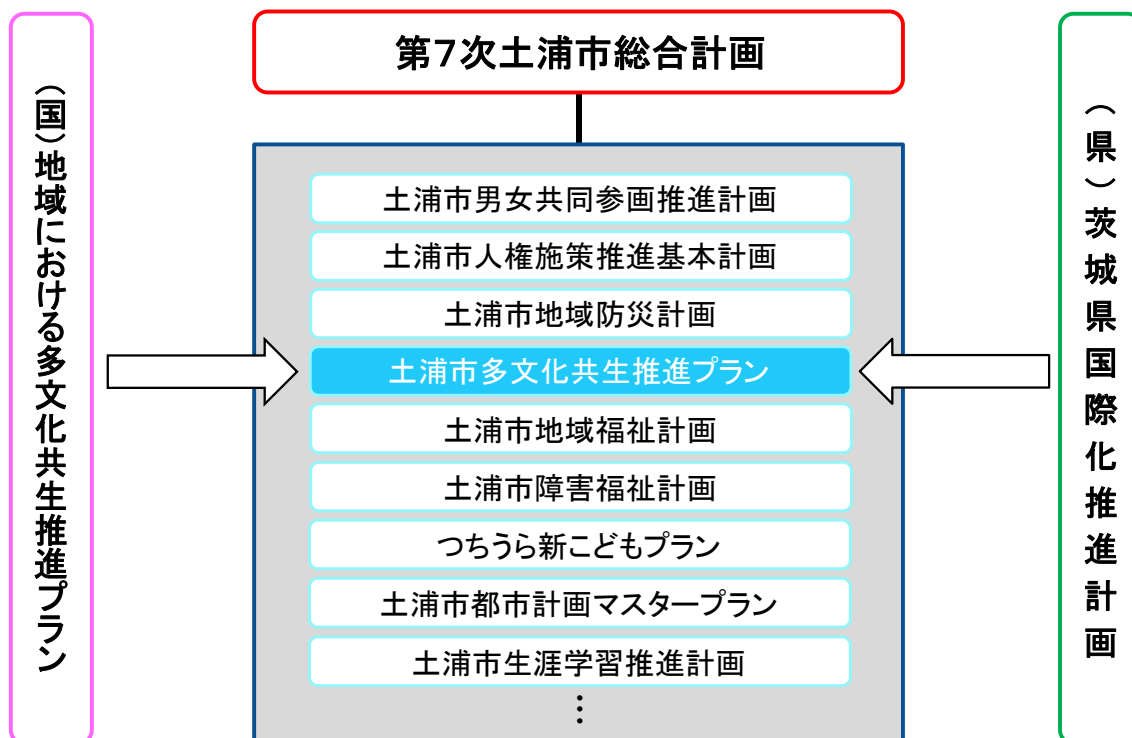
(2) 多文化共生推進プランの策定の趣旨

異なる文化的な背景を持つ外国人市民と日本人市民が同じ市民として互いに尊重し、共に支え合いながら暮らして行けるまちづくりの指針となる多文化共生推進プランを策定する。

※多文化共生とは：

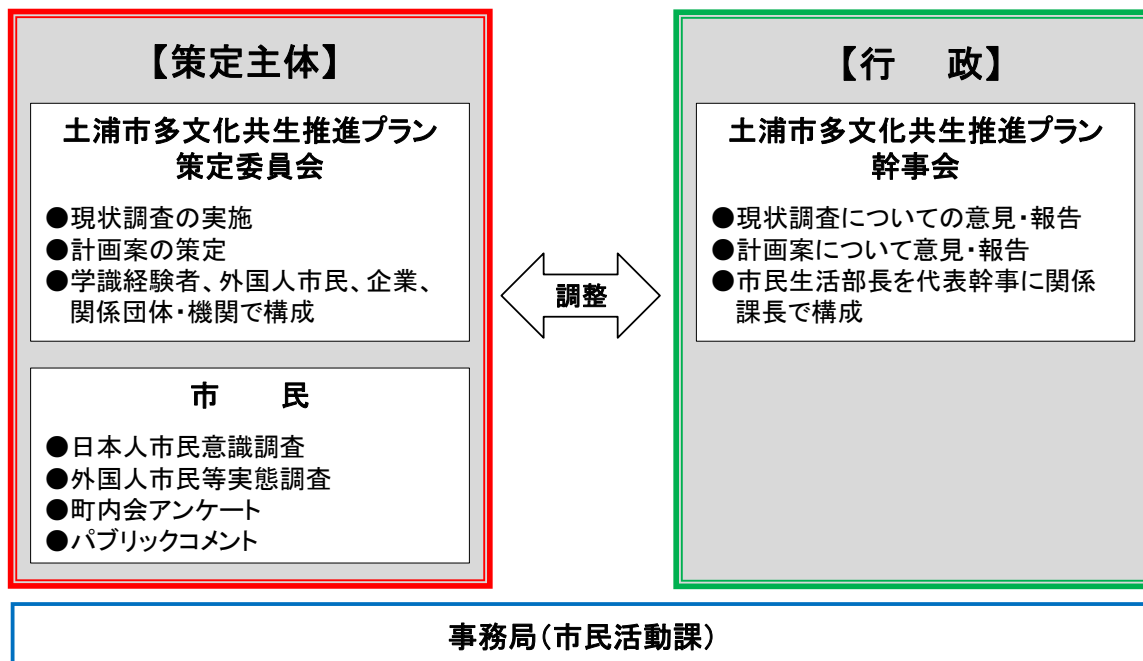
「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていくこと」

(3) プランの位置づけ



(4) 策定委員会の役割

◆多文化共生推進プラン策定体制



(5) 現在の取り組み

①土浦市の国際化推進の主な取り組み

- ア) 姉妹都市・友好都市交流
- イ) 生活ガイドブック（6か国語）の発行
- ウ) 国際理解教室「世界の友達と話そう」の開催
- エ) 日本語指導教室の設置

②土浦市国際交流協会との連携

●主な事業

ア)国際交流事業

キララまつり七夕おどり参加、クッキング交流、国際協力出前講座等

イ) 姉妹都市及び友好都市交流事業

中学生交換交流、かすみがうらマラソン姉妹・友好都市招待選手との交流等

ウ) 多文化共生事業

日本語教室、日本語ボランティア養成講座、多国語講座、地域ふれあい事業、国際交流ボランティアの活用等

エ) 広報事業

ニューズレター発行、カレーフェスティバル参加等

(6) プラン策定のスケジュール

①平成 25 年度 主な事業のスケジュール

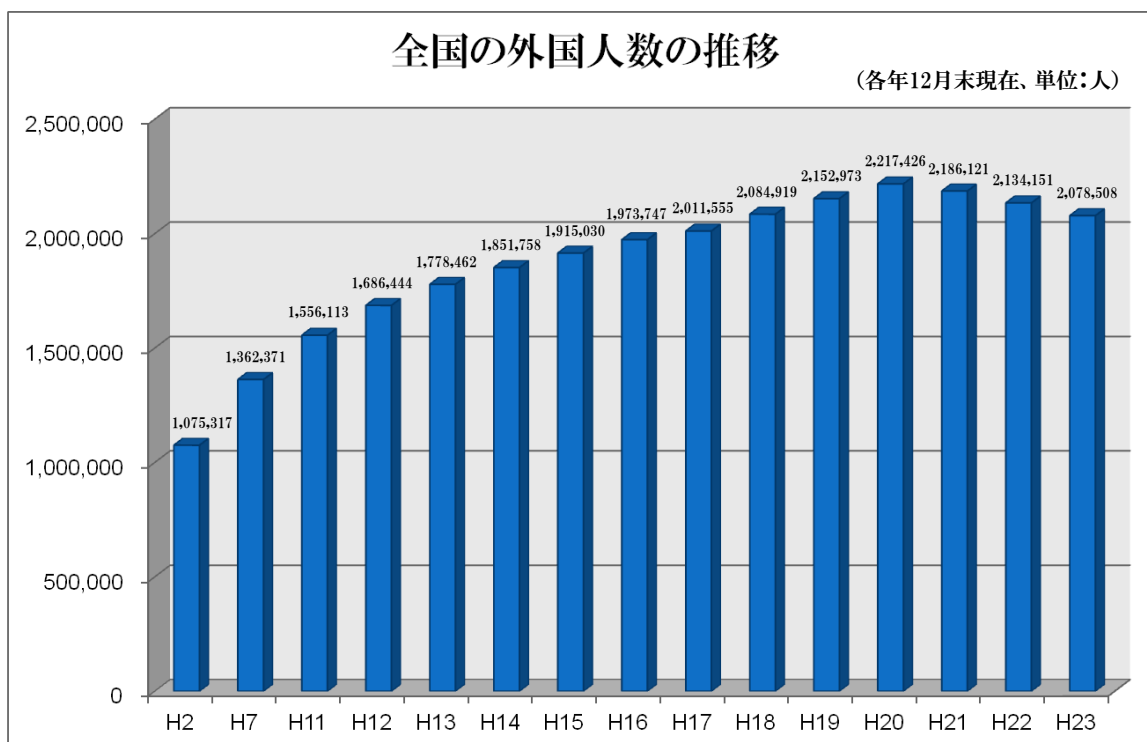
年	月	内 容
平成25年	8月	第1回幹事会(土浦市の現状について、日本人市民意識調査、外国人市民等実態調査等について)
	9月	第1回策定委員会(委員の委嘱、土浦市の現状について、日本人市民意識調査、外国人市民等実態調査等について)
	10~12月	日本人市民意識調査、外国人市民等実態調査、町内会アンケート
平成26年	1月	地区長を対象とした外国人関係の課題調査
	2月	第2回幹事会(日本人市民意識調査・外国人市民等実態調査・町内会アンケート結果について、現状分析と課題の整理について)
		第2回策定委員会(日本人市民意識調査・外国人市民等実態調査・町内会アンケート結果について、現状分析と課題の整理について)

②平成 26 年度 主な事業のスケジュール

年	月	内 容
平成26年	7月	第3回幹事会(多文化共生推進プラン分野別課題と施策の体系の整理)
		第3回策定委員会(多文化共生推進プラン分野別課題と施策の体系の整理)
	9月	第4回幹事会(多文化共生推進プラン素案の検討・作成)
		第4回策定委員会(多文化共生推進プラン素案の検討・作成)
平成27年	1月	パブリックコメント募集
	2月	第5回幹事会(多文化共生推進プラン最終案の確認)
		第5回策定委員会(多文化共生推進プラン最終案の確認)
	3月	土浦市多文化共生推進プランの策定

2 多文化共生に関わる全国の状況

(1) 全国の外国人数



(2) 全国の国籍別外国人数

平成23年12月末現在

順位	国籍	人数 (人)	構成比 (%)
1	中国	674,879	32.5
2	韓国・朝鮮	545,401	26.2
3	ブラジル	210,032	10.1
4	フィリピン	209,376	10.1
5	ペルー	52,843	2.5
6	米国	49,815	2.4
7	ベトナム	44,690	2.2
8	タイ	42,750	2.1
9	インドネシア	24,660	1.2
10	インド	21,501	1.0
	その他	202,561	9.7
合計		2,078,508	100.0

(3) 全国の在留資格別外国人数

平成23年12月末現在

順位	在留資格	人数(人)	割合(%)
1	永住者	598,440	28.8
2	特別永住者	389,085	18.7
3	留学	188,605	9.1
4	日本人の配偶者等	181,617	8.7
5	定住者	177,983	8.6
6	家族滞在	119,359	5.7
7	技能実習2号口	78,090	3.8
8	人文知識・国際業務	67,854	3.3
9	技能実習1号口	57,187	2.7
10	技術	43,634	2.1
	その他	176,654	8.5
合計		2,078,508	100.0

(4) 身分または地位に基づく主な在留資格

在留資格	本邦において有する身分又は地位	該当例	在留期間
特別永住者	第二次世界大戦以前から日本に住み、昭和27(1952)年サンフランシスコ講和条約により日本国籍を離脱した後も日本に在留している台湾・朝鮮半島出身者とその子孫	入国管理特例法によって永住資格が認められた者	無期限
永住者	法務大臣が永住を認める者	法務大臣から永住の許可を受けた者(入管特例法の「特別永住者」を除く。)	無期限
定住者	法務大臣が特別な理由を考慮し一定の在留期間を指定して居住を認める者	インドシナ難民、日系3世、中国残留邦人等	5年、3年、1年、6月又は法務大臣が個々に指定する期間(5年を超えない範囲)
日本人の配偶者等	日本人の配偶者若しくは民法(明治29年法律第89号)第817条の2の規定による特別養子又は日本人の子として出生した者	日本人の配偶者・実子・特別養子	5年、3年、1年又は6月

※このほかの在留資格については、留学や家族滞在など様々な活動を行うための資格がある。

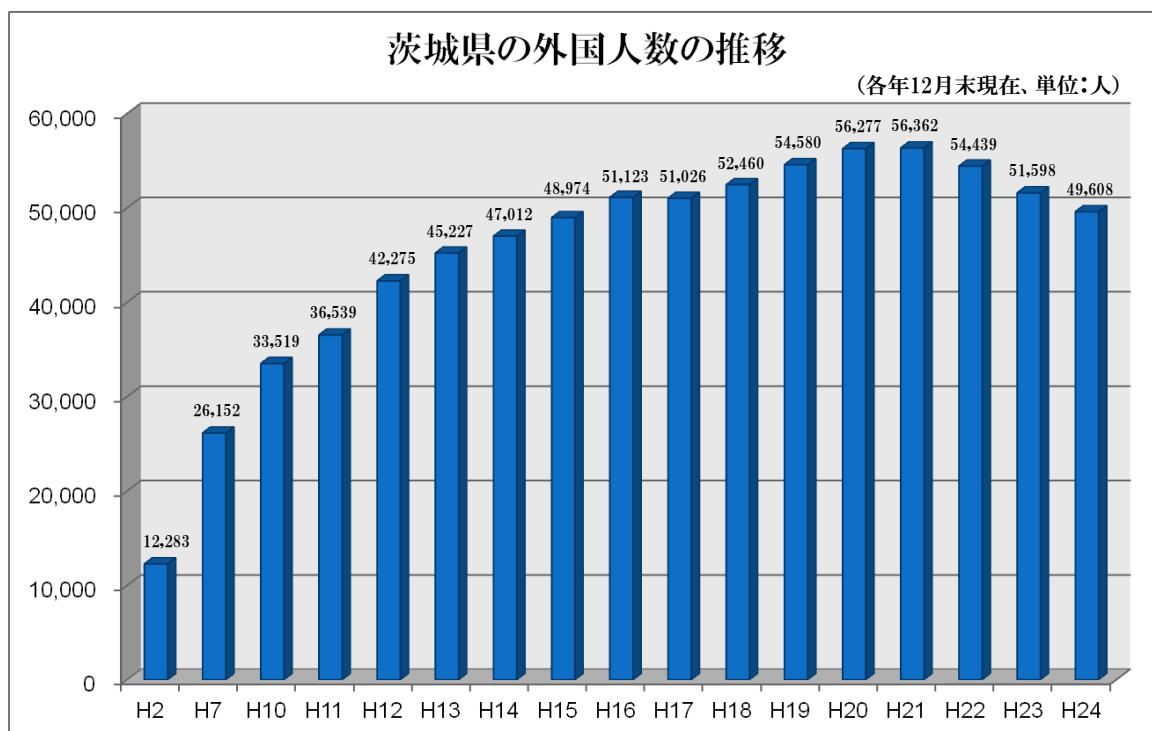
(5) 都道府県別外国人数

平成23年12月末現在

順位	都道府県名	人数(人)	構成比(%)
1	東京都	405,692	19.5
2	大阪府	206,324	9.9
3	愛知県	200,696	9.7
4	神奈川県	166,154	8.0
5	埼玉県	119,727	5.8
6	千葉県	110,235	5.3
7	兵庫県	98,515	4.7
8	静岡県	82,184	4.0
9	京都府	52,563	2.5
10	福岡県	52,555	2.5
11	茨城県	51,598	2.5
	その他	532,265	25.6
合計		2,078,508	100.0

3 多文化共生に関わる茨城県の状況

(1) 茨城県の外国人数



(2) 茨城県の国籍別外国人数

平成24年12月末現在

順位	国 籍	人 数 (人)	構成比 (%)
1	中 国	14,922	30.1
2	フィリピン	7,840	15.8
3	ブラジル	6,154	12.4
4	韓国・朝鮮	5,163	10.4
5	タ イ	4,129	8.3
6	インドネシア	1,884	3.8
7	ペルー	1,641	3.3
8	ベトナム	1,278	2.6
9	スリランカ	824	1.7
10	パキスタン	752	1.5
	その他	5,021	10.1
合計		49,608	100.0

(3) 茨城県の在留資格別外国人数

平成23年12月末現在

順位	在留資格	人 数 (人)	割 合 (%)
1	永住者	15,326	29.7
2	定住者	7,241	14.0
3	日本人の配偶者等	5,941	11.5
4	技能実習1号口	4,190	8.1
5	技能実習2号口	4,100	8.0
6	特別永住者	2,794	5.4
7	留学	2,610	5.1
8	家族滞在	2,382	4.6
9	短期滞在	1,145	2.2
10	人文知識・国際業務	798	1.6
	その他	5,071	9.8
合計		51,598	100.0

(4) 茨城県の学校別外国人留学生数

(各年5月1日現在、単位：人)

学校名	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
筑波大学	1,337	1,522	1,697	1,665	1,681
流通経済大学	601	617	581	569	507
茨城大学	221	238	264	295	290
筑波学院大学	74	66	53	39	36
茨城工業高等専門学校	7	8	9	12	12
総合研究大学院大学	14	14	13	11	10
常磐大学	11	10	9	8	6
茨城キリスト教大学	18	22	14	3	6
水戸短期大学	36	10	9	3	0
筑波技術大学	2	3	3	3	4
つくば国際大学	1	1	1	0	0
つくば国際短期大学	0	0	0	0	0
計	2,322	2,511	2,653	2,608	2,552

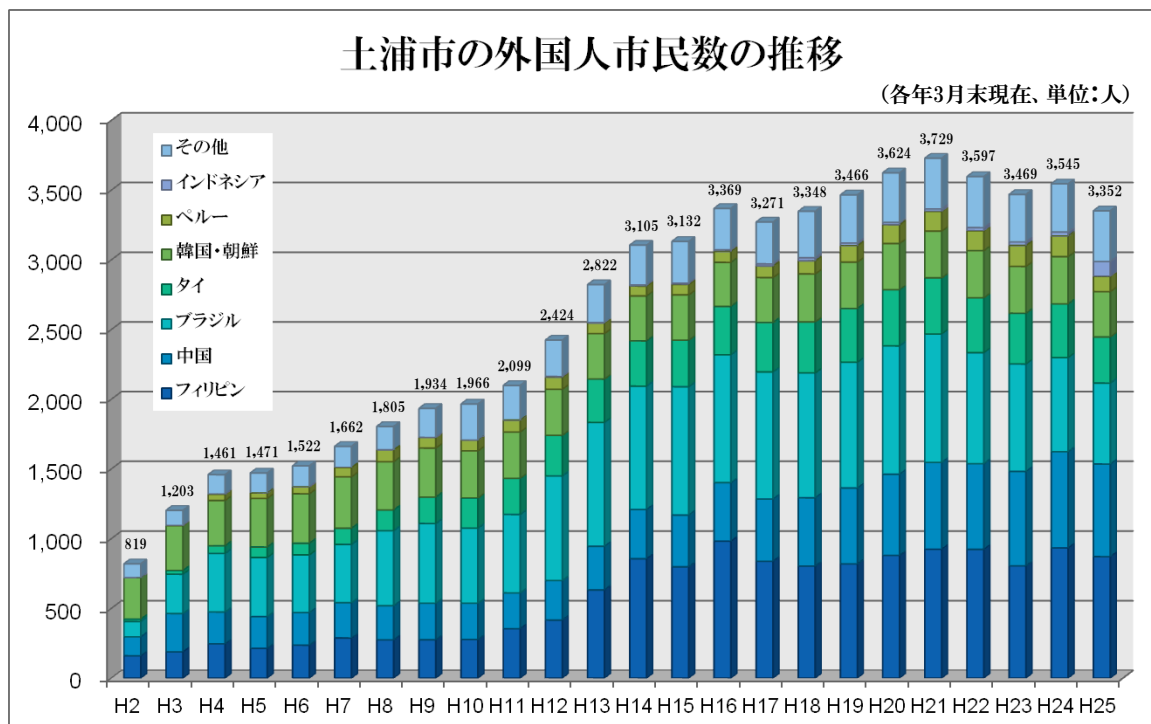
(5) 茨城県の市町村別外国人数

平成24年12月末現在

順位	市町村名	人 数 (人)	構成比 (%)
1	つくば市	6,999	14.1
2	常総市	3,945	8.0
3	土浦市	3,414	6.9
4	水戸市	2,877	5.8
5	古河市	2,344	4.7
6	神栖市	2,227	4.5
7	鉾田市	2,069	4.2
8	筑西市	1,827	3.7
9	結城市	1,564	3.1
10	坂東市	1,551	3.1
	その他	20,791	41.9
合計		49,608	100.0

4 多文化共生に関わる土浦市の状況

(1) 土浦市の外国人市民数



(2) 土浦市の国籍別外国人市民数

平成25年3月末現在

順位	国籍	人数 (人)	構成比 (%)
1	フィリピン	871	26.0
2	中国	664	19.8
3	ブラジル	581	17.3
4	タイ	331	9.9
5	韓国・朝鮮	325	9.7
6	ペルー	110	3.3
7	インドネシア	106	3.2
8	台湾	54	1.6
9	スリランカ	45	1.3
10	米国	37	1.1
	その他	228	6.8
合計		3,352	100.0

(3) 土浦市の在留資格別外国人市民数

平成25年3月末現在

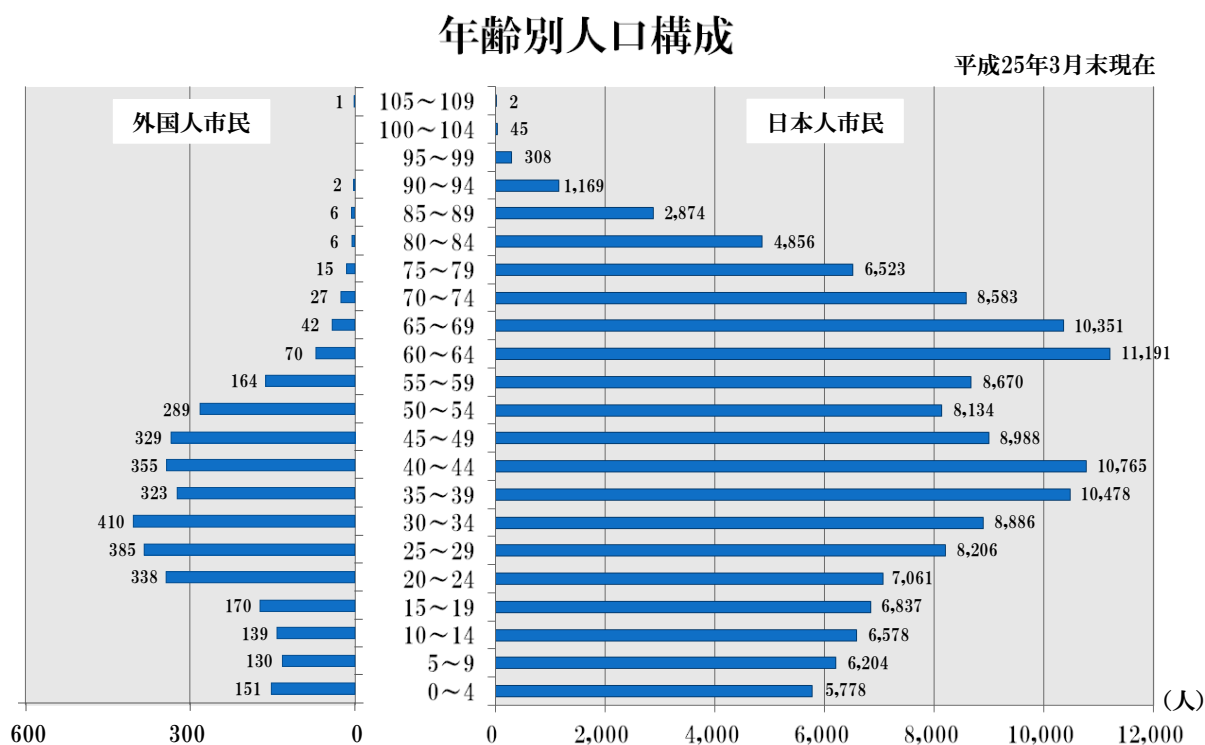
順位	在留資格	人 数 (人)	構成比 (%)
1	永住者	1,345	40.1
2	定住者	535	16.0
3	日本人の配偶者等	383	11.4
4	技能実習2号口	266	7.9
5	特別永住者	196	5.9
6	技能実習1号口	189	5.6
7	家族滞在	120	3.6
8	技術	63	1.9
9	永住者の配偶者等	53	1.6
10	人文知識・国際業務	50	1.5
10	技能	50	1.5
	その他	102	3.0
合計		3,352	100.0

(4) 土浦市の国籍別使用言語

平成25年3月末現在

順位	言語	言語使用国等	人数(人)	割合(%)
1	英 語	フィリピン、米国、インド、英国等	958	28.6
2	中国語	中国、台湾	718	21.4
3	ポルトガル語	ブラジル	581	17.3
4	タイ語	タイ	331	9.9
5	韓国語	韓国・朝鮮	325	9.7
6	スペイン語	ペルー	110	3.3
7	インドネシア語	インドネシア	106	3.2
	その他	スリランカ、ベトナム、イラン等	223	6.6
合計			3,352	100.0

(5) 土浦市の年齢別人口構成



(6) 土浦市の年齢別人口割合

平成25年3月末現在

年 齢	日本人市民		外国人市民	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
0~14歳 (年少人口)	18,564	13.0	420	12.5
15~64歳 (生産年齢人口)	89,216	62.6	2,833	84.5
65歳~ (高齢人口)	34,711	24.4	99	3.0
合 計	142,491	100.0	3,352	100.0

(7) 土浦市の中学校区別外国人市民数

平成25年3月末現在

順位	中学校区	人数(人)	構成比(%)
1	五中地区	1,115	33.3
2	三中地区	733	21.9
3	二中地区	363	10.8
4	一中地区	296	8.8
5	四中地区	283	8.4
6	都和中地区	277	8.3
7	六中地区	228	6.8
8	新治中地区	57	1.7
合計		3,352	100.0

(8) 土浦市の町内別外国人市民数

平成25年3月末現在

順位	町名	人数(人)	構成比(%)
1	神立中央四丁目	162	4.8
2	神立町1区	160	4.8
3	神立中央五丁目	126	3.8
4	神立中央三丁目	112	3.3
5	中神立町	109	3.3
6	神立東二丁目	97	2.9
7	神立中央二丁目	84	2.5
8	乙戸町	82	2.5
9	プリマハム	75	2.2
10	神立中央一丁目	72	2.1
	その他	2,273	67.8
合計		3,352	100.0

(9) 土浦市の小学校別外国人児童数

平成25年5月1日現在

	土浦小	下高津小	大岩田小	真鍋小	都和小	荒川沖小	中村小	第二小	神立小	右籾小	都和南小	乙戸小	菅谷小	合計	要指導
フィリピン	1	1		4		6	9	1	8	2	3	4	1	40	27
ブラジル	1		1		1	1			28		1		4	37	14
中国					1			3	4		1			9	1
タイ		1		1		2	2			1	1			8	1
韓国		2	1	2				1						6	
ペルー									6					6	5
アメリカ			2					1						3	2
台湾	1						1							2	
インド								1						1	
インドネシア						1								1	1
ケニア	1													1	1
ネパール					1									1	1
ポルトガル									1					1	1
ロシア				1										1	1
バングラディシュ				1										1	
ニュージーランド		1												1	1
スリランカ									1					1	1
合計	4	5	4	9	3	10	12	7	48	3	6	4	5	120	57

(10) 土浦市の中学校別外国人生徒数

平成25年5月1日現在

	一中	二中	三中	四中	五中	六中	都和中	合計	要指導
ブラジル	1	4			16	1	3	25	5
フィリピン	1	3	10		2	2		18	6
タイ			3	1	1	2		7	
中国					1		3	4	
アメリカ			1				1	2	
韓国	1		1					2	
ポリビア					1			1	1
ベトナム							1	1	
ロシア			1					1	
インドネシア	1							1	
マルタ					1			1	
イラン						1		1	
ラオス・タイ					1			1	
合計	4	7	16	1	23	6	8	65	12

第2章 土浦市多文化共生に関する市民意識調査結果

I 実施概要

①実施概要

- ・ 調査実施時期：平成 25 年 10 月～11 月
- ・ 調査対象：土浦市に居住している満 20 歳以上の男女 3,000 人
- ・ 調査項目：外国人市民との交流状況、外国人市民との暮らしについての意識、多文化共生のためにすべきことなど全 31 項目
- ・ 配布方法：郵送
- ・ 回収方法：郵送

②調査結果

配布部数	郵送戻等	対象者数	回収数	回収率
3,000 人	36 人	2,964 人	1,122 人	37.9%

II 分析結果

1 調査結果のまとめ

- ◆ 若い世代は、外国人市民との付き合いが少なく、親しみをあまり感じていない傾向が見られる。一方で、外国人との交流を求める傾向も強く、交流のきっかけ、場所の確保が必要である。
- ◆ 具体的な外国人市民との交流としては、イベントや講座など外国人市民や外国の文化、言語と触れ合う機会に関する要望が多く、自発的に交流をしている人は少ない。
- ◆ 外国人市民が増えることで「トラブルやもめごとが増える」「治安が悪化する」等のマイナスイメージを抱く人が多い。
- ◆ 外国人市民が日本で暮らすためには、生活ルールを守り、日本の習慣や文化を受け入れて欲しいと望んでいる。
- ◆ 日本人市民として、外国人市民に対する偏見を捨て、あいさつなどの声かけを行い、生活習慣やルールを理解してもらうための活動が必要であると感じている。

①外国人市民との交流の状況

- ▶ 日常会話ができる外国語はない日本人市民は 72.4%、日常会話ができる外国語については、英語が 12.5%という状況である。
- ▶ 外国人市民との交流がある日本人市民は 24.4%で、具体的には近所付き合いや友人、会社の同僚として付き合いがある。
- ▶ 20 歳代の 81.6%が外国人市民との付き合いがなく、30 歳代以上よりもその割合が高い。
- ▶ 外国人市民と交流を持ちたい日本人市民は 45.4%で、40 歳代以下にその傾向が強く見られる。具体的な交流としては、外国人市民との交流イベント、外国の文化や習慣を知る講座、外国の言語を学ぶ外国語講座のニーズが高い。

②外国人市民と共に暮らすことに対する思い

- ▶ 40 歳代以上の日本人市民は、外国人市民への親しみを感ずる傾向が見られる。一方で、30 歳代以下は逆転する傾向にある。
- ▶ 外国人市民の増加について望ましいと思う日本人市民は 17.8%で、交流で国際感覚が高まる、外国文化への理解が深まるという理由が過半数を占める。
- ▶ 一方、外国人市民の増加について望ましくないと思う日本人市民は 16.1%で、トラブルやもめごとが増える、治安が悪化する、文化や生活習慣が違うという理由が過半数を占める。

- 外国人市民とのトラブルに遭ったことがある人の割合は 4.1%で、具体的には、物音や騒音に関する事、ゴミ出しなど生活のルールに関する事であった。

③多文化共生社会の実現に向けた思い

- 「多文化共生」という言葉を知っていた、聞いたことがあった日本人市民は 54.3%で、20 歳代以下でその傾向が高い。
- 地域に住む外国人市民に望むこととして、生活ルールを守ること、日本の文化や習慣を理解することが過半数を占めている。
- 一方で、日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすい地域にするために日本人市民、地域がすべきことは、あいさつなどの声かけを行う、外国人に対する差別や偏見を持たない、生活習慣やルールを教えるといった意見が多く見られた。

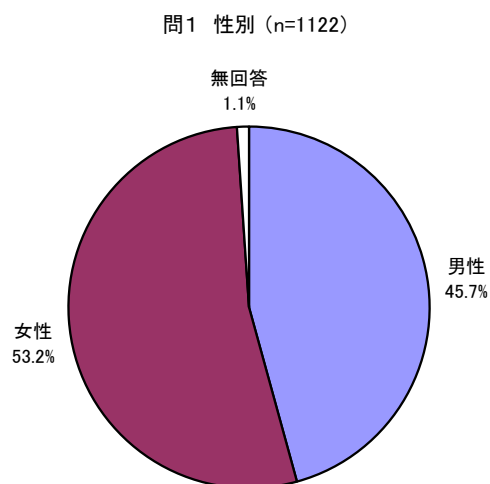
2 調査結果

(1) 基本属性

①性別

(単数回答)

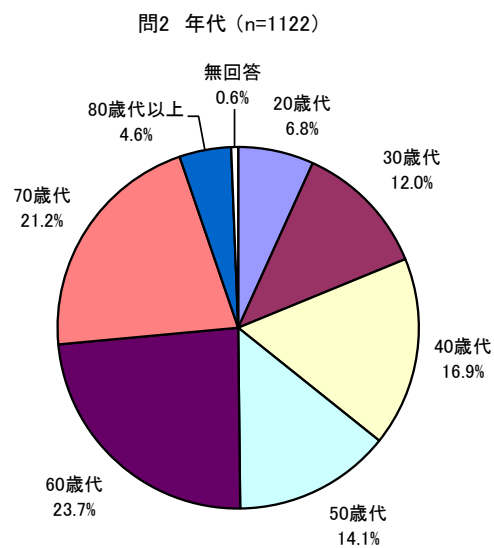
回答者の性別は、「男性」が 45.7%、「女性」が 53.2%であった。



②年代

(単数回答)

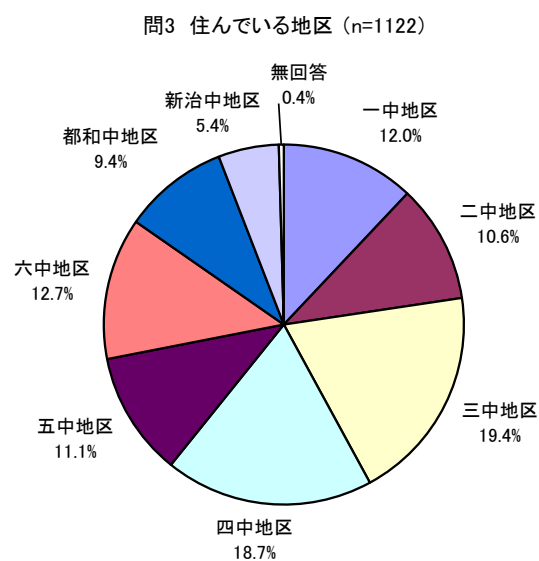
回答者の年代は、「60 歳代」が 23.7%と最も多く、「70 歳代」が 21.2%、「40 歳代」が 16.9%となっている。



③居住地区

(単数回答)

回答者の居住地区は、「三中地区」が 19.4%と最も多く、次いで「四中地区」が 18.7%、「六中地区」が 12.7%となっている。

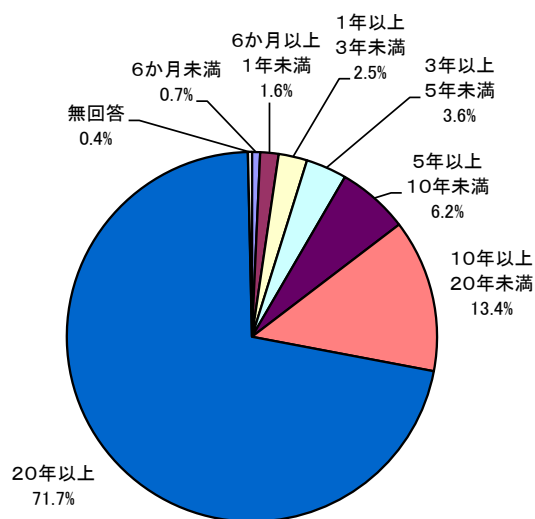


④土浦市での生活年数

(単数回答)

回答者の土浦市での生活年数は、「20年以上」が71.7%と最も多く、「10年以上20年未満」が13.4%、「5年以上10年未満」が6.2%となっている。

問4 土浦市での生活年数 (n=1122)

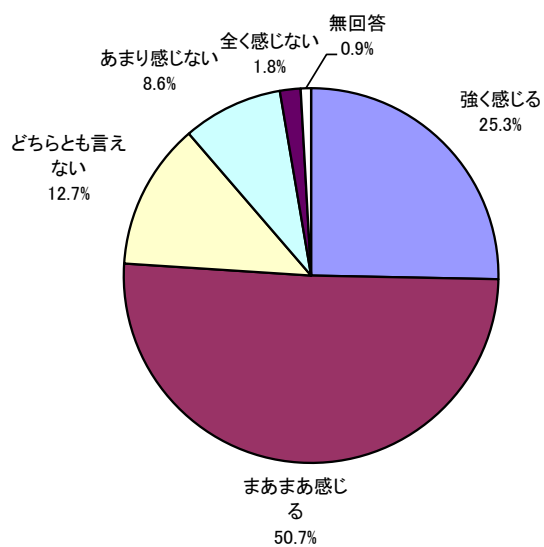


⑤市への愛着

(単数回答)

回答者の土浦市への愛着は、「まあまあ感じる」が50.7%と最も多く、「強く感じる」が25.3%、「どちらとも言えない」が12.7%となっている。

問5 土浦市に愛着を感じるか (n=1122)



【土浦市の居住年数別に見た市への愛着】

「6か月未満」の回答者は『どちらとも言えない』が62.5%と全体と比較して極端に割合が高くなっている。「6か月以上～10年未満」の回答者は「どちらとも言えない」が全体と比較して割合が高くなっている。一方、「10年以上20年未満」の回答者は『まあまあ感じる』が60.7%と全体と比較して割合が高くなっている。「20年以上」の回答者は『強く感じる』が31.3%と全体と比較して割合が高くなっている。

居住年数が10年を超えると愛着の感じ方が強くなる傾向が見られた。

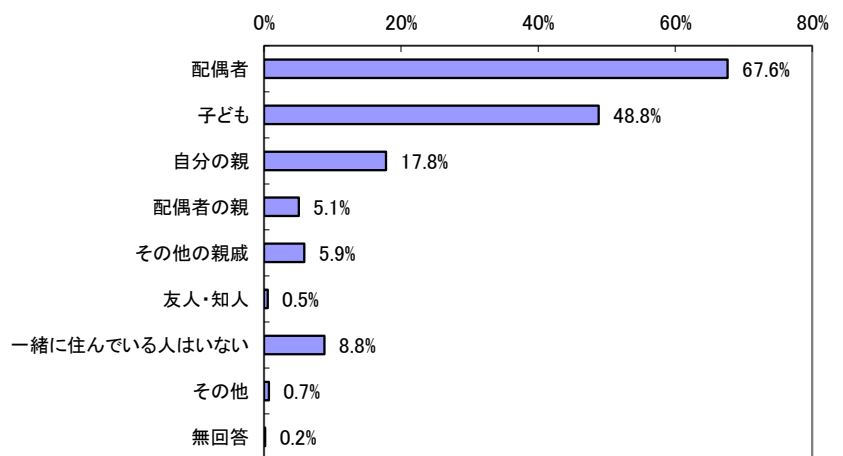
	n	合計	強く感じる	まあまあ感じる	どちらとも言えない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1122	1122	284	569	142	97	20	10
		100.0%	25.3%	50.7%	12.7%	8.6%	1.8%	0.9%
6か月未満	8	8	0	1	5	2	0	0
		100.0%	0.0%	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%	0.0%
6か月以上1年未満	18	18	0	8	4	3	3	0
		100.0%	0.0%	44.4%	22.2%	16.7%	16.7%	0.0%
1年以上3年未満	28	28	2	14	8	4	0	0
		100.0%	7.1%	50.0%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%
3年以上5年未満	40	40	3	21	12	2	1	1
		100.0%	7.5%	52.5%	30.0%	5.0%	2.5%	2.5%
5年以上10年未満	70	70	7	33	19	8	3	0
		100.0%	10.0%	47.1%	27.1%	11.4%	4.3%	0.0%
10年以上20年未満	150	150	20	91	23	13	3	0
		100.0%	13.3%	60.7%	15.3%	8.7%	2.0%	0.0%
20年以上	804	804	252	401	71	63	10	7
		100.0%	31.3%	49.9%	8.8%	7.8%	1.2%	0.9%
無回答	4	4	0	0	0	2	0	2
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%

⑥一緒に住んでいる人

(複数回答)

回答者と一緒に住んでいる人は、「配偶者」が67.6%と最も多く、「子ども」48.8%、「自分の親」17.8%となっている。

問6 一緒に住んでいる人 (n=1122)

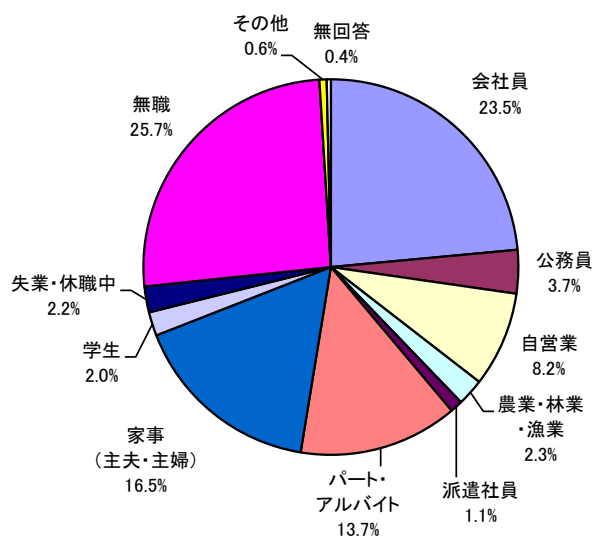


⑦職業

(単数回答)

回答者の職業は、「無職」が 25.7%と最も多く、「会社員」が 23.5%、「家事（主夫・主婦）」が 16.5%となっている。

問7 職業 (n=1122)

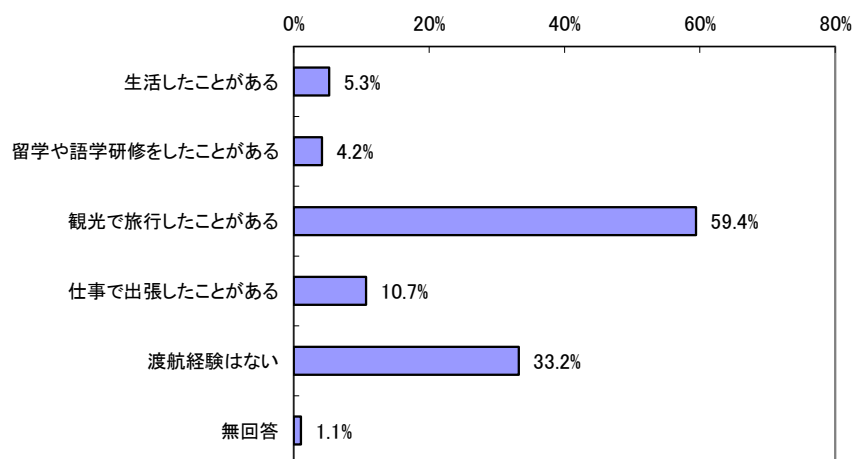


⑧外国への渡航経験

(複数回答)

回答者の外国への渡航経験は、「観光で旅行したことがある」が 59.4%と最も多く、「渡航経験はない」が 33.2%となっている。一方で、「生活したことがある」「留学や語学研修をしたことがある」は合わせて 9.5%となっている。

問8 外国への渡航経験 (n=1122)



[性別で見た外国への渡航経験]

「男性」は『仕事で出張したことがある』の割合が21.1%と全体と比較して高い。「女性」は『渡航経験はない』の割合が全体と比べて割合が高い。

		n	合計	生活したことがある	留学や語学研修をしたことがある	観光で旅行したことがある	仕事で出張したことがある	渡航経験はない	無回答
全体		1122	1278	59	47	667	120	373	12
			113.9%	5.3%	4.2%	59.4%	10.7%	33.2%	1.1%
性別	男性	513	623	33	19	303	108	158	2
			121.4%	6.4%	3.7%	59.1%	21.1%	30.8%	0.4%
	女性	597	641	25	28	355	10	213	10
			107.4%	4.2%	4.7%	59.5%	1.7%	35.7%	1.7%
	無回答	12	14	1	0	9	2	2	0
			116.7%	8.3%	0.0%	75.0%	16.7%	16.7%	0.0%

[年齢で見た外国への渡航経験]

「20～30歳代」は『留学や語学研修をしたことがある』の割合が全体と比較して高い。「40～50歳代」は『観光で旅行したことがある』の割合が全体と比べて割合が高い。「40～50歳代」は『仕事で出張したことがある』の割合が全体と比較して高い。「70歳以上」は『渡航経験はない』の割合が全体と比較して高い。

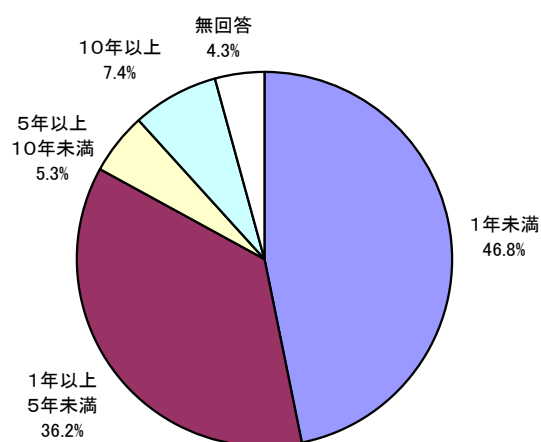
		n	合計	生活したことがある	留学や語学研修をしたことがある	観光で旅行したことがある	仕事で出張したことがある	渡航経験はない	無回答
全体		1122	1278	59	47	667	120	373	12
			113.9%	5.3%	4.2%	59.4%	10.7%	33.2%	1.1%
年代別	20歳代	76	85	4	9	35	3	34	0
			111.8%	5.3%	11.8%	46.1%	3.9%	44.7%	0.0%
	30歳代	135	156	5	14	83	10	44	0
			115.6%	3.7%	10.4%	61.5%	7.4%	32.6%	0.0%
	40歳代	190	223	10	11	129	25	48	0
			117.4%	5.3%	5.8%	67.9%	13.2%	25.3%	0.0%
	50歳代	158	189	9	3	112	26	38	1
			119.6%	5.7%	1.9%	70.9%	16.5%	24.1%	0.6%
	60歳代	266	300	14	4	172	31	79	0
			112.8%	5.3%	1.5%	64.7%	11.7%	29.7%	0.0%
70歳代	238	265	15	6	111	24	103	6	
		111.3%	6.3%	2.5%	46.6%	10.1%	43.3%	2.5%	
80歳代以上	52	53	2	0	21	1	24	5	
		101.9%	3.8%	0.0%	40.4%	1.9%	46.2%	9.6%	
	無回答	7	7	0	0	4	0	3	0
			100.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	42.9%	0.0%

⑨外国での居住年数

(単数回答)

問8で「生活したことがある」「留学や語学研修をしたことがある」と回答した方の外国での居住年数は、「1年未満」が46.8%と最も多く、「1年以上5年未満」が36.2%となっている。

問9 外国の居住年数 (n=94)

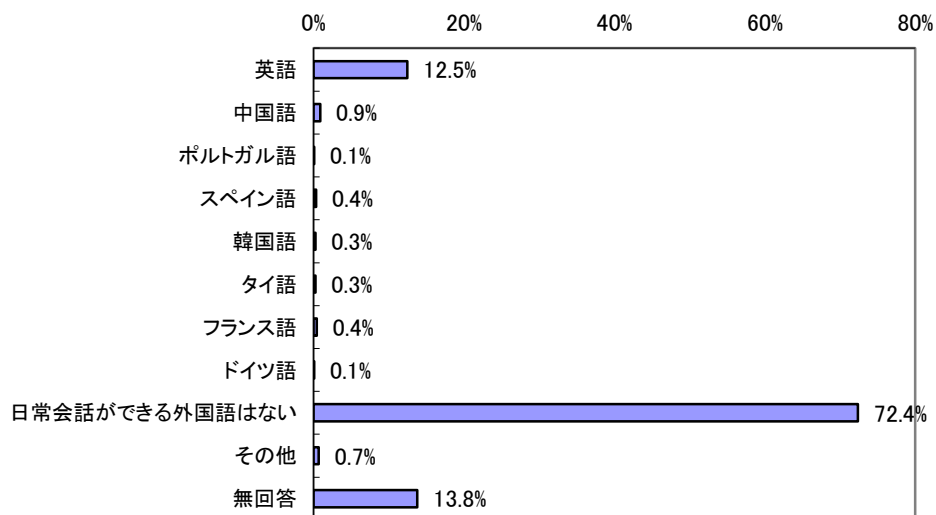


⑩日常会話ができる外国語

(複数回答)

回答者の日常会話ができる外国語は、「日常会話ができる外国語はない」が72.4%と最も多く、「英語」が12.5%となっている。

問10 日常会話ができる外国語 (n=1122)



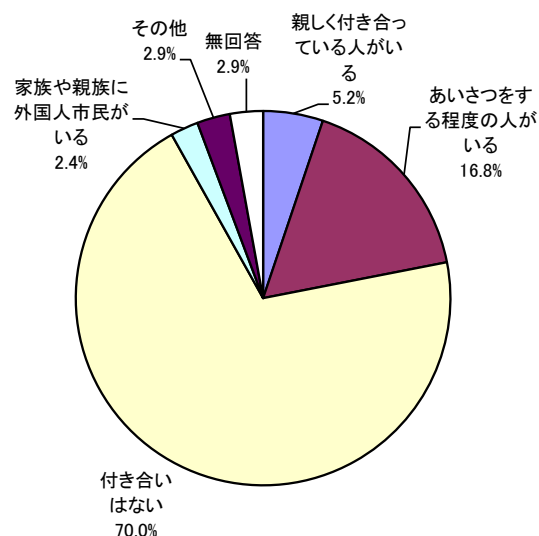
(2) 外国人市民との交流

問11 外国人市民との付き合いの有無 (n=1122)

①外国人市民との付き合いの有無

(単数回答)

回答者の外国人との付き合いの有無は、「付き合いはない」が70.0%と最も多く、「あいさつをする程度の人がいる」が16.8%、「親しく付き合っている人がある」が5.2%と付き合いがある割合は2割強にとどまっている。



性別で見た外国人市民との付き合いの有無は全体と比較して大きな差は見られなかった。

[年代別に見た外国人市民との付き合いの有無]

「20歳代」は『付き合いはない』割合が81.6%と全体と比較して高い。「30～50歳代」は『あいさつをする程度の人がある』割合が全体と比べて割合が高い。「40～50歳代」は『親しく付き合っている人がある』が全体と比べて割合が高い。

30～50歳代は職場、子どもが通う学校等で外国人市民と付き合いを持つ機会があることが予測される。

	n	合計	親しく付き合っている人がある	あいさつをする程度の人がある	付き合いはない	家族や親族に外国人市民がいる	その他	無回答
全体	1122	1122	58	188	785	27	32	32
		100.0%	5.2%	16.8%	70.0%	2.4%	2.9%	2.9%
年代別	20歳代	76	3	9	62	1	1	0
		76	3.9%	11.8%	81.6%	1.3%	1.3%	0.0%
	30歳代	135	7	25	97	3	2	1
		135	5.2%	18.5%	71.9%	2.2%	1.5%	0.7%
	40歳代	190	13	51	116	5	4	1
		190	6.8%	26.8%	61.1%	2.6%	2.1%	0.5%
	50歳代	158	14	31	101	4	7	1
		158	8.9%	19.6%	63.9%	2.5%	4.4%	0.6%
	60歳代	266	13	36	196	9	7	5
		266	4.9%	13.5%	73.7%	3.4%	2.6%	1.9%
70歳代	238	5	33	174	4	9	13	
	238	2.1%	13.9%	73.1%	1.7%	3.8%	5.5%	
80歳代以上	52	3	2	34	1	2	10	
	52	5.8%	3.8%	65.4%	1.9%	3.8%	19.2%	
無回答	7	0	1	5	0	0	1	
	7	0.0%	14.3%	71.4%	0.0%	0.0%	14.3%	

【居住地区別に見た外国人市民との付き合いの有無】

「二中地区」「四中地区」の回答者は『付き合いはない』の割合が全体と比較して高い。
 「三中地区」「新治中地区」の回答者は『あいさつをする程度の人がある』の割合が全体と比較して高い。

外国人市民が団地に多く居住する「五中地区」では全体と比較して大きな差は見られなかった。

		n	合計	親しく付き合っている人がある	あいさつをする程度の人がある	付き合いはない	家族や親族に外国人市民がいる	その他	無回答
全体		1122	1122	58	188	785	27	32	32
			100.0%	5.2%	16.8%	70.0%	2.4%	2.9%	2.9%
居住地別	一中地区	135	135	10	25	86	3	6	5
			100.0%	7.4%	18.5%	63.7%	2.2%	4.4%	3.7%
	二中地区	119	119	3	18	87	6	2	3
			100.0%	2.5%	15.1%	73.1%	5.0%	1.7%	2.5%
	三中地区	218	218	15	46	137	8	3	9
			100.0%	6.9%	21.1%	62.8%	3.7%	1.4%	4.1%
	四中地区	210	210	6	29	166	2	4	3
			100.0%	2.9%	13.8%	79.0%	1.0%	1.9%	1.4%
	五中地区	125	125	6	23	88	3	4	1
			100.0%	4.8%	18.4%	70.4%	2.4%	3.2%	0.8%
	六中地区	143	143	11	15	101	2	10	4
		100.0%	7.7%	10.5%	70.6%	1.4%	7.0%	2.8%	
都和中地区	106	106	5	19	74	2	3	3	
		100.0%	4.7%	17.9%	69.8%	1.9%	2.8%	2.8%	
新治中地区	61	61	1	12	44	1	0	3	
		100.0%	1.6%	19.7%	72.1%	1.6%	0.0%	4.9%	
無回答	5	5	1	1	2	0	0	1	
		100.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	

【外国への渡航経験別に見た外国人市民との付き合いの有無】

「生活したことがある」回答者は『親しく付き合っている人がある』が全体と比較して割合が高い。「留学や語学研修をしたことがある」「観光で旅行したことがある」「仕事で出張したことがある」回答者は『あいさつをする程度の人がある』の割合が全体と比較して高い。「渡航経験はない」回答者は『付き合いはない』の割合が全体と比較して高い。

		n	合計	親しく付き合っている人がある	あいさつをする程度の人がある	付き合いはない	家族や親族に外国人市民がいる	その他	無回答
全体		1122	1122	58	188	785	27	32	32
			100.0%	5.2%	16.8%	70.0%	2.4%	2.9%	2.9%
外国への渡航経験別	生活したことがある	59	59	9	11	30	6	2	1
			100.0%	15.3%	18.6%	50.8%	10.2%	3.4%	1.7%
	留学や語学研修をしたことがある	47	47	4	11	30	2	0	0
			100.0%	8.5%	23.4%	63.8%	4.3%	0.0%	0.0%
	観光で旅行したことがある	667	667	38	132	449	19	17	12
			100.0%	5.7%	19.8%	67.3%	2.8%	2.5%	1.8%
	仕事で出張したことがある	120	120	16	26	70	3	5	0
		100.0%	13.3%	21.7%	58.3%	2.5%	4.2%	0.0%	
渡航経験はない	373	373	11	44	290	4	14	10	
		100.0%	2.9%	11.8%	77.7%	1.1%	3.8%	2.7%	
無回答	12	12	0	1	2	0	0	9	
		100.0%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	75.0%	

【外国の居住年数別に見た外国人市民との付き合いの有無】

「1年未満」の回答者は『親しく付き合っている人がいる』『あいさつをする程度の人がある』の割合が全体と比較して高い。「1年以上5年未満」の回答者は『親しく付き合っている』の割合が全体と比較して高い。「5年以上10年未満」の回答者は『あいさつをする程度の人がある』の割合が全体と比較して高い。「10年以上」の回答者は『親しく付き合っている人がいる』の割合が全体と比較して高い。

居住年数が多い程、付き合いのレベルが上がる傾向が見られる。

		n	合計	親しく付き合っている人がいる	あいさつをする程度の人がある	付き合いはない	家族や親族に外国人市民がいる	その他	無回答
全体		1122	1122	58	188	785	27	32	32
			100.0%	5.2%	16.8%	70.0%	2.4%	2.9%	2.9%
外国の居住年数別	1年未満	44	44	5	12	26	1	0	0
			100.0%	11.4%	27.3%	59.1%	2.3%	0.0%	0.0%
	1年以上5年未満	34	34	4	6	19	5	0	0
			100.0%	11.8%	17.6%	55.9%	14.7%	0.0%	0.0%
	5年以上10年未満	5	5	0	1	2	0	1	1
			100.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%
10年以上	7	7	2	1	3	0	1	0	
		100.0%	28.6%	14.3%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	
無回答	4	4	0	1	2	1	0	0	
		100.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	

【日常会話ができる外国語の状況別に見た外国人市民との付き合いの有無】

「日常会話ができる外国語がある」回答者は『親しく付き合っている人がいる』『あいさつをする程度の人がある』の割合が全体と比較して高い。一方、「日常会話ができる外国語はない」回答者は『付き合いはない』の割合が全体と比較して高い。

外国語を話せるかどうか外国人市民との付き合い程度に影響がある傾向が伺える。

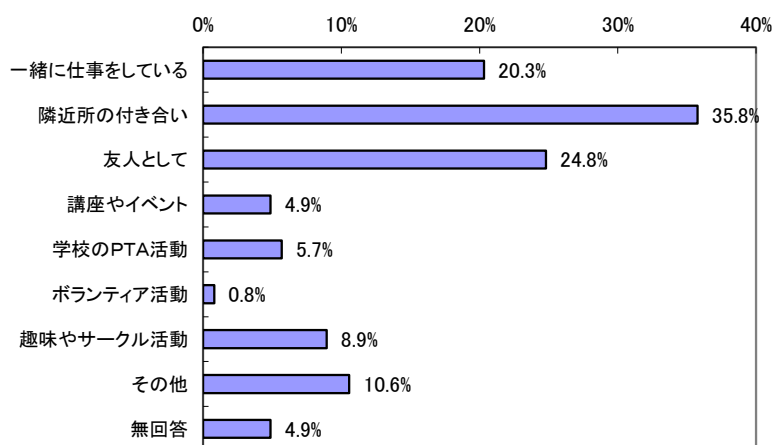
		n	合計	親しく付き合っている人がいる	あいさつをする程度の人がある	付き合いはない	家族や親族に外国人市民がいる	その他	無回答
全体		1122	1122	58	188	785	27	32	32
			100.0%	5.2%	16.8%	70.0%	2.4%	2.9%	2.9%
外国語別	日常会話ができる外国語がある	167	167	33	41	83	7	2	1
			100.0%	19.8%	24.6%	49.7%	4.2%	1.2%	0.6%
	日常会話ができる外国語はない	812	812	25	130	607	21	24	5
			100.0%	3.1%	16.0%	74.8%	2.6%	3.0%	0.6%
	その他	8	8	3	1	3	0	1	0
		100.0%	37.5%	12.5%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	
無回答	155	155	5	18	100	0	6	26	
		100.0%	3.2%	11.6%	64.5%	0.0%	3.9%	16.8%	

②外国人市民との付き合いの場面

(複数回答)

問11で外国人市民との付き合いがある回答者の外国人市民との付き合いの場面は、「隣近所の付き合い」が35.8%と最も多く、「友人として」が24.8%、「一緒に仕事をしている」が20.3%となっている。

問12 付き合うのはどんなとき (n=246)

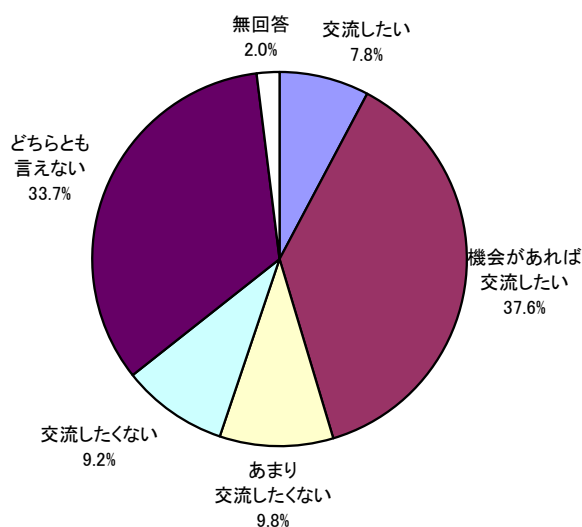


③外国人市民との交流意向

(単数回答)

回答者の外国人市民との交流意向は、「機会があれば交流したい」が37.6%と最も多く、「あまり交流したくない」「交流したくない」の合計は19.0%となっている。

問13 外国人市民と交流したいと思うか (n=1122)



性別、居住地区別に見た外国人市民との交流意向は全体と比較して大きな差は見られなかった。

【年代別に見た外国人市民との交流意向】

「20～40 歳代」の回答者は『機会があれば交流したい』割合が全体と比較して高い。また、「40～50 歳代」の回答者は『交流したい』割合が全体と比較して高い。「60～70 歳代」の回答者は『あまり交流したくない』『交流したくない』割合が全体と比べて高い。

60～70 歳代を除く多年代が交流したい意向を持っていることが伺える。

		n	合計	交流したい	機会があれば交流したい	あまり交流したくない	交流したくない	どちらとも言えない	無回答
全体		1122	1122	87	422	110	103	378	22
			100.0%	7.8%	37.6%	9.8%	9.2%	33.7%	2.0%
年代別	20歳代	76	76	8	38	7	1	22	0
			100.0%	10.5%	50.0%	9.2%	1.3%	28.9%	0.0%
	30歳代	135	135	7	71	10	10	37	0
			100.0%	5.2%	52.6%	7.4%	7.4%	27.4%	0.0%
	40歳代	190	190	28	95	10	8	48	1
			100.0%	14.7%	50.0%	5.3%	4.2%	25.3%	0.5%
	50歳代	158	158	19	65	22	6	46	0
			100.0%	12.0%	41.1%	13.9%	3.8%	29.1%	0.0%
	60歳代	266	266	7	89	30	32	106	2
		100.0%	2.6%	33.5%	11.3%	12.0%	39.8%	0.8%	
70歳代	238	238	16	53	29	33	98	9	
		100.0%	6.7%	22.3%	12.2%	13.9%	41.2%	3.8%	
80歳代以上	52	52	2	10	2	12	17	9	
		100.0%	3.8%	19.2%	3.8%	23.1%	32.7%	17.3%	
無回答	7	7	0	1	0	1	4	1	
		100.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	57.1%	14.3%	

【外国への渡航経験別に見た外国人市民との交流意向】

「生活したことがある」回答者は『交流したい』割合が全体と比較して高い。「留学や語学研修をしたことがある」回答者は『交流したい』『機会があれば交流したい』割合が全体と比較して高い。「観光で旅行したことがある」回答者は『機会があれば交流したい』割合が全体として高い。「仕事で出張したことがある」回答者は『交流したい』『機会があれば交流したい』割合が全体と比較して高い。「渡航経験はない」回答者は『あまり交流したくない』『交流したくない』割合が全体と比較して高い。

		n	合計	交流したい	機会があれば交流したい	あまり交流したくない	交流したくない	どちらとも言えない	無回答
全体		1122	1122	87	422	110	103	378	22
			100.0%	7.8%	37.6%	9.8%	9.2%	33.7%	2.0%
外国への渡航経験別	生活したことがある	59	59	15	23	4	2	14	1
			100.0%	25.4%	39.0%	6.8%	3.4%	23.7%	1.7%
	留学や語学研修をしたことがある	47	47	12	24	1	0	10	0
			100.0%	25.5%	51.1%	2.1%	0.0%	21.3%	0.0%
	観光で旅行したことがある	667	667	60	291	60	42	208	6
			100.0%	9.0%	43.6%	9.0%	6.3%	31.2%	0.9%
	仕事で出張したことがある	120	120	17	59	12	4	27	1
		100.0%	14.2%	49.2%	10.0%	3.3%	22.5%	0.8%	
渡航経験はない	373	373	17	104	41	58	144	9	
		100.0%	4.6%	27.9%	11.0%	15.5%	38.6%	2.4%	
無回答	12	12	0	1	2	1	2	6	
		100.0%	0.0%	8.3%	16.7%	8.3%	16.7%	50.0%	

【日常会話ができる外国語の状況別に見た外国人市民との交流意向】

「日常会話ができる外国語がある」回答者は『交流したい』『機会があれば交流したい』割合が全体と比較して高い。

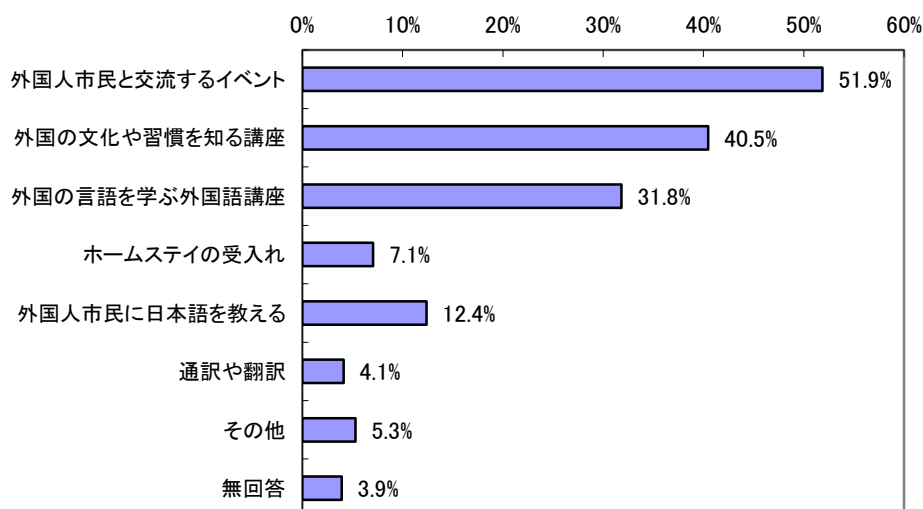
		n	合計	交流したい	機会があれば交流したい	あまり交流したくない	交流したくない	どちらとも言えない	無回答
全体		1122	1122	87	422	110	103	378	22
			100.0%	7.8%	37.6%	9.8%	9.2%	33.7%	2.0%
外国語別	日常会話ができる外国語がある	167	167	39	84	13	5	22	4
			100.0%	23.4%	50.3%	7.8%	3.0%	13.2%	2.4%
	日常会話ができる外国語はない	812	812	40	309	84	78	297	4
			100.0%	4.9%	38.1%	10.3%	9.6%	36.6%	0.5%
	その他	8	8	2	2	1	1	0	2
		100.0%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	25.0%	
無回答	155	155	14	30	15	20	61	15	
		100.0%	9.0%	19.4%	9.7%	12.9%	39.4%	9.7%	

④希望する活動内容

(複数回答)

問13で外国人市民と交流したいと答えた回答者の参加したい交流活動は、「外国人市民と交流するイベント」が51.9%と最も多く、「外国の文化や習慣を知る講座」が40.5%、「外国の言語を学ぶ外国語講座」が31.8%となっている。

問14 参加したい交流活動 (n=509)



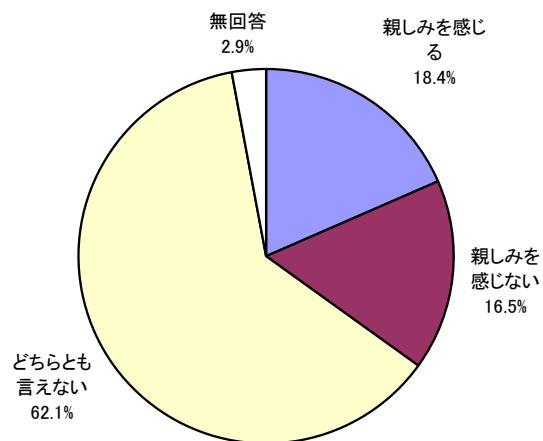
(3) 外国人市民と共に暮らすこと

①外国人市民への親しみ

(単数回答)

回答者の地域で暮らす外国人市民への親しみは、「親しみを感じる」が 18.4%、「親しみを感じない」16.5%となっている。

問15 地域で暮らす外国人市民に親しみを感じるか
(n=1122)



性別に見た外国人市民への親しみは全体と比較して大きな差は見られなかった。

[年代別に見た外国人市民への親しみ]

「20～40 歳代」の回答者は『親しみを感じない』割合が全体と比べて高い。一方、「40～50 歳代」の回答者は『親しみを感じる』割合が全体と比較して高い。

若い世代ほど外国人市民への親しみが少ない傾向が伺える。

		n	合計	親しみを感じる	親しみを感じない	どちらとも言えない	無回答
全体		1122	1122	207	185	697	33
			100.0%	18.4%	16.5%	62.1%	2.9%
年代別	20歳代	76	76	11	14	50	1
			100.0%	14.5%	18.4%	65.8%	1.3%
	30歳代	135	135	22	32	81	0
			100.0%	16.3%	23.7%	60.0%	0.0%
	40歳代	190	190	47	38	104	1
			100.0%	24.7%	20.0%	54.7%	0.5%
	50歳代	158	158	34	23	101	0
			100.0%	21.5%	14.6%	63.9%	0.0%
	60歳代	266	266	42	40	177	7
			100.0%	15.8%	15.0%	66.5%	2.6%
70歳代	238	238	41	30	153	14	
		100.0%	17.2%	12.6%	64.3%	5.9%	
80歳代以上	52	52	10	6	26	10	
		100.0%	19.2%	11.5%	50.0%	19.2%	
無回答	7	7	0	2	5	0	
		100.0%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%	

【居住地区別に見た外国人市民への親しみ】

「一中地区」「六中地区」の回答者は『親しみを感じる』割合が全体と比較して高い。「五中地区」の回答者は『親しみを感じない』割合が全体と比較して高い。

		n	合計	親しみを感じる	親しみを感じない	どちらとも言えない	無回答
全体		1122	1122	207	185	697	33
			100.0%	18.4%	16.5%	62.1%	2.9%
居住地別	一中地区	135	135	32	19	80	4
			100.0%	23.7%	14.1%	59.3%	3.0%
	二中地区	119	119	16	15	85	3
			100.0%	13.4%	12.6%	71.4%	2.5%
	三中地区	218	218	40	37	133	8
			100.0%	18.3%	17.0%	61.0%	3.7%
	四中地区	210	210	33	31	142	4
			100.0%	15.7%	14.8%	67.6%	1.9%
	五中地区	125	125	23	31	69	2
			100.0%	18.4%	24.8%	55.2%	1.6%
	六中地区	143	143	32	25	81	5
			100.0%	22.4%	17.5%	56.6%	3.5%
都和中地区	106	106	20	17	66	3	
		100.0%	18.9%	16.0%	62.3%	2.8%	
新治中地区	61	61	10	9	39	3	
		100.0%	16.4%	14.8%	63.9%	4.9%	
無回答	5	5	1	1	2	1	
		100.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	

【外国への渡航経験別に見た外国人市民への親しみ】

「生活したことがある」「留学や語学研修したことがある」回答者は『親しみを感じる』割合が全体と比較して高い。

		n	合計	親しみを感じる	親しみを感じない	どちらとも言えない	無回答
全体		1122	1122	207	185	697	33
			100.0%	18.4%	16.5%	62.1%	2.9%
外国への渡航経験別	生活したことがある	59	59	20	9	27	3
			100.0%	33.9%	15.3%	45.8%	5.1%
	留学や語学研修をしたことがある	47	47	17	6	24	0
			100.0%	36.2%	12.8%	51.1%	0.0%
	観光で旅行したことがある	667	667	142	102	417	6
			100.0%	21.3%	15.3%	62.5%	0.9%
	仕事で出張したことがある	120	120	30	17	72	1
			100.0%	25.0%	14.2%	60.0%	0.8%
渡航経験はない	373	373	44	71	240	18	
		100.0%	11.8%	19.0%	64.3%	4.8%	
無回答	12	12	1	0	5	6	
		100.0%	8.3%	0.0%	41.7%	50.0%	

【日常会話ができる外国語の状況別に見た外国人市民への親しみ】

「日常会話ができる外国語がある」回答者は『親しみを感じる』割合が全体と比較して高い。

		n	合計	親しみを感じる	親しみを感じない	どちらとも言えない	無回答
全体		1122	1122	207	185	697	33
			100.0%	18.4%	16.5%	62.1%	2.9%
外国語別	日常会話ができる外国語がある	167	167	62	24	78	3
			100.0%	37.1%	14.4%	46.7%	1.8%
	日常会話ができる外国語はない	812	812	131	146	525	10
			100.0%	16.1%	18.0%	64.7%	1.2%
その他	8	8	2	2	4	0	
		100.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	
無回答	155	155	21	20	94	20	
		100.0%	13.5%	12.9%	60.6%	12.9%	

【外国人市民との交流意向別に見た外国人市民への親しみ】

「交流したい」回答者は『親しみを感じる』割合が全体と比較して非常に高い。「機会があれば交流したい」回答者は『親しみを感じる』割合が全体と比較して高い。一方、「交流したくない」回答者は『親しみを感じない』割合が非常に高く、「あまり交流したくない」回答者は『親しみを感じない』割合が高い。

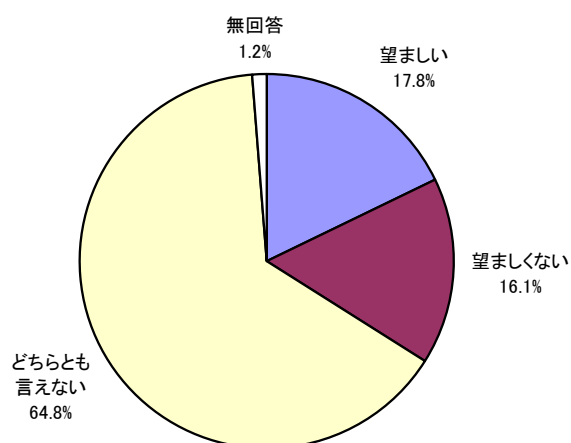
		n	合計	親しみを感じる	親しみを感じない	どちらとも言えない	無回答
全体		1122	1122	200	181	727	14
			100.0%	17.8%	16.1%	64.8%	1.2%
交流したい	87	87	87	54	2	29	2
			100.0%	62.1%	2.3%	33.3%	2.3%
機会があれば交流したい	422	422	422	116	42	262	2
			100.0%	27.5%	10.0%	62.1%	0.5%
あまり交流したくない	110	110	110	3	39	65	3
			100.0%	2.7%	35.5%	59.1%	2.7%
交流したくない	103	103	103	1	55	37	10
			100.0%	1.0%	53.4%	35.9%	9.7%
どちらとも言えない	378	378	378	30	44	296	8
			100.0%	7.9%	11.6%	78.3%	2.1%
無回答	22	22	22	3	3	8	8
			100.0%	13.6%	13.6%	36.4%	36.4%

②外国人市民の増加に対する思い

(単数回答)

回答者の外国人市民の増加に対する思いは、「望ましい」は 17.8%、「望ましくない」は 16.1%となっている。

問16 地域に外国人市民が増えることをどう思うか
(n=1122)



[性別で見た外国人市民の増加に対する思い]

「男性」は『望ましい』『望ましくない』の双方の割合が全体と比較して高く、明確な判断をしている割合が高いことが伺える。

		n	合計	望ましい	望ましくない	どちらとも言えない	無回答
全体		1122	1122	200	181	727	14
			100.0%	17.8%	16.1%	64.8%	1.2%
性別	男性	513	513	100	100	309	4
			100.0%	19.5%	19.5%	60.2%	0.8%
	女性	597	597	99	78	410	10
			100.0%	16.6%	13.1%	68.7%	1.7%
	無回答	12	12	1	3	8	0
			100.0%	8.3%	25.0%	66.7%	0.0%

[年代別に見た外国人市民の増加に対する思い]

「20 歳代」「40 歳代」「50 歳代」の回答者は『望ましい』割合が全体と比較して高い。一方、「60 歳代」の回答者は『望ましくない』割合が全体と比較して高い。

		n	合計	望ましい	望ましくない	どちらとも言えない	無回答
全体		1122	1122	200	181	727	14
			100.0%	17.8%	16.1%	64.8%	1.2%
年代別	20歳代	76	76	18	6	52	0
			100.0%	23.7%	7.9%	68.4%	0.0%
	30歳代	135	135	24	21	90	0
			100.0%	17.8%	15.6%	66.7%	0.0%
	40歳代	190	190	48	27	115	0
			100.0%	25.3%	14.2%	60.5%	0.0%
	50歳代	158	158	34	23	101	0
			100.0%	21.5%	14.6%	63.9%	0.0%
	60歳代	266	266	32	53	180	1
		100.0%	12.0%	19.9%	67.7%	0.4%	
70歳代	238	238	35	40	157	6	
		100.0%	14.7%	16.8%	66.0%	2.5%	
80歳代以上	52	52	9	8	28	7	
		100.0%	17.3%	15.4%	53.8%	13.5%	
	無回答	7	7	0	3	4	0
			100.0%	0.0%	42.9%	57.1%	0.0%

【居住地区別に見た外国人市民の増加に対する思い】

「一中地区」「四中地区」の回答者は『望ましい』割合が全体と比較して高い。「五中地区」「新治中地区」の回答者は『望ましくない』割合が高い。

		n	合計	望ましい	望ましくない	どちらとも言えない	無回答
全体		1122	1122	200	181	727	14
			100.0%	17.8%	16.1%	64.8%	1.2%
居住地別	一中地区	135	135	32	22	79	2
			100.0%	23.7%	16.3%	58.5%	1.5%
	二中地区	119	119	21	14	83	1
			100.0%	17.6%	11.8%	69.7%	0.8%
	三中地区	218	218	35	37	144	2
			100.0%	16.1%	17.0%	66.1%	0.9%
	四中地区	210	210	42	20	147	1
			100.0%	20.0%	9.5%	70.0%	0.5%
	五中地区	125	125	17	33	75	0
			100.0%	13.6%	26.4%	60.0%	0.0%
	六中地区	143	143	24	21	94	4
		100.0%	16.8%	14.7%	65.7%	2.8%	
都和中地区	106	106	18	18	68	2	
		100.0%	17.0%	17.0%	64.2%	1.9%	
新治中地区	61	61	10	14	36	1	
		100.0%	16.4%	23.0%	59.0%	1.6%	
無回答	5	5	1	2	1	1	
		100.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	

【外国への渡航経験別に見た外国人市民の増加に対する思い】

「生活したことがある」「留学や語学研修をしたことがある」「観光で旅行したことがある」「仕事で出張したことがある」と答えた回答者は『望ましい』割合が全体と比較して高い。

		n	合計	望ましい	望ましくない	どちらとも言えない	無回答
全体		1122	1122	200	181	727	14
			100.0%	17.8%	16.1%	64.8%	1.2%
外国への渡航経験別	生活したことがある	59	59	22	10	26	1
			100.0%	37.3%	16.9%	44.1%	1.7%
	留学や語学研修をしたことがある	47	47	14	1	32	0
			100.0%	29.8%	2.1%	68.1%	0.0%
	観光で旅行したことがある	667	667	129	109	428	1
			100.0%	19.3%	16.3%	64.2%	0.1%
	仕事で出張したことがある	120	120	30	18	72	0
			100.0%	25.0%	15.0%	60.0%	0.0%
渡航経験はない	373	373	50	61	254	8	
		100.0%	13.4%	16.4%	68.1%	2.1%	
無回答	12	12	1	1	6	4	
		100.0%	8.3%	8.3%	50.0%	33.3%	

【外国人市民との交流意向別に見た外国人市民の増加に対する思い】

「交流したい」「機会があれば交流したい」回答者は『望ましい』割合が全体と比較して高い。「あまり交流したくない」「交流したくない」回答者は『望ましくない』割合が全体と比較して高い。

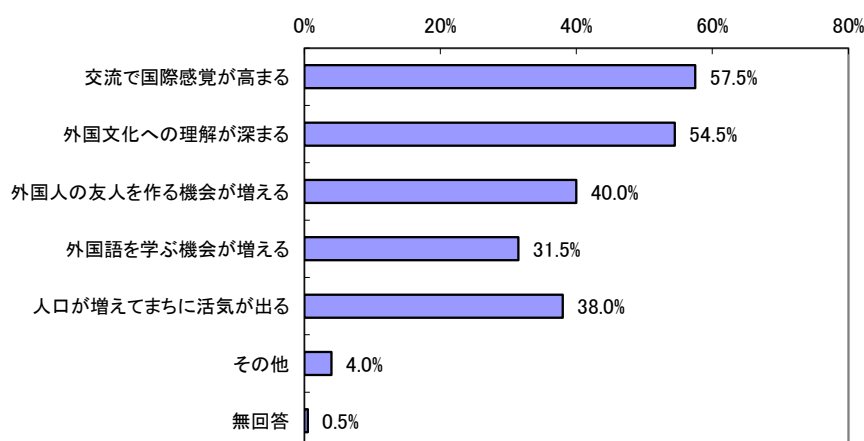
	n	合計	望ましい	望ましくない	どちらとも言えない	無回答
全体	1122	1122	200	181	727	14
		100.0%	17.8%	16.1%	64.8%	1.2%
交流したい	87	87	51	4	32	0
		100.0%	58.6%	4.6%	36.8%	0.0%
機会があれば交流したい	422	422	117	24	281	0
		100.0%	27.7%	5.7%	66.6%	0.0%
あまり交流したくない	110	110	4	42	64	0
		100.0%	3.6%	38.2%	58.2%	0.0%
交流したくない	103	103	3	50	46	4
		100.0%	2.9%	48.5%	44.7%	3.9%
どちらとも言えない	378	378	24	57	295	2
		100.0%	6.3%	15.1%	78.0%	0.5%
無回答	22	22	1	4	9	8
		100.0%	4.5%	18.2%	40.9%	36.4%

③望ましい理由

(複数回答)

問16で外国人市民が増えることが望ましいと答えた回答者の理由としては、「交流で国際感覚が高まる」が57.5%と最も多く、「外国文化への理解が深まる」が54.5%、「外国人の友人を作る機会が増える」が40.0%となっている。

問17 外国人市民が増えることが望ましい理由 (n=200)

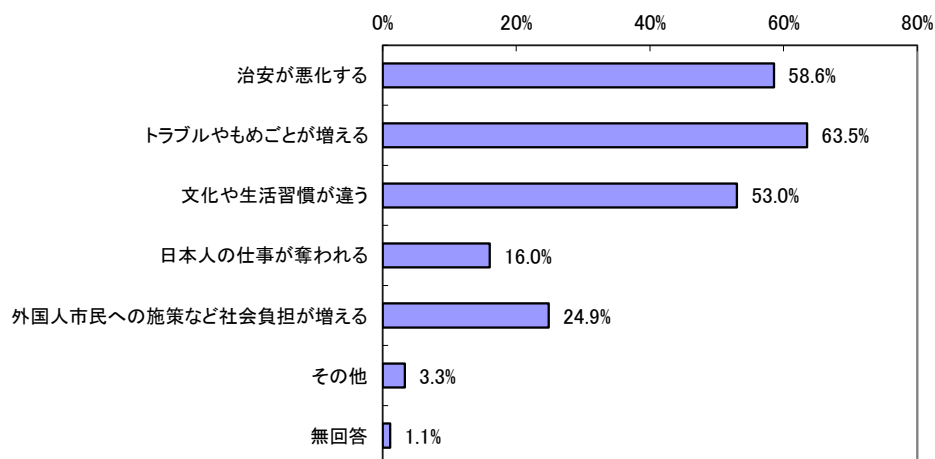


④望ましくない理由

(複数回答)

問16で外国人市民が増えることが望ましくないと答えた回答者の理由としては、「トラブルやもめごとが増える」が63.5%と最も多く、「治安が悪化する」が58.6%、「文化や生活習慣が違う」が53.0%となっている。

問18 外国人市民が増えることが望ましくない理由 (n=181)

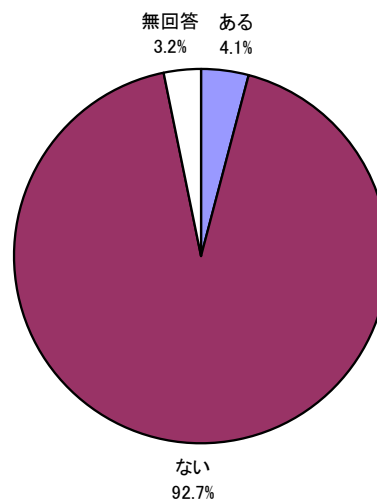


⑤近くに住む外国人市民とのトラブルの経験

(単数回答)

回答者のうち「ない」と答えた人が92.7%、「ある」と答えた人は4.1%に留まっている。

問19 近くに住む外国人市民とトラブルになったことがあるか (n=1122)



[年代別に見た近くに住む外国人とのトラブルの経験]

「40歳代」の回答者は『ある』割合が全体と比較して高い。

		n	合計	ある	ない	無回答
全体		1122	1122	46	1040	36
			100.0%	4.1%	92.7%	3.2%
年代別	20歳代	76	76	0	75	1
			100.0%	0.0%	98.7%	1.3%
	30歳代	135	135	3	132	0
			100.0%	2.2%	97.8%	0.0%
	40歳代	190	190	17	171	2
			100.0%	8.9%	90.0%	1.1%
	50歳代	158	158	4	153	1
			100.0%	2.5%	96.8%	0.6%
	60歳代	266	266	12	245	9
			100.0%	4.5%	92.1%	3.4%
70歳代	238	238	8	217	13	
		100.0%	3.4%	91.2%	5.5%	
80歳代以上	52	52	1	41	10	
		100.0%	1.9%	78.8%	19.2%	
無回答	7	7	1	6	0	
		100.0%	14.3%	85.7%	0.0%	

【居住地区別に見た近くに住む外国人とのトラブルの経験】

「三中地区」「五中地区」「都和中地区」の回答者は『ある』割合が全体と比較して若干高い。

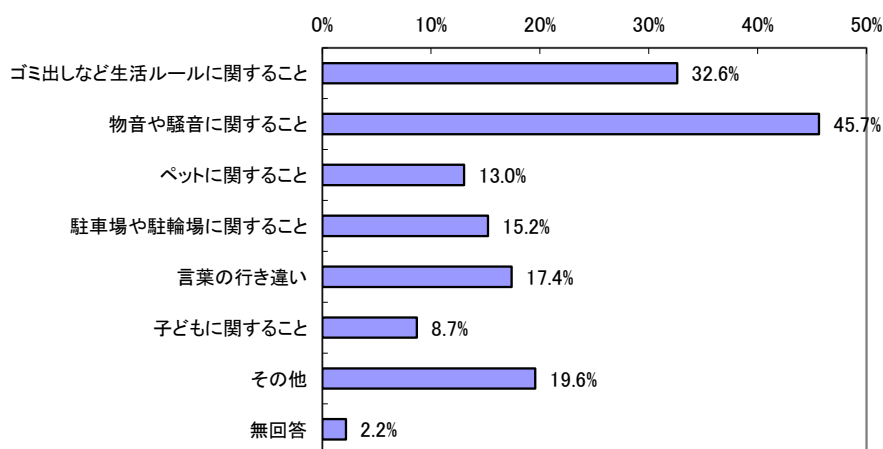
		n	合計	ある	ない	無回答
全体		1122	1122	46	1040	36
			100.0%	4.1%	92.7%	3.2%
居住地別	一中地区	135	135	5	123	7
			100.0%	3.7%	91.1%	5.2%
	二中地区	119	119	5	109	5
			100.0%	4.2%	91.6%	4.2%
	三中地区	218	218	11	204	3
			100.0%	5.0%	93.6%	1.4%
	四中地区	210	210	5	198	7
			100.0%	2.4%	94.3%	3.3%
	五中地区	125	125	8	115	2
			100.0%	6.4%	92.0%	1.6%
六中地区	143	143	4	132	7	
		100.0%	2.8%	92.3%	4.9%	
都和中地区	106	106	6	98	2	
		100.0%	5.7%	92.5%	1.9%	
新治中地区	61	61	1	58	2	
		100.0%	1.6%	95.1%	3.3%	
無回答	5	5	1	3	1	
		100.0%	20.0%	60.0%	20.0%	

⑥トラブルの内容

(複数回答)

問19でトラブルがあると答えた回答者は、「物音や騒音に関すること」が45.7%と最も多く、「ゴミ出しなど生活ルールに関すること」が32.6%、「その他」が19.6%となっている。

問20 トラブルの内容 (n=46)

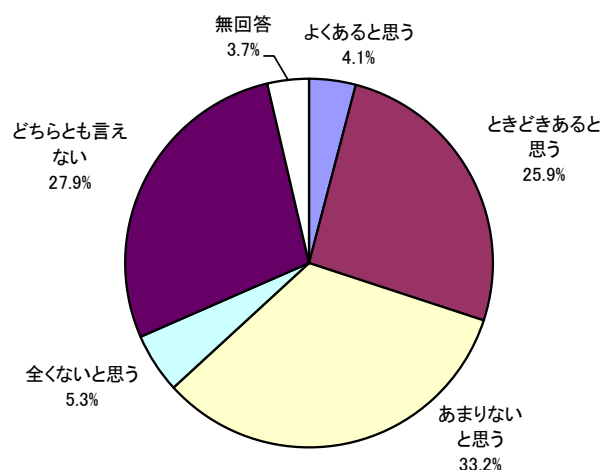


⑦外国人市民に対する差別・偏見の有無

(単数回答)

回答者の外国人市民に対する差別・偏見の有無に関する意見は、「あまりないと思う」が33.2%と最も多く、「ときどきあると思う」が25.9%、「どちらとも言えない」が27.9%となっている。

問21 地域において外国人市民に対する差別や偏見があると思うか (n=1122)

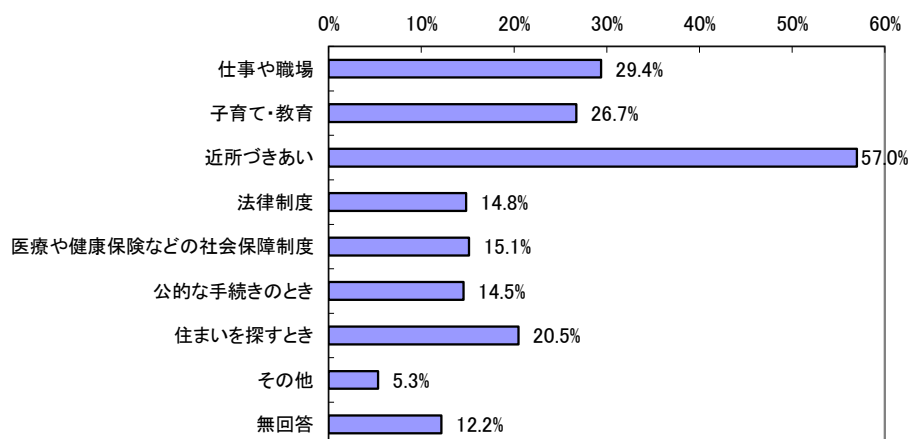


⑧差別や偏見がある場面

(複数回答)

問21で差別や偏見があると答えた回答者について、差別や偏見があると思われる場面は、「近所づきあい」が57.0%と最も多く、「仕事や職場」が29.4%、「子育て・教育」が26.7%となっている。

問22 差別や偏見があるのはどんな場面だと思うか (n=337)

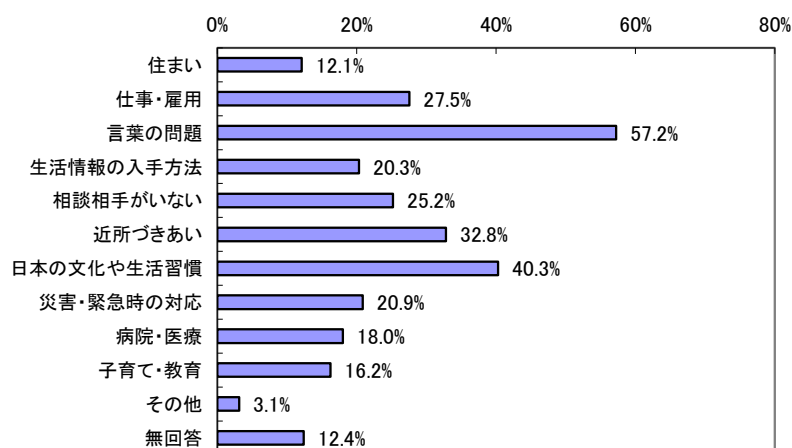


⑨外国人市民が持つ困りごと、不満

(複数回答)

回答者の外国人市民が困っていること、不満に感じていることは、「言葉の問題」が57.2%と最も多く、「日本の文化や生活習慣」が40.3%、「近所づきあい」が32.8%となっている。

問23 地域において外国人市民が困っていることや不満に感じていることは何だと思いか (n=35)

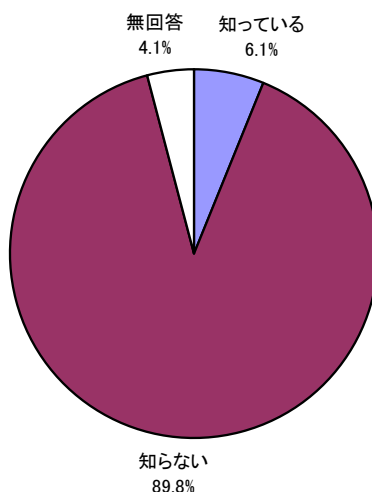


⑩災害時の支援が必要な外国人市民の存在の認知

(単数回答)

災害時の支援が必要な外国人市民の存在を、「知らない」と答えた人は、89.8%、「知っている」と答えた人は、6.1%となっている。

問24 地域において災害時に誘導や支援が必要な外国人市民がいることを知っているか (n=1122)

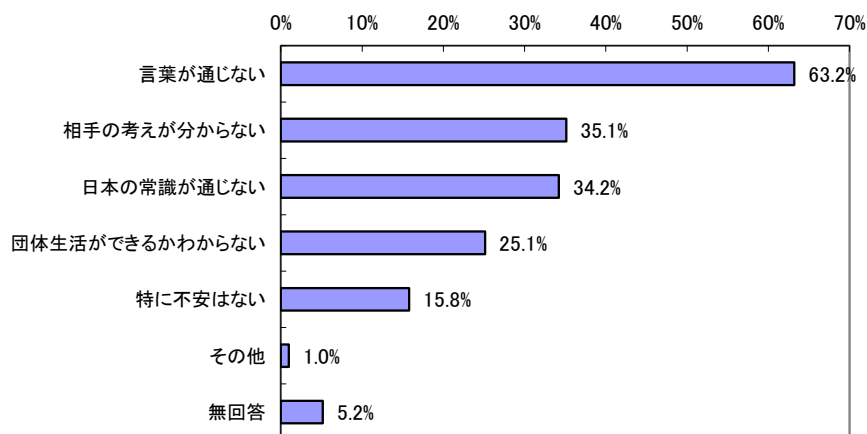


⑪災害時に外国人市民と一緒に避難することで心配なこと

(複数回答)

回答者の災害時に外国人市民と一緒に避難することで心配なことは、「言葉が通じない」が 63.2%と最も多く、「相手の考えが分からない」が 35.1%、「日本の常識が通じない」が 34.2%となっている。

問25 災害時に外国人市民と一緒に避難することで心配なこと(n=1122)



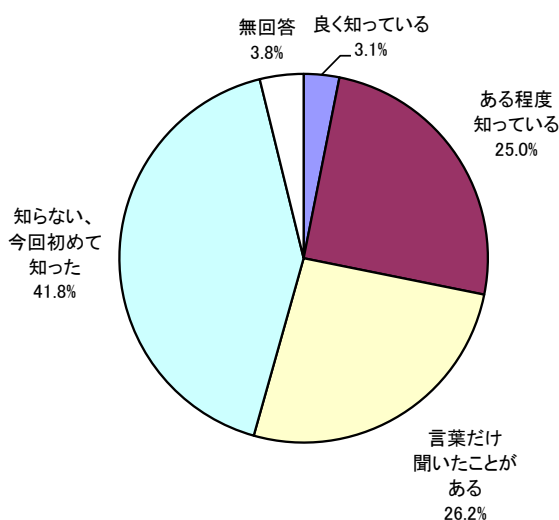
(4) 多文化共生社会の実現

① 「多文化共生」という言葉の認知

(単数回答)

回答者の「多文化共生」という言葉の認知は、「知らない、今回初めて知った」が 41.8% と最も多く、「言葉だけは聞いたことがある」が 26.2%、「ある程度知っている」が 25.0% となっている。

問26 「多文化共生」という言葉や意味を知っているか(n=1122)



【年代別に見た「多文化共生」の認知】

「20歳代」の回答者は、『良く知っている』『ある程度知っている』割合が全体と比較して高い。

これは、学校で「多文化共生」に関する授業を受けたためと想定される。

		n	合計	良く知っている	ある程度知っている	言葉だけ聞いたことがある	知らない、今回初めて知った	無回答
全体		1122	1122	35	281	294	469	43
			100.0%	3.1%	25.0%	26.2%	41.8%	3.8%
年代別	20歳代	76	76	6	25	17	27	1
			100.0%	7.9%	32.9%	22.4%	35.5%	1.3%
	30歳代	135	135	5	34	28	68	0
			100.0%	3.7%	25.2%	20.7%	50.4%	0.0%
	40歳代	190	190	8	46	47	85	4
			100.0%	4.2%	24.2%	24.7%	44.7%	2.1%
	50歳代	158	158	3	46	35	69	5
			100.0%	1.9%	29.1%	22.2%	43.7%	3.2%
	60歳代	266	266	7	58	93	104	4
			100.0%	2.6%	21.8%	35.0%	39.1%	1.5%
70歳代	238	238	4	64	65	85	20	
		100.0%	1.7%	26.9%	27.3%	35.7%	8.4%	
80歳代以上	52	52	2	7	8	27	8	
		100.0%	3.8%	13.5%	15.4%	51.9%	15.4%	
無回答	7	7	0	1	1	4	1	
		100.0%	0.0%	14.3%	14.3%	57.1%	14.3%	

【外国への渡航経験別に見た「多文化共生」の認知】

「生活したことがある」「留学や語学研修したことがある」「仕事で出張したことがある」回答者は『良く知っている』『ある程度知っている』の割合が全体と比較して高い。一方、「渡航経験はない」回答者は『知らない、今回初めて知った』割合が全体と比較して高い。

		n	合計	良く知っている	ある程度知っている	言葉だけ聞いたことがある	知らない、今回初めて知った	無回答
全体		1122	1122	35	281	294	469	43
			100.0%	3.1%	25.0%	26.2%	41.8%	3.8%
外国への渡航経験別	生活したことがある	59	59	8	28	8	14	1
			100.0%	13.6%	47.5%	13.6%	23.7%	1.7%
	留学や語学研修をしたことがある	47	47	7	19	5	16	0
			100.0%	14.9%	40.4%	10.6%	34.0%	0.0%
	観光で旅行したことがある	667	667	20	190	183	253	21
			100.0%	3.0%	28.5%	27.4%	37.9%	3.1%
	仕事で出張したことがある	120	120	14	39	26	36	5
		100.0%	11.7%	32.5%	21.7%	30.0%	4.2%	
渡航経験はない	373	373	6	63	94	193	17	
		100.0%	1.6%	16.9%	25.2%	51.7%	4.6%	
無回答	12	12	1	1	2	5	3	
		100.0%	8.3%	8.3%	16.7%	41.7%	25.0%	

【日常会話ができる外国語の状況別に見た「多文化共生」の認知】

「日常会話ができる外国語がある」回答者は『良く知っている』『ある程度知っている』割合が全体と比較して高い。一方、「日常会話ができる外国語はない」回答者は『言葉だけ聞いたことがある』『知らない、今回初めて知った』割合が全体と比較して高い。

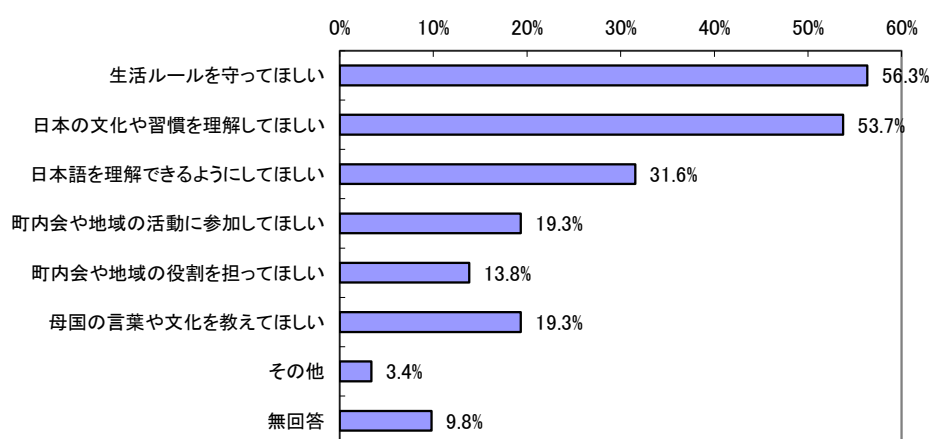
		n	合計	良く知っている	ある程度知っている	言葉だけ聞いたことがある	知らない、今回初めて知った	無回答
全体		1122	1122	35	281	294	469	43
			100.0%	3.1%	25.0%	26.2%	41.8%	3.8%
外国語別	日常会話ができる外国語がある	167	167	18	77	24	45	3
			100.0%	10.8%	46.1%	14.4%	26.9%	1.8%
	日常会話ができる外国語はない	812	812	11	185	233	356	27
			100.0%	1.4%	22.8%	28.7%	43.8%	3.3%
	その他	8	8	1	4	1	1	1
		100.0%	12.5%	50.0%	12.5%	12.5%	12.5%	
無回答	155	155	6	27	39	70	13	
		100.0%	3.9%	17.4%	25.2%	45.2%	8.4%	

②地域に住む外国人市民に望むこと

(複数回答)

回答者の地域に住む外国人市民に望むことは、「生活ルールを守ってほしい」が 56.3%と最も多く、「日本の文化や習慣を理解してほしい」が 53.7%、「日本語を理解できるようにしてほしい」が 31.6%となっている。

問27 地域に住む外国人市民に望むこと(n=1122)

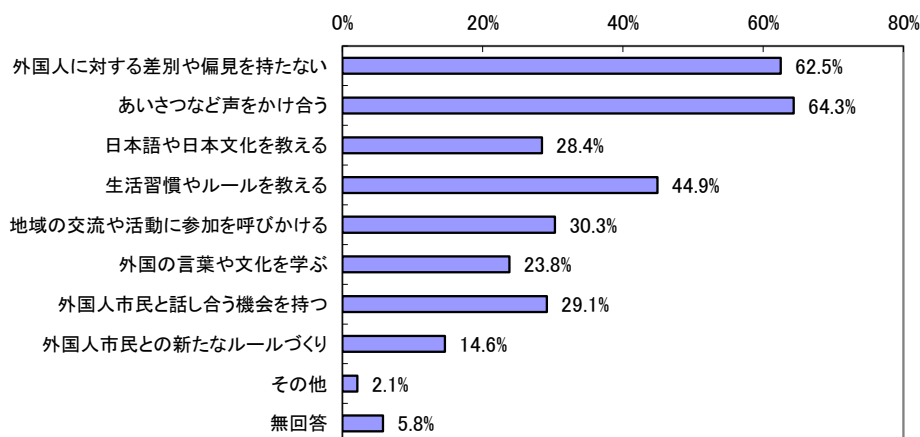


③日本人市民、地域としてすべきこと

(複数回答)

回答者の外国人市民と日本人市民が共に暮らしやすい地域にするために、日本人市民、地域がすべきことは、「あいさつなど声をかけ合う」が 64.3%と最も多く、「外国人に対する差別や偏見を持たない」が 62.5%、「生活習慣やルールを教える」が 44.9%となっている。

問28 外国人市民と日本人市民が共に暮らしやすい地域にするために、日本人市民、地域として何をすべきだと思うか(n=1122)

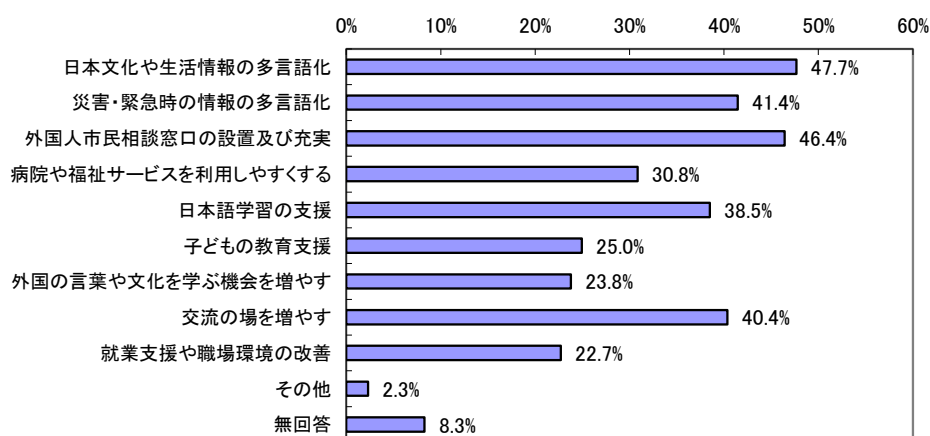


④行政としてすべきこと

(複数回答)

回答者の行政としてすべきことは、「日本文化や生活情報の多言語化」が 47.7%と最も多く、「外国人市民相談窓口の設置及び充実」は 46.4%、「災害・緊急時の情報の多言語化」が 41.4%となっている。

問29 外国人市民と日本人市民が共に暮らしやすい社会にしていくために、行政は何に力を入れるべきだと思うか (n=3673)

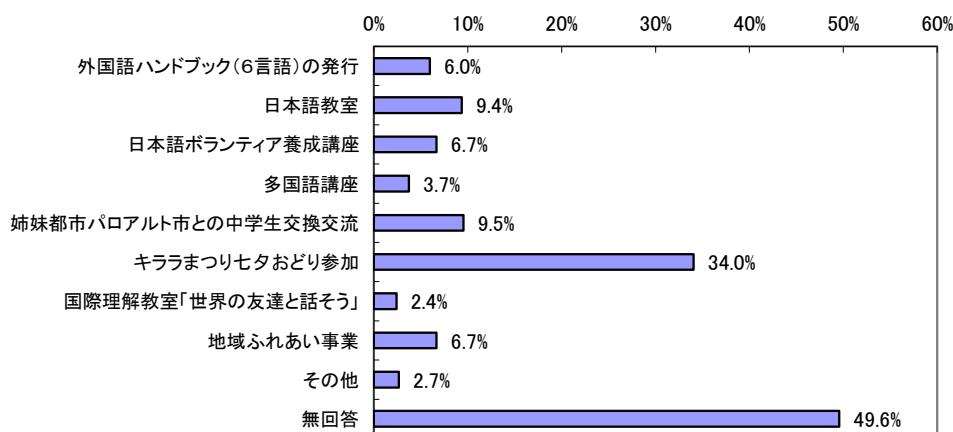


⑤市や土浦市国際交流協会の行っている事業の認知

(複数回答)

回答者の市や土浦国際交流協会の行っている事業の認知は、「キララまつり七夕おどり参加」が 34.0%と最も多く、「姉妹都市パロアルト市との中学生交換交流」が 9.5%、「日本語教室」が 9.4%となっている。

問30 市や土浦市国際交流協会の行っている事業で知っているもの (n=1122)



(5) 自由意見のまとめ

①外国人市民に望むこと (84 件)

(ゴミ出しなどの社会のルール)

- 日本に住むならば、日本語を学ぶなり、溶け込む努力をして欲しい。
- 日本で生活するなら日本のルールを守るよう徹底すべき。
- ゴミの出し方がまるでダメ。赤、青の袋のちがいつか、曜日とか。アパート他、外国人によく説明をして頂きたい。
- 一部地域組織に入っていないで(町内会に入っていない方)、マナーが守れず、ゴミの出し方や近所迷惑して苦情が出ている方もいる。

(騒音)

- 生活習慣が異なるからなのか、駐車場でとても大きな音量で音楽を流したり、騒いだり、近所に迷惑をかけて平気であるところを直してもらいたい。
- 夜遅く(朝早く)まで、大音量で音楽を流していたり、カラオケをしたりと、周囲の住民皆が迷惑に思っている。バーベキューにしても、うちのすぐ裏で、まるでたき火のように炎をあげているのを見たり、住宅地で打ちあげ花火をしたり、不満だらけ。

(地域とのつながり)

- どの様に接すれば良いのか分からない人も多いと思う。外国人市民も笑顔で挨拶をしてフレンドリーに接して貰えると少しは違うと思う。どうしても言葉が通じない不安から治安等に対しての日本人市民の不安も大きくなるのだと思う。
- 子供会など、言葉が分からないと参加しない人がほとんどである。参加すればつながりができていいと思うのだが。

(外国人コミュニティの弊害)

- 外国人は、人によるが周りの人が言葉を分からないと思ってかなり大声で話していることが多い。人の批判をしている時は言葉が分からなくても表情で分かるものである。そういう事を知って欲しい。
- 集団で行動するのが目につく。何か集団行動はあまり気持ちよく感じられない。
- アパート一棟を借りている東南アジア系の外国人が車を道路に違法駐車していること。いくら注意しても同じ事をくり返すこと。
- コミュニティができることによって、地域の人と係わることよりも、その中で全てを解決していくことで、かえって偏りができてしまうような気がする。外国人が日本の生活に合わせる必要性がなくなってしまうのではないだろうか。

(その他)

- ペットの糞の処理をしない。会話の中で意見の違い、思いの違いがあれば感情的になる。

②日本人市民、地域としてすべきこと（66件）

（外国人市民とのつながり）

- 一旦仲良くなれば、全く気兼ねなくつき合える。従って、「知り合うきっかけ」が必要であると思われる。
- 本当は言葉が通じて普通に付き合いすれば、いい人かもしれないのに。言葉が通じない。又、会話する機会もない。これが現実である。
- いい関係である。何か挨拶以上に発展したいのだが。
- 今の日本は外国人の犯罪だけが報じられているので、外国人に対する偏見が強い気がする。日本人誰もが気安く外国語で（英語）接触できるようになればいいと思う。その為には行政又はボランティアの簡単な日常会話の教室があれば良いと思う。
- 行政としてやることと近所、地域でやることは異なると思われる。まずは心を開いて、あいさつから、そして困っていることがあれば、心を開いて、とことんつき合ってやる（やさしさ）だと思ふ。偏見をすてて、同じ地球人と思えば、人は人にやさしくできる。難しいことはいらない。
- やはり相手の国の習慣も日本人も勉強しなければダメなことが解った。
- スポーツなどを通して交流を増やし、外国人の高い能力を見聞きすることで、偏見がすこしずつ解消されるかと思う。
- 子供の教育のためにも国際人として育てて欲しい。
- 小中学生などの頃から、多文化を学ぶ機会や交流を増やし、外国人を近くに感じたり、理解することが必要だと思ふ。
- チャレンジクラブ（今もやっているか分からないが）などで、外国人の生徒と一緒にグループ活動をして、楽しく交流できるといいと思う。小中学生には身体で文化を感じて貰い、大人には料理とかそういうもので身近に感じられたらと思う。

（外国語での表記、外国語を話せるスタッフ）

- インド人やタイ人は英語が通じないため、病気になった時とか、電気料金の支払い用紙等をうっかりなくしてしまい督促状が来てしまった時の対応や福島原発の情報等が知りたいらしく、その様な時は相談されるが、何とか理解させるのに、身振り手振りで対応した。この様な時、何かいい方法があれば、彼らもありがたいと思ふ。
- いかに偏見をもたず、関わられるかが大切だと思ふ。また、言語が分からない外国人へのインフォメーションも大切だと思ふ。
- 野菜、薬の名前など、日本語以外での表記が欲しい。

（受入側の体制）

- 言葉や生活習慣の違いなど、外国人の目線に立って支えていけることが必要ではないかと思ふ。
- 人情商店街みたいな所があると良いと思ふ。

- 自治会の活動に参加したい（しようと思う）雰囲気づくりが必要と思われる。

③行政として取り組むこと（33件）

（多文化共生に向けて）

- 市の取組として多文化共生事業を行う際には広く知らしめて欲しい。
- 外国人と市民とか交流とか共に暮らすことについて話し合う機会もない。
- 外国人に住みやすい地域づくりは、私たち日本人にとっても住みやすい地域となるはず。国籍によって人を分けへだてする感覚がなくなる社会が望ましいと思う。

（外国人市民との交流の場）

- 外国の方々がたくさんおられるのなら、ぜひ交流の場をもうけていただきたい。子供達も大人といっしょに参加できるようなもの。
- 子どものうちから様々の国の人々と交流する機会を作ることにより、お互いを理解できるようになると思います。
- 気軽に外国人、外国文化にふれる機会がふえること願う。
- もう少し行政（国、自治体で）の方でも自然に受け入れられるような下地作りが必要であり、大切であると思う。また、日本人の私達が外国人を自然に受け入れられるように、もっともっと行政のアピールや支援が必要だと思う。

（多言語での情報発信）

- 病院に入院してくる方に医療用語など日常会話と異なるため説明が難しい。時々ボランティアの通訳を利用する場合もあるが難しい場合もある。
- 学校からの手紙など、内容が分からなくて困っている外国人のお母さんがいた。
- 土浦駅、土浦バスターミナル、土浦協同病院で見かける外国人が言葉やその利用方法、手続き等で困惑している姿を見かけたことがある。
- 「外国人である私たちはその入手方法が分からない。生活の情報はここを見て、イベントの情報はここを見ると分かるよというようなことを知りたい。」と話していた。

（その他）

- 仕事面でのサポート、経済的に困らないようなサポートをより充実すべきだと思う。

第3章 土浦市外国人市民等実態調査

I 実施概要

①実施概要

- ・ 調査実施時期：平成 25 年 10 月～12 月
- ・ 調査対象：土浦市に居住または勤務している満 18 歳以上の男女
- ・ 調査項目：普段の生活での困りごと、仕事や雇用の状況、日本語の学習状況、情報の入手方法、地域社会との関わり、防災、医療、子育て・教育、多文化共生のためにすべきことなど全 49 項目
- ・ 配布方法：外国人を雇用している市内の事業所等や小中学校、保育所への訪問留置回収、日本語教室、市役所窓口、イベント会場等でのヒアリング調査
- ・ 回収方法：訪問回収及び郵送
- ・ その他：調査票については、振り仮名付きの日本語版と外国語版（英語、中国語、ポルトガル語、タイ語、韓国語、インドネシア語）の 2 種類を配布し、どちらか一方を回答

②調査結果

調査対象	対象者数	回収数	回収率
事業所等	559 人	342 人	61.2%
小中学校・保育所の保護者	213 人	118 人	55.4%
その他（日本語教室、イベント等）	78 人	51 人	65.4%
合計	850 人	511 人	60.1%

II 分析結果

1 調査結果のまとめ

- ◆ 外国人市民を捉える時に、在留資格による日本での滞在期間の違いにより、抱える問題に大きく差があることが分かった。「永住者」「定住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「帰化（日本国籍）」は長期滞在のグループ、「技能実習」「家族滞在」「学生」「仕事」「その他」は短期滞在のグループに分けられる。
- ◆ 外国人市民は、毎日の暮らしの中で、言語に関する困りごとが非常に多い。
- ◆ 独学で日本語を学習する傾向が多く、日本語教室に通う人は少ない状況が見られた。日本語教室の開催日時や場所の検討、日本語教師の確保及び人材育成が課題となっている。
- ◆ 外国人市民の多くが日本人市民と交流したい意向を持ち、具体的には「日本の文化や習慣を学びたい」、「スポーツや同好会などの趣味の活動」のニーズが高い。
- ◆ 住まいについては、長期滞在の外国人市民で日本の不動産の賃貸契約、売買取引等が分かりにくいとする意見が見られた。
- ◆ 仕事・雇用については、長期滞在の外国人市民で日本人との待遇面で差があること、日本語の就職情報が分からない等、多様な課題が見られた。
- ◆ 情報入手については、普段の生活に必要な情報が多様な分野にわたるものの、多言語での情報提供は少ない状況にある。
- ◆ 外国人市民は、災害時の避難場所や災害発生時の対処方法について学ぶ機会が少ない。
- ◆ 医療・保険については、制度自体が分かりづらいことに加え、受診する際に不便さを感じている傾向が見られた。
- ◆ 外国人市民の多くが、日本の学校に子どもを通わせ、将来も日本での生活を考えている。一方、教育費が高いこと、日本語能力の問題から進学することへの不安を感じている人が多い。
- ◆ 外国人市民は、「外国語による相談窓口の設置」「日本語や日本の文化を学ぶ機会の充実」「外国語による生活情報の提供」についてのニーズが高い。今後、外国人市民への窓口サービスの充実と十分な周知が必要と想定される。

①土浦市への居留意向、愛着

- ▶ 外国人市民の44.4%が今後も土浦市に住み続ける意向を持ち、73.8%が土浦市に愛着を感じている。

②暮らし、住居

- ▶ 外国人市民の44.2%が、「言葉の問題」を抱えている。
- ▶ 短期滞在の外国人市民は、特に住宅に関する困りごとは少ない。一方、長期滞在の外国人市民は、「外国語の通じる不動産屋が少ない」「契約書の内容がわからない」「敷金や礼金などのしくみがわからない」「保証人になってくれるひとがいない」「外国人という理由で入居を断られた」といった不動産の賃貸契約、売買取引に関する心配を抱えている。

③仕事・雇用

- ▶ 短期滞在の外国人市民は、特に求職に関する困りごとは少ない。一方、長期滞在の外国人市民は、「日本人と待遇面で差がある」が15.3%、「日本語の就職情報がわからない」が11.2%といった心配を抱えている。

④日本語の学習

- ▶ 日常会話をできる人は63.8%であるが、読み書きできる人は少ない傾向が見られる。
- ▶ 短期滞在の外国人市民の73.0%が現在日本語を学んでおり、長期滞在の外国人市民の44.5%がこれから日本語を学びたいと考えている。
- ▶ 希望する日本語教室は、「休日・祝日の教室」が38.1%、「就職のための教室」が30.0%、「日本の文化・習慣を学ぶ教室」が28.1%となっている。

⑤情報入手・相談

- ▶ 普段の生活に必要な情報は、「災害や緊急時の対応」が42.3%、「日本の文化や習慣」が37.0%、「医療福祉や健康保険」が35.8%となっている。
- ▶ 困りごとの相談相手は、「同じ国出身の友人・知人」が42.5%、「職場の人」が39.9%、「日本人の友人・知人」が38.7%となっている。
- ▶ 短期滞在の外国人市民は、「ゴミの出し方などの生活ルール」「日本の文化や生活習慣」についての情報を求めている。一方、長期滞在の外国人市民は、「医療福祉や健康保険」「市役所などにおける手続きの方法」「子育てや教育」「就職・求人」といった多様な分野の情報を求めている。
- ▶ 長期滞在の外国人市民は、短期滞在の外国人市民よりも多様な情報の入手方法を持つ傾向にある。一方、短期滞在の外国人市民は、様々な情報源の入手先に関する情報自体が不足する傾向が伺える。

⑥地域社会とのつながり

- 外国人市民の 80.4%が、日本人市民とのトラブルはないと答えている。
- 外国人市民の 20.9%が町内会に加入している。一方、外国人市民の 53.4%が、地域の活動に参加していない。
- 外国人市民の 79.4%が、日本人市民との交流を求めている。
- 希望する日本人との交流方法は、「日本の文化や習慣を学びたい」が 54.2%、「スポーツや同好会などの趣味の活動」が 31.1%となっている。

⑦災害・防災

- 外国人市民の 53.2%が、地域の避難場所を知らないと答えている。
- 外国人市民の災害時の心配ごとは、「家族や友人と連絡がとれるか」が 62.4%となっている。

⑧医療・保険

- 保険や医療の困りごとは、「医療費が高い」が 23.1%、「制度が分からない」が 22.9%、「病院で母国語の案内表示が少ない」が 22.5%となっている。
- 短期滞在の外国人市民は、そもそも健康保険、医療保険の制度自体が分からないという傾向がある。一方、長期滞在の外国人市民は、受診に関わる具体的な内容に不便さを感じている傾向がある。

⑨子育て・教育

- 小・中学生の子どもがいる人の 85.1%が、子どもを日本の学校に通わせている。
- 子育てに関して「子育ての習慣や環境がちがう」が 20.6%、「健診や予防接種の案内がわからない」が 15.7%、「保育料が高い」が 14.7%といった心配を抱えている。
- 教育に関して「教育費が高い」が 25.4%、「いじめや差別」が 20.0%、「高校や大学に進学できるか」が 19.5%といった心配を抱えている。

⑩行政がすべき施策

- 「外国語による相談窓口の設置」が 53.6%、「日本語や日本の文化を学ぶ機会の充実」が 39.9%、「外国語による生活情報の提供」が 33.3%といった要望が高い。

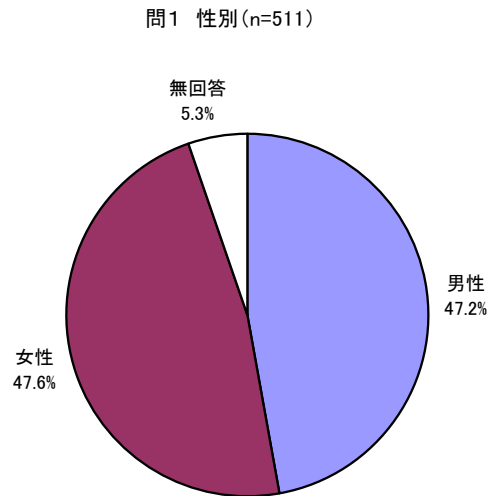
2 調査結果

(1) 基本属性

①性別

(単数回答)

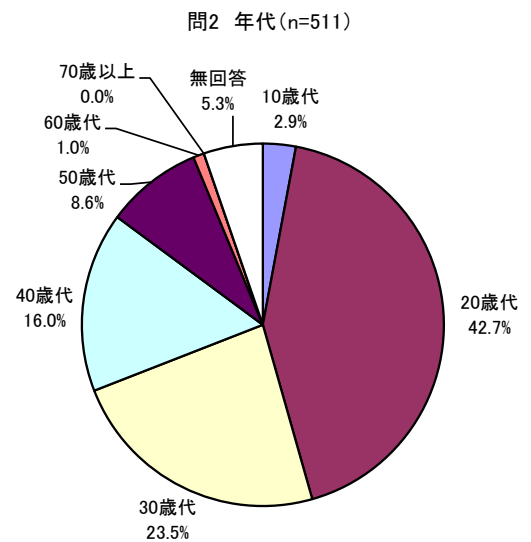
回答者の性別は、「男性」が47.2%、「女性」が47.6%であった。



②年代

(単数回答)

回答者の年代は、「20歳代」が42.7%と最も多く、「30歳代」が23.5%、「40歳代」が16.0%となっている。

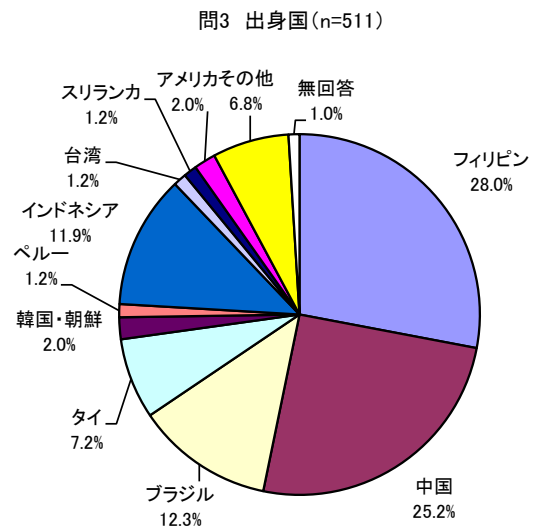


③出身国

(単数回答)

回答者の出身国は、「フィリピン」が28.0%と最も多く、次いで「中国」が25.2%、「ブラジル」が12.3%となっている。

これは市内在住の外国人市民の国籍別人数の順位と同様の結果となった。



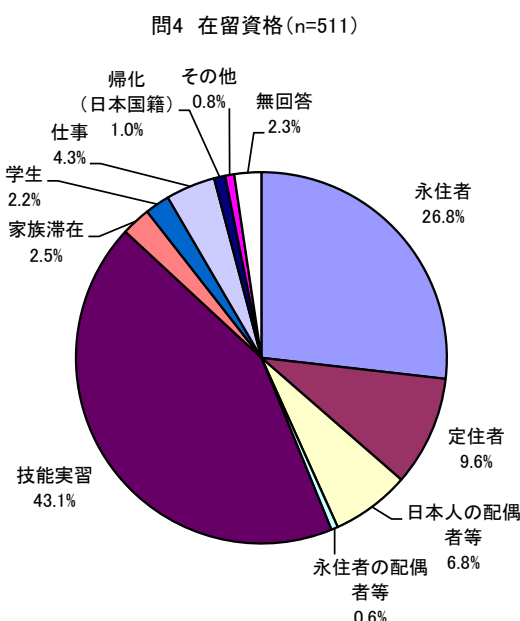
④在留資格等

(単数回答)

回答者の在留資格等は、「技能実習」が43.1%と最も多く、「永住者」が26.8%、「定住者」が9.6%となっている。

なお、「その他」と回答したものの中で、「学生」「仕事」「帰化（日本国籍）」と回答されたものは回答別に集計した。

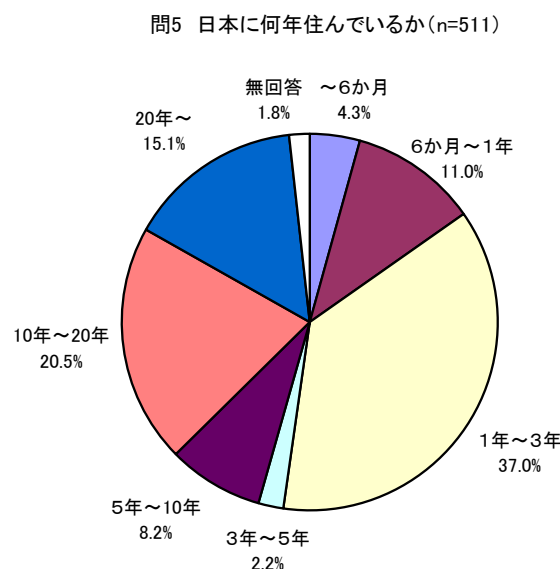
また、「永住者」「定住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「帰化（日本国籍）」は長期滞在のグループ、「技能実習」「家族滞在」「学生」「仕事」「その他」は短期滞在のグループに分けられ、長期のグループの割合は44.8%、短期のグループは52.9%となっている。



⑤日本での居住年数

(単数回答)

回答者の日本での居住年数は、「1年～3年」が37.0%と最も多く、「10年～20年」が20.5%、「20年～」が15.1%となっている。

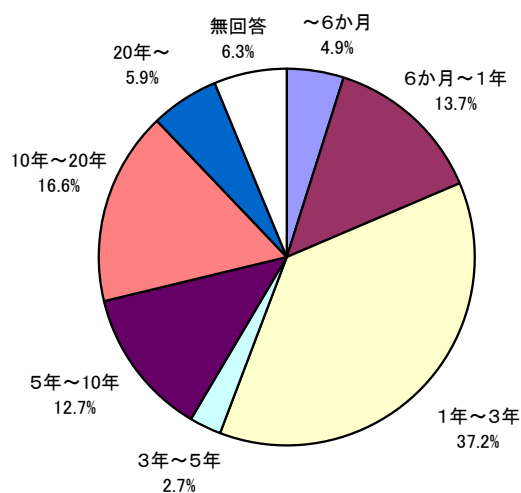


⑥土浦市での居住年数

(単数回答)

回答者の土浦市での居住年数は、「1年～3年」が37.2%と最も多く、「10年～20年」16.6%、「6か月～1年」13.7%となっている。

問6 土浦市に何年住んでいるか(n=511)

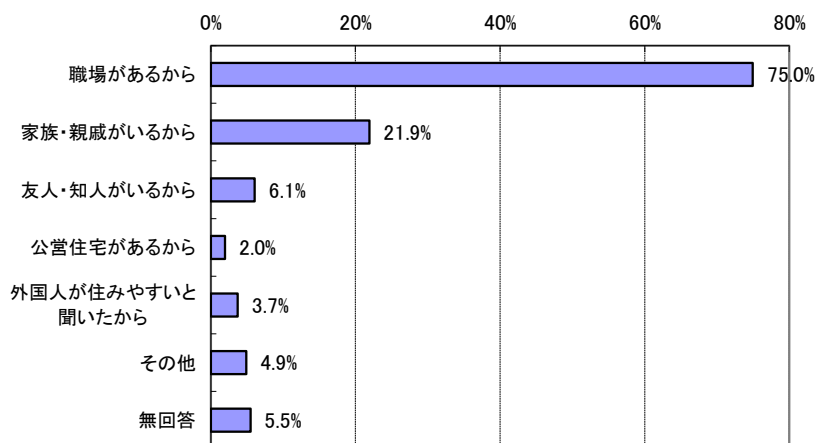


⑦土浦市に住む理由

(複数回答)

回答者の土浦市に住む理由は、「職場があるから」が75.0%と最も多く、「家族・親戚がいるから」が21.9%、「知人・友人がいるから」が6.1%となっている。

問7 なぜ土浦市に住んでいるか(n=511)

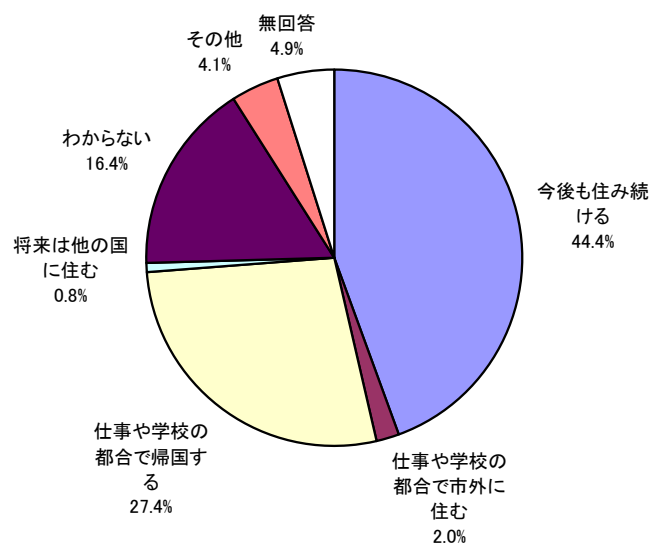


⑧今後の土浦市への居住意向

問8 これからも土浦市に住み続けるか(n=511)

(単数回答)

回答者の今後の土浦市への居住意向は、「今後も住み続ける」が44.4%と最も多く、「仕事や学校の都合で帰国する」が27.4%、「わからない」が16.4%となっている。



[在留資格別に見た今後の土浦市への居住意向]

在留資格の「短期滞在」のグループは、『仕事や学校の都合で帰国する』割合が48.1%と全体と比較して高い。一方、「長期滞在」のグループは、『今後も住み続ける』割合が73.4%と全体と比較して高い。

		n	合計	今後も住み続ける	仕事や学校の都合で市外に住む	仕事や学校の都合で帰国する	将来は他の国に住む	わからない	その他	無回答
全体		511	511	227	10	140	4	84	21	25
			100.0%	44.4%	2.0%	27.4%	0.8%	16.4%	4.1%	4.9%
在留資格	短期	270	270	55	5	130	2	49	20	9
			100.0%	20.4%	1.9%	48.1%	0.7%	18.1%	7.4%	3.3%
	長期	229	229	168	4	8	2	33	1	13
			100.0%	73.4%	1.7%	3.5%	0.9%	14.4%	0.4%	5.7%
	無回答	12	12	4	1	2	0	2	0	3
			100.0%	33.3%	8.3%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	25.0%

【土浦市の居住年数別に見た今後の土浦市への居住意向】

居住年数が「3年未満」の回答者が『仕事や学校の都合で帰国する』の割合が全体と比較して高い。一方、居住年数が「3年以上」の回答者は『今後も住み続ける』の割合が全体と比較して高い。

		n	合計	今後も住み続ける	仕事や学校の都合で市外に住む	仕事や学校の都合で帰国する	将来は他の国に住む	わからない	その他	無回答
全体		511	511	227	10	140	4	84	21	25
			100.0%	44.4%	2.0%	27.4%	0.8%	16.4%	4.1%	4.9%
土浦の居住年数	～6か月	25	25	10	0	9	0	5	0	1
			100.0%	40.0%	0.0%	36.0%	0.0%	20.0%	0.0%	4.0%
	6か月～1年	70	70	17	3	35	1	6	7	1
			100.0%	24.3%	4.3%	50.0%	1.4%	8.6%	10.0%	1.4%
	1年～3年	190	190	37	5	93	1	43	11	0
			100.0%	19.5%	2.6%	48.9%	0.5%	22.6%	5.8%	0.0%
	3年～5年	14	14	11	0	2	0	1	0	0
			100.0%	78.6%	0.0%	14.3%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
	5年～10年	65	65	53	1	0	2	8	0	1
			100.0%	81.5%	1.5%	0.0%	3.1%	12.3%	0.0%	1.5%
10年～20年	85	85	73	1	0	0	10	0	1	
		100.0%	85.9%	1.2%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	1.2%	
20年～	30	30	23	0	0	0	5	2	0	
		100.0%	76.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	6.7%	0.0%	
無回答	32	32	3	0	1	0	6	1	21	
		100.0%	9.4%	0.0%	3.1%	0.0%	18.8%	3.1%	65.6%	

【土浦に住む理由別に見た今後の土浦市への居住意向】

「家族・親戚がいるから」「友人・知人がいるから」「公営住宅があるから」「外国人が住みやすいと聞いたから」の回答者が『今後も住み続ける』の割合が全体と比較して高い。一方、「職場があるから」の回答者は『仕事や学校の都合で帰国する』の割合が全体と比較して高い。

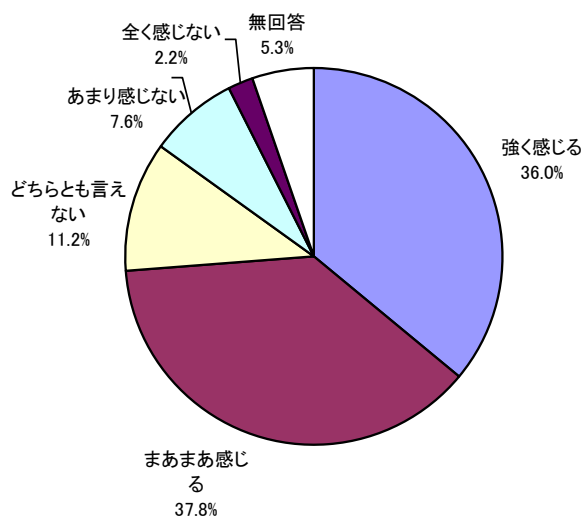
		n	合計	今後も住み続ける	仕事や学校の都合で市外に住む	仕事や学校の都合で帰国する	将来は他の国に住む	わからない	その他	無回答
全体		511	511	227	10	140	4	84	21	25
			100.0%	44.4%	2.0%	27.4%	0.8%	16.4%	4.1%	4.9%
土浦に住む理由	職場があるから	383	383	162	5	134	3	59	19	1
			100.0%	42.3%	1.3%	35.0%	0.8%	15.4%	5.0%	0.3%
	家族・親戚がいるから	112	112	87	3	3	1	15	2	1
			100.0%	77.7%	2.7%	2.7%	0.9%	13.4%	1.8%	0.9%
	友人・知人がいるから	31	31	25	0	3	0	2	1	0
			100.0%	80.6%	0.0%	9.7%	0.0%	6.5%	3.2%	0.0%
	公営住宅があるから	10	10	8	0	0	0	1	1	0
			100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%
	外国人が住みやすいと聞いたから	19	19	18	0	0	0	1	0	0
			100.0%	94.7%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
その他	25	25	9	2	3	0	8	2	1	
		100.0%	36.0%	8.0%	12.0%	0.0%	32.0%	8.0%	4.0%	
無回答	28	28	2	0	0	0	4	0	22	
		100.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	78.6%	

⑨市への愛着

(単数回答)

回答者の土浦市への愛着は、「まあまあ感じる」が37.8%と最も多く、「強く感じる」が36.0%、「どちらとも言えない」が11.2%となっている。

問9 土浦市に愛着を感じるか(n=511)



[在留資格別に見た今後の土浦市への愛着]

在留資格の「短期滞在」のグループは、『まあまあ感じる』の割合が44.4%と全体と比較して高い。一方、「長期滞在」のグループは『強く感じる』の割合が46.7%と全体と比較して高い。

		n	合計	強く感じる	まあまあ感じる	どちらとも言えない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体		511	511	184	193	57	39	11	27
			100.0%	36.0%	37.8%	11.2%	7.6%	2.2%	5.3%
在留資格	短期	270	270	75	120	34	26	7	8
			100.0%	27.8%	44.4%	12.6%	9.6%	2.6%	3.0%
	長期	229	229	107	71	23	12	4	12
			100.0%	46.7%	31.0%	10.0%	5.2%	1.7%	5.2%
	無回答	12	12	2	2	0	1	0	7
			100.0%	16.7%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	58.3%

[土浦に住む理由別に見た土浦市への愛着]

「家族・親戚がいるから」「友人・知人がいるから」「公営住宅があるから」「外国人が住みやすいと聞いたから」の回答者は、『強く感じる』の割合が全体と比較して高い。一方、「職場があるから」の回答者は、『まあまあ感じる』の割合が全体と比較して高い。

		n	合計	強く感じる	まあまあ感じる	どちらとも言えない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体		511	511	184	193	57	39	11	27
			100.0%	36.0%	37.8%	11.2%	7.6%	2.2%	5.3%
土浦に住む理由	職場があるから	383	383	136	161	40	33	6	7
			100.0%	35.5%	42.0%	10.4%	8.6%	1.6%	1.8%
	家族・親戚がいるから	112	112	58	32	12	5	3	2
			100.0%	51.8%	28.6%	10.7%	4.5%	2.7%	1.8%
	友人・知人がいるから	31	31	17	10	2	1	1	0
			100.0%	54.8%	32.3%	6.5%	3.2%	3.2%	0.0%
	公営住宅があるから	10	10	8	2	0	0	0	0
			100.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
外国人が住みやすいと聞いたから	19	19	11	6	1	1	0	0	
		100.0%	57.9%	31.6%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	
その他	25	25	10	5	2	4	2	2	
		100.0%	40.0%	20.0%	8.0%	16.0%	8.0%	8.0%	
無回答	28	28	4	5	2	0	0	17	
		100.0%	14.3%	17.9%	7.1%	0.0%	0.0%	60.7%	

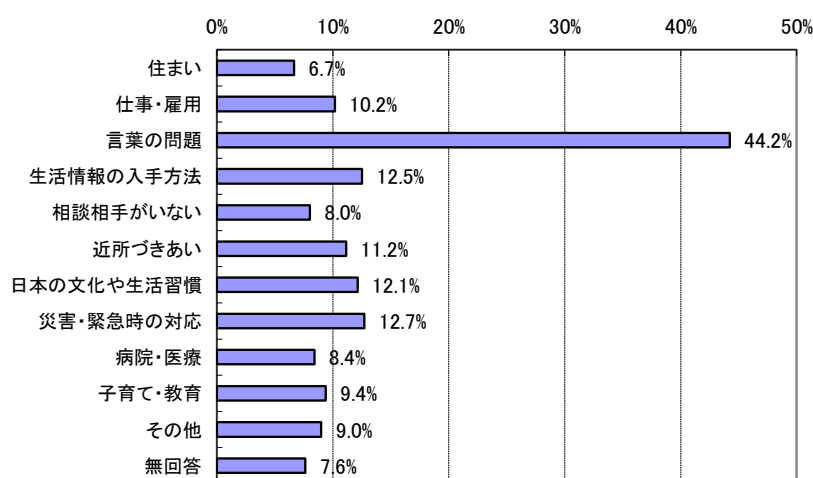
(2)暮らし、住居

①普段の生活での困りごと

(複数回答)

回答者の普段の生活での困りごとは、「言葉の問題」が44.2%と最も多く、「災害・緊急時の対応」が12.7%、「生活情報の入手方法」が12.5%となっている。

問10 普段の生活でこまっていること(n=511)



【年齢別に見た普段の生活での困りごと】

「10歳代」「20歳代」は、『言葉の問題』の割合が全体と比較して高い。「30歳代」は、『生活情報の入手方法』の割合が全体と比較して高い。「40歳代」は、『仕事・雇用』『生活情報の入手方法』『災害・緊急時の対応』『子育て・教育』といった多様な分野について全体と比較して割合が高い。「50歳代」は、『生活情報の入手方法』『災害・緊急時の対応』の割合が全体と比較して高い。

		n	合計	住まい	仕事・雇用	言葉の問題	生活情報の入手方法	相談相手がない	近所づきあい	日本の文化や生活習慣	災害・緊急時の対応	病院・医療	子育て・教育	その他	無回答
全体		511	777	34	52	226	64	41	57	62	65	43	48	46	39
年代別	10歳代	15	152.1%	6.7%	10.2%	44.2%	12.5%	8.0%	11.2%	12.1%	12.7%	8.4%	9.4%	9.0%	7.6%
			17	1	0	9	0	0	2	1	2	0	0	1	1
			113.3%	6.7%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	13.3%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%
	20歳代	218	293	10	12	118	18	9	31	29	14	17	7	15	13
			134.4%	4.6%	5.5%	54.1%	8.3%	4.1%	14.2%	13.3%	6.4%	7.8%	3.2%	6.9%	6.0%
			196	8	9	44	23	14	16	16	15	8	20	13	10
			163.3%	6.7%	7.5%	36.7%	19.2%	11.7%	13.3%	13.3%	12.5%	6.7%	16.7%	10.8%	8.3%
	40歳代	82	154	8	15	32	12	13	6	7	20	12	17	5	7
			187.8%	9.8%	18.3%	39.0%	14.6%	15.9%	7.3%	8.5%	24.4%	14.6%	20.7%	6.1%	8.5%
	50歳代	44	76	5	9	15	11	5	1	6	10	4	1	6	3
		172.7%	11.4%	20.5%	34.1%	25.0%	11.4%	2.3%	13.6%	22.7%	9.1%	2.3%	13.6%	6.8%	
60歳代	5	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
		120.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	
70歳代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	27	35	2	6	7	0	0	1	3	4	2	3	4	3	
		129.6%	7.4%	22.2%	25.9%	0.0%	0.0%	3.7%	11.1%	14.8%	7.4%	11.1%	14.8%	11.1%	

【在留資格別に見た普段の生活の困りごと】

在留資格の「短期滞在」のグループは、『言葉の問題』の割合が全体と比較して高い。一方、「長期滞在」のグループは、『仕事・雇用』『生活情報の入手方法』『災害・緊急時の対応』『病院・医療』『子育て・教育』といった多様な分野について全体と比較して割合が高い。

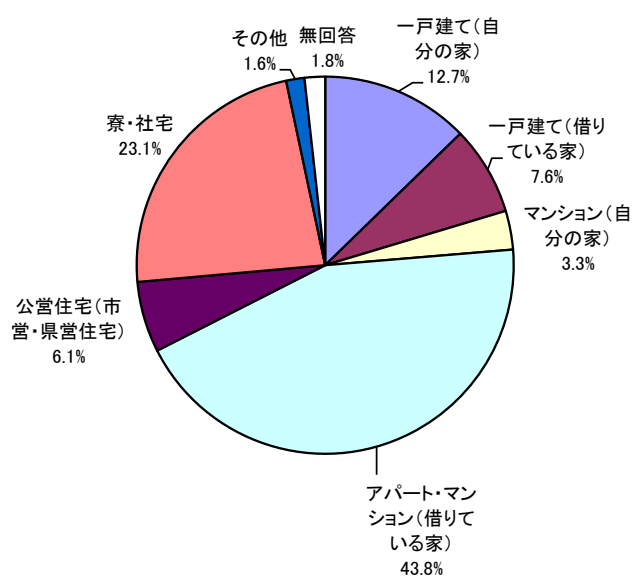
		n	合計	住まい	仕事・雇用	言葉の問題	生活情報の入手方法	相談相手がない	近所づきあい	日本の文化や生活習慣	災害・緊急時の対応	病院・医療	子育て・教育	その他	無回答
全体		511	777	34	52	226	64	41	57	62	65	43	48	46	39
			152.1%	6.7%	10.2%	44.2%	12.5%	8.0%	11.2%	12.1%	12.7%	8.4%	9.4%	9.0%	7.6%
在留資格	短期	270	351	14	14	149	18	13	38	38	15	15	5	17	15
			130.0%	5.2%	5.2%	55.2%	6.7%	4.8%	14.1%	14.1%	5.6%	5.6%	1.9%	6.3%	5.6%
	長期	229	411	20	37	72	44	26	19	24	48	28	42	29	22
			179.5%	8.7%	16.2%	31.4%	19.2%	11.4%	8.3%	10.5%	21.0%	12.2%	18.3%	12.7%	9.6%
	無回答	12	15	0	1	5	2	2	0	0	2	0	1	0	2
			125.0%	0.0%	8.3%	41.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	16.7%

②家の種類

(単数回答)

回答者の家の種類は、「アパート・マンション(借りている家)」が43.8%と最も多く、「寮・社宅」が23.1%、「一戸建て(自分の家)」が12.7%となっている。

問11 家の種類 (n=511)

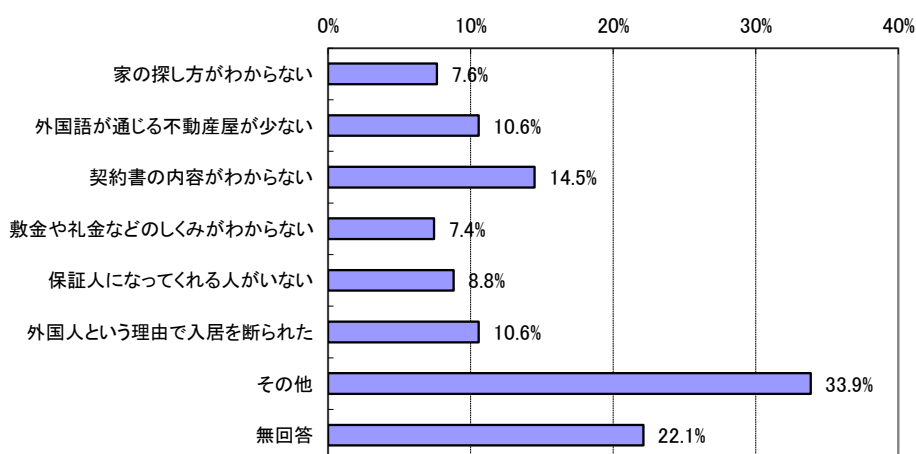


③家についての困りごと

(複数回答)

回答者の家についての困りごとは、「その他」が 33.9%と最も多く、「契約書の内容がわからない」が 14.5%、「外国語が通じる不動産屋が少ない」「外国人という理由で入居を断られた」が共に 10.6%となっている。

問12 家についてこまったことは(n=511)



「その他」の内訳を見ると、142 件中 131 件が問題はないという回答となっている。

[在留資格別に見た家についての困りごと]

在留資格の「短期滞在」のグループは、『その他』の割合が全体と比較して高い。一方、「長期滞在」のグループは、『外国語の通じる不動産屋が少ない』『契約書の内容がわからない』『敷金や礼金などのしくみがわからない』『保証人になってくれる人がいない』といった不動産の賃貸契約や売買取引に係る分野全般に亘り、全体と比較して割合が高い。

「短期滞在」のグループは、雇用者が住宅の手配をしており特に課題は見られないが、「長期滞在」のグループは、個人で不動産の賃貸契約や売買取引に応じる場面が発生するため、具体的な課題が発生するものと予測される。

		n	合計	家の探し方がわからない	外国語の通じる不動産屋が少ない	契約書の内容がわからない	敷金や礼金などのしくみがわからない	保証人になってくれる人がいない	外国人という理由で入居を断られた	その他	無回答
全体		511	590	39	54	74	38	45	54	173	113
			115.5%	7.6%	10.6%	14.5%	7.4%	8.8%	10.6%	33.9%	22.1%
在留資格	短期	270	277	25	15	31	11	9	12	118	56
			102.6%	9.3%	5.6%	11.5%	4.1%	3.3%	4.4%	43.7%	20.7%
	長期	229	301	13	38	42	27	35	40	54	52
	無回答	12	12	1	1	1	0	1	2	1	5
			100.0%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%	16.7%	8.3%	41.7%

【日本での居住年数別に見た家についての困りごと】

「1年未満」は、『その他』の割合が全体と比較して高い。一方、「1年以上」は、『家の探し方がわからない』『外国語の通じる不動産屋が少ない』『契約書の内容がわからない』『敷金や礼金などのしくみがわからない』『保証人になってくれる人がいない』『外国人ということで入居を断られた』といった不動産の賃貸契約や売買取引に係る分野全般に亘り、全体と比較して割合が高い。

先に示した在留資格別に見たクロス集計と同様の傾向が伺える。

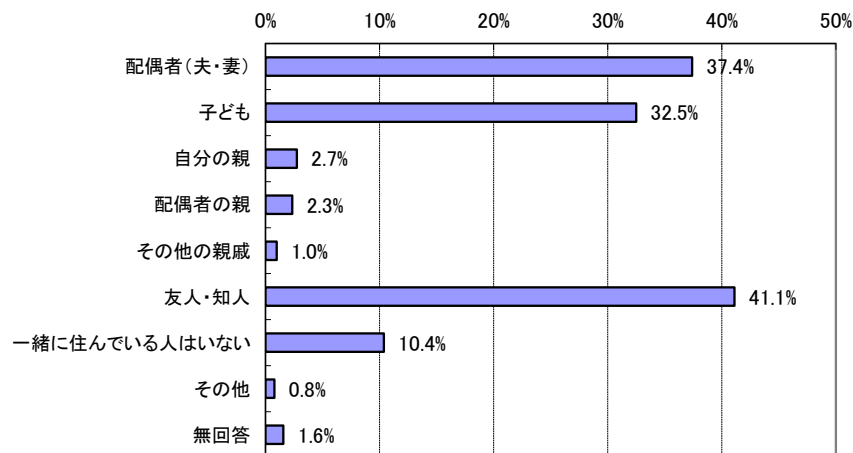
		n	合計	家の探し方がわからない	外国語の通じる不動産屋が少ない	契約書の内容がわからない	敷金や礼金などのしくみがわからない	保証人になってくれる人がいない	外国人という理由で入居を断られた	その他	無回答
全体		511	590	39	54	74	38	45	54	173	113
			115.5%	7.6%	10.6%	14.5%	7.4%	8.8%	10.6%	33.9%	22.1%
日本の居住年数	~6か月	22	22	1	0	0	0	0	0	16	5
			100.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	72.7%	22.7%
	6か月~1年	56	56	1	1	7	2	1	0	35	9
			100.0%	1.8%	1.8%	12.5%	3.6%	1.8%	0.0%	62.5%	16.1%
	1年~3年	189	196	22	14	26	8	4	11	70	41
			103.7%	11.6%	7.4%	13.8%	4.2%	2.1%	5.8%	37.0%	21.7%
	3年~5年	11	17	2	3	4	3	1	2	0	2
			154.5%	18.2%	27.3%	36.4%	27.3%	9.1%	18.2%	0.0%	18.2%
	5年~10年	42	54	3	6	5	3	8	9	12	8
			128.6%	7.1%	14.3%	11.9%	7.1%	19.0%	21.4%	28.6%	19.0%
10年~20年	105	136	6	19	21	9	18	16	17	30	
		129.5%	5.7%	18.1%	20.0%	8.6%	17.1%	15.2%	16.2%	28.6%	
20年~	77	100	4	10	11	13	13	15	21	13	
		129.9%	5.2%	13.0%	14.3%	16.9%	16.9%	19.5%	27.3%	16.9%	
無回答	9	9	0	1	0	0	0	0	1	2	5
		100.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	55.6%

④同居者

(複数回答)

回答者の同居人は、「知人・友人」が41.1%と最も多く、「配偶者」が37.4%、「子ども」が32.5%となっている。

問13 誰と一緒に住んでいるか(n=511)

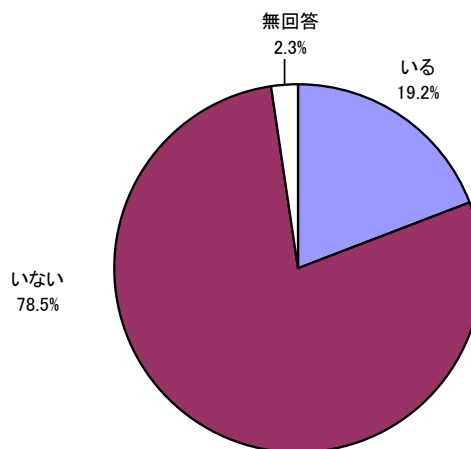


⑤日本人との同居状況

(単数回答)

回答者の日本人との同居状況は、「いない」が78.5%、「いる」が19.2%となっている。

問14 日本人と住んでいますか(n=511)



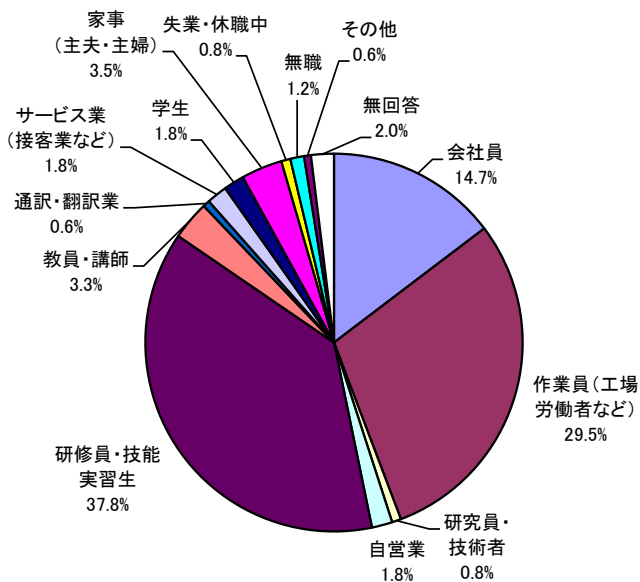
(3) 仕事・雇用

①職業

(単数回答)

回答者の職業は、「研修生・技能実習生」が37.8%と最も多く、「作業員（工場労働者など）」が29.5%、「会社員」が14.7%となっている。

問15 職業(n=511)

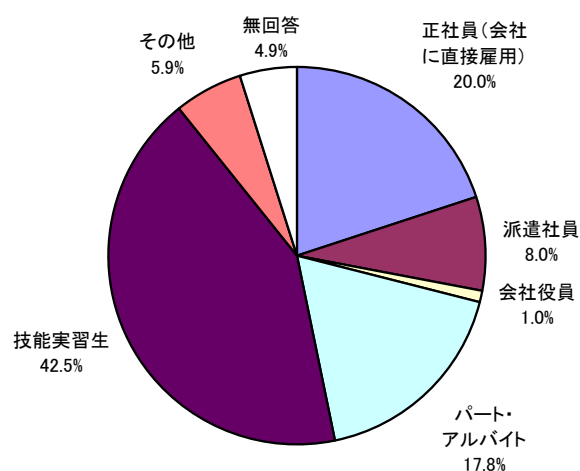


②雇用形態

(単数回答)

回答者の雇用形態は、「技能実習生」が42.5%と最も多く、「正社員（会社に直接雇用）」が20.0%、「パート・アルバイト」が17.8%となっている。

問16 雇用形態 (n=511)

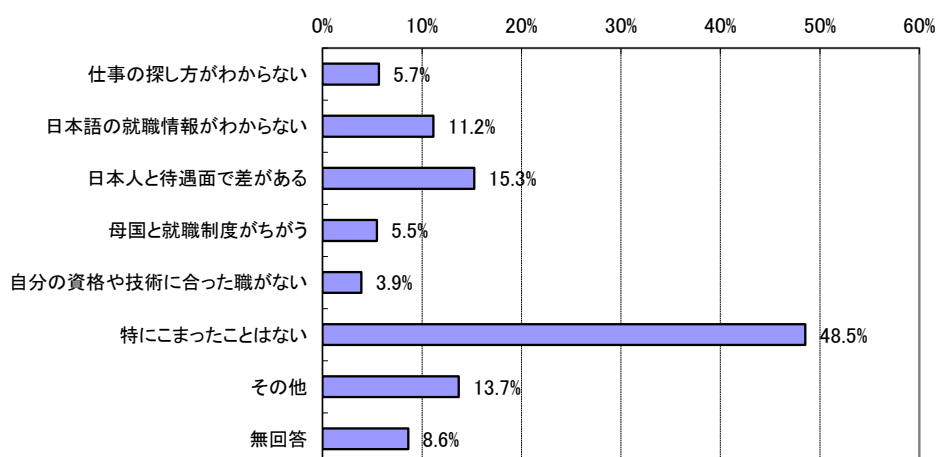


③求職時の困りごと

(複数回答)

回答者の求職時の困りごとは、「特にこまったことはない」が48.5%と最も多く、「日本人と待遇面で差がある」が15.3%、「日本語の就職情報がわからない」が11.2%となっている。

問17 仕事を探すときにこまったこと (n=511)



【在留資格別に見た求職時の困りごと】

在留資格の「短期滞在」のグループは、『特にこまったことはない』の割合が全体と比較して高い。一方、「長期滞在」のグループは、『日本語の就職情報がわからない』『日本人と待遇面で差がある』『母国と就職制度がちがう』『自分の資格や技術に合った職がない』といった多様な分野に亘り、全体と比較して割合が高い。

		n	合計	仕事の探し方がわからない	日本語の就職情報がわからない	日本人と待遇面で差がある	母国と就職制度がちがう	自分の資格や技術に合った職がない	特にこまったことはない	その他	無回答
全体		511	574	29	57	78	28	20	248	70	44
			112.3%	5.7%	11.2%	15.3%	5.5%	3.9%	48.5%	13.7%	8.6%
在留資格	短期	270	284	14	27	31	4	5	139	42	22
			105.2%	5.2%	10.0%	11.5%	1.5%	1.9%	51.5%	15.6%	8.1%
	長期	229	276	14	28	45	23	14	106	27	19
			120.5%	6.1%	12.2%	19.7%	10.0%	6.1%	46.3%	11.8%	8.3%
	無回答	12	14	1	2	2	1	1	3	1	3
			116.7%	8.3%	16.7%	16.7%	8.3%	8.3%	25.0%	8.3%	25.0%

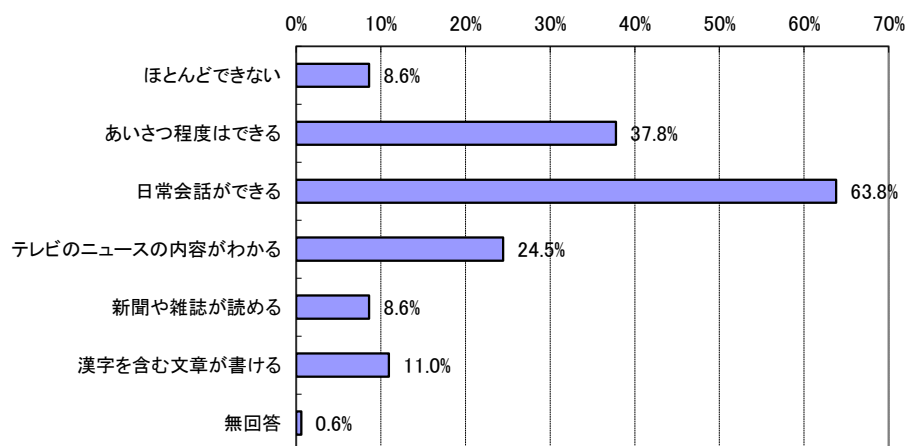
(4) 日本語の学習

①日本語の使える程度

(複数回答)

回答者の日本語を使える程度は、「日常会話ができる」が 63.8%と最も多く、「あいさつ程度はできる」が 37.8%、「テレビのニュースの内容がわかる」が 24.5%となっている。

問18 日本語がどのくらいできるか(n=511)

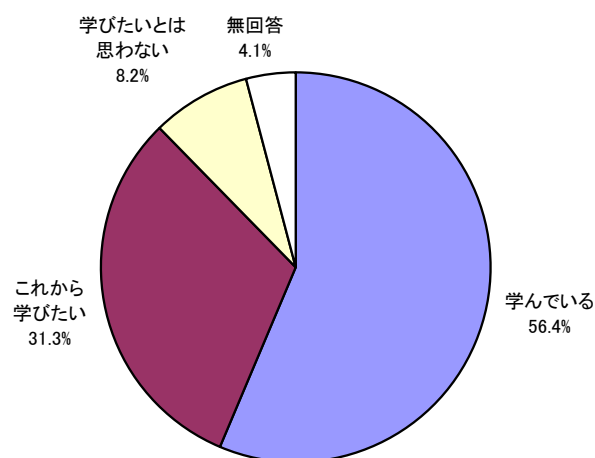


②日本語の学習状況

(単数回答)

回答者の日本語の学習状況は、「学んでいる」は 56.4%、「これから学びたい」は 31.3%となっている。一方、「学びたいと思わない」は 8.2%となっている。

問19 日本語を学んでいるか。また、学びたいと思うか
(n=511)



[在留資格別に見た日本語の学習状況]

在留資格の「短期滞在」のグループは、『学んでいる』が 73.0%と全体と比較して高い。一方、「長期滞在」のグループは、『これから学びたい』が 44.5%と全体と比較して高い。

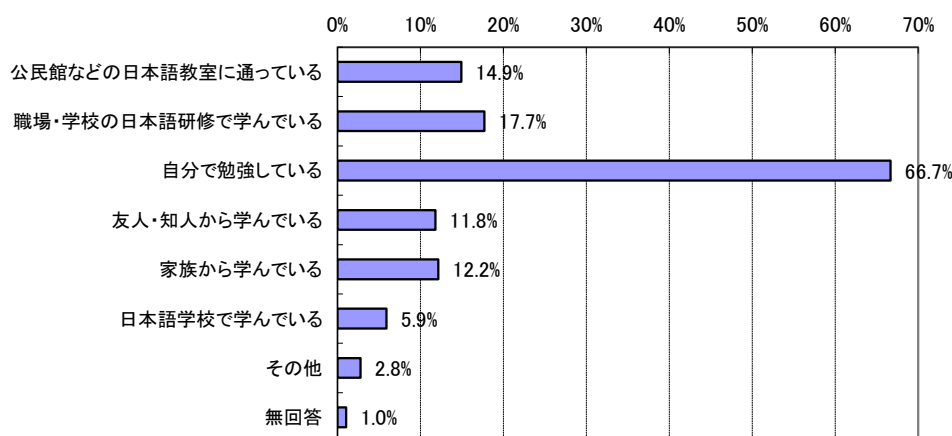
		n	合計	学んでいる	これから学びたい	学びたいと思わない	無回答
全体		511	511	288	160	42	21
			100.0%	56.4%	31.3%	8.2%	4.1%
在留資格	短期	270	270	197	54	13	6
			100.0%	73.0%	20.0%	4.8%	2.2%
	長期	229	229	86	102	29	12
			100.0%	37.6%	44.5%	12.7%	5.2%
	無回答	12	12	5	4	0	3
			100.0%	41.7%	33.3%	0.0%	25.0%

③日本語の学習方法

(複数回答)

問19で日本語を学んでいると答えた回答者の日本語の学習方法は、「自分で勉強している」が66.7%と最も多く、「職場・学校の日本語研修で学んでいる」が17.7%、「公民館などの日本語教室に通っている」が14.9%となっている。

問20 日本語を学んだ方法 (n=288)

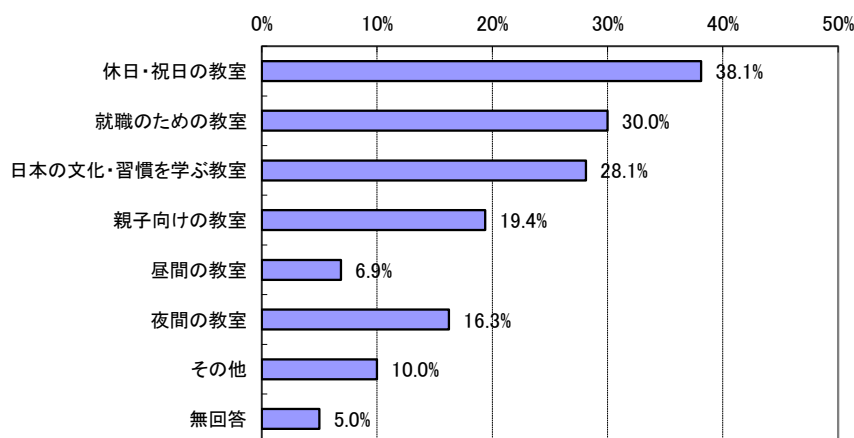


④希望する日本語教室

(複数回答)

問19で日本語をこれから学びたいと答えた回答者の希望する日本語教室は、「休日・祝日の教室」が38.1%と最も多く、「就職のための教室」が30.0%、「日本語の文化・習慣を学ぶ教室」が28.1%となっている。

問21 どのような教室で日本語を学びたいか (n=160)



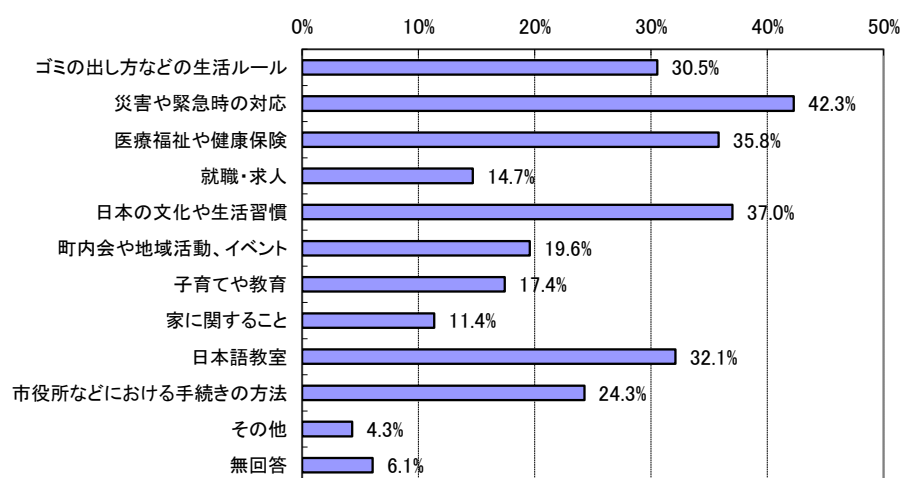
(5) 情報入手・相談

① 普段の生活に必要な情報

(複数回答)

回答者の普段の生活に必要な情報は、「災害や緊急時の対応」が 42.3%と最も多く、「日本の文化や生活習慣」が 37.0%、「医療福祉や健康保険」が 35.8%となっている。

問22 普段の生活で必要な情報(n=511)



[在留資格別に見た普段の生活に必要な情報]

在留資格の「短期滞在」のグループは、『ゴミの出し方などの生活ルール』『日本の文化や生活習慣』の割合が全体と比較して高い。一方、「長期滞在」のグループは、『医療福祉や健康保険』『就職・求人』『子育てや教育』『市役所などにおける手続きの方法』といった多様な分野の情報が全体と比較して割合が高い。

		n	合計	ゴミの出し方などの生活ルール	災害や緊急時の対応	医療福祉や健康保険	就職・求人	日本の文化や生活習慣	町内会や地域活動、イベント	子育てや教育	家に関すること	日本語教室	市役所などにおける手続きの方法	その他	無回答
全体		511	1407	156	216	183	75	189	100	89	58	164	124	22	31
			275.3%	30.5%	42.3%	35.8%	14.7%	37.0%	19.6%	17.4%	11.4%	32.1%	24.3%	4.3%	6.1%
在留資格	短期	270	689	104	118	86	20	128	55	14	23	91	34	6	10
			255.2%	38.5%	43.7%	31.9%	7.4%	47.4%	20.4%	5.2%	8.5%	33.7%	12.6%	2.2%	3.7%
	長期	229	695	52	93	93	54	58	45	73	34	70	88	16	19
			303.5%	22.7%	40.6%	40.6%	23.6%	25.3%	19.7%	31.9%	14.8%	30.6%	38.4%	7.0%	8.3%
	無回答	12	23	0	5	4	1	3	0	2	1	3	2	0	2
			191.7%	0.0%	41.7%	33.3%	8.3%	25.0%	0.0%	16.7%	8.3%	25.0%	16.7%	0.0%	16.7%

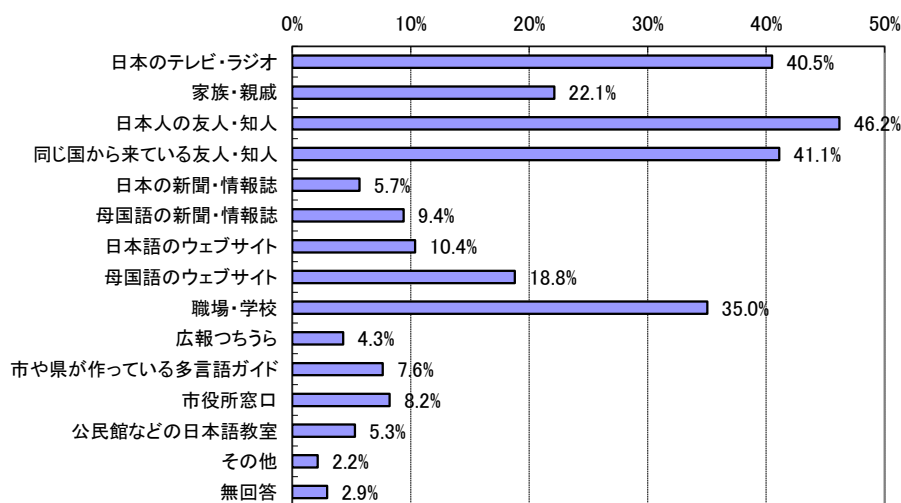
②必要な情報の入手方法

(複数回答)

回答者の必要な情報の入手方法は、「日本人の友人・知人」が46.2%と最も多く、「同じ国から来ている友人・知人」が41.1%、「日本のテレビ・ラジオ」が40.5%となっている。

一方、「市役所窓口」は8.2%、「市や県が作っている多言語ガイド」は7.6%、「広報つちうら」は4.3%と公的な情報発信ツールや窓口の需要が低い傾向が伺える。

問23 普段の生活で必要な情報はどこから手に入れているか(n=511)



【在留資格別に見た必要な情報の入手方法】

在留資格の「短期滞在」のグループは、全体と同様の傾向がある。一方、「長期滞在」のグループは、多様な情報の入手方法を持つ傾向が見られる。

その中で、「長期滞在」のグループについては『広報つちうら』『市や県が作っている多言語ガイド』『市役所窓口』の割合が全体と比較して高く、公的な情報源も活用している傾向が高いことが伺える。また、『母国語の新聞・情報誌』『母国語のウェブサイト』の割合が全体と比較して高く、「短期滞在」グループよりもさまざまな情報源の入手先に関する情報を把握している傾向が高いことが伺える。

つまり、「短期滞在」のグループは、さまざまな情報源の入手先に関する情報自体が不足していると想定される。

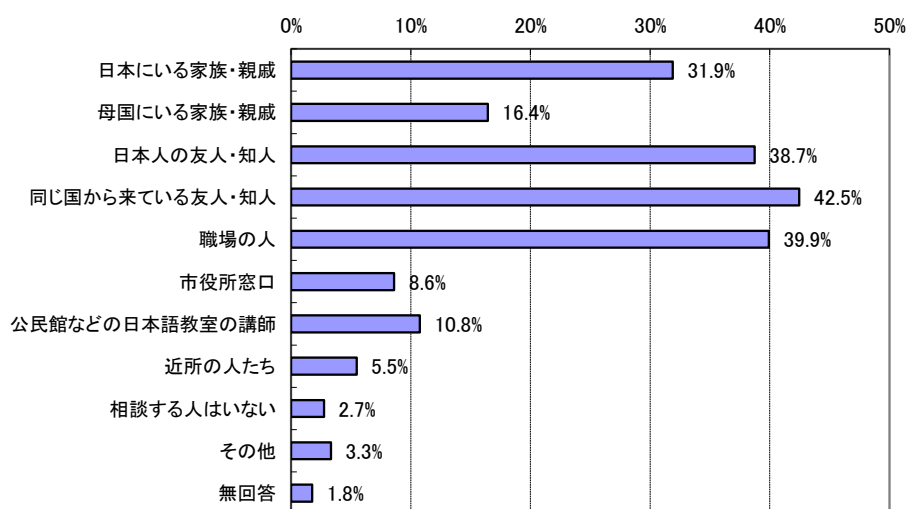
	n	合計	日本のテレビ・ラジオ	家族・親戚	日本人の友人・知人	同じ国から来ている友人・知人	日本の新聞・情報誌	母国語の新聞・情報誌	日本語のウェブサイト	母国語のウェブサイト	職場・学校	広報つちうら	市や県が作っている多言語ガイド	市役所窓口	公民館などの日本語教室	その他	無回答	
全体	511	1327	207	113	236	210	29	48	53	96	179	22	39	42	27	11	15	
		259.7%	40.5%	22.1%	46.2%	41.1%	5.7%	9.4%	10.4%	18.8%	35.0%	4.3%	7.6%	8.2%	5.3%	2.2%	2.9%	
在留資格	短期	270	533	76	16	115	106	8	11	18	38	87	4	12	10	19	5	8
			197.4%	28.1%	5.9%	42.6%	39.3%	3.0%	4.1%	6.7%	14.1%	32.2%	1.5%	4.4%	3.7%	7.0%	1.9%	3.0%
	長期	229	773	128	95	118	101	21	36	35	57	90	18	26	31	7	5	5
		337.6%	55.9%	41.5%	51.5%	44.1%	9.2%	15.7%	15.3%	24.9%	39.3%	7.9%	11.4%	13.5%	3.1%	2.2%	2.2%	
無回答	12	21	3	2	3	3	0	1	0	1	2	0	1	1	1	1	1	2
		175.0%	25.0%	16.7%	25.0%	25.0%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	16.7%

③困りごとの相談相手

(複数回答)

回答者の困りごとの相談相手は、「同じ国から来ている友人・知人」が 42.5%と最も多く、「職場の人」は 39.9%、「日本人の友人・知人」が 38.7%になっている。一方、「市役所窓口」は 8.6%に留まっている。

問24 こまったときは誰に相談するか(n=511)



[在留資格別に見た困りごとの相談相手]

在留資格の「短期滞在」のグループは、『同じ国から来ている友人・知人』『職場の人』『公民館などの日本語教室の講師』の割合が全体と比較して高い。一方、「長期滞在」のグループは、『日本にいる家族・親族』『日本人の友人・知人』『市役所窓口』の割合が全体と比較して高い。

行政が支援できる先として、「短期滞在」のグループは『公民館などの日本語教室の講師』、「長期滞在」グループは『市役所窓口』が想定される。

		n	合計	日本にいる家族・親戚	母国にいる家族・親戚	日本人の友人・知人	同じ国から来ている友人・知人	職場の人	市役所窓口	公民館などの日本語教室の講師	近所の人たち	相談する人はいない	その他	無回答
全体		511	1033	163	84	198	217	204	44	55	28	14	17	9
			202.2%	31.9%	16.4%	38.7%	42.5%	39.9%	8.6%	10.8%	5.5%	2.7%	3.3%	1.8%
在留資格	短期	270	463	18	29	88	129	118	9	44	5	5	16	2
			171.5%	6.7%	10.7%	32.6%	47.8%	43.7%	3.3%	16.3%	1.9%	1.9%	5.9%	0.7%
	長期	229	551	143	55	105	85	83	33	9	23	8	1	6
			240.6%	62.4%	24.0%	45.9%	37.1%	36.2%	14.4%	3.9%	10.0%	3.5%	0.4%	2.6%
無回答	12	19	2	0	5	3	3	2	2	0	1	0	1	
		158.3%	16.7%	0.0%	41.7%	25.0%	25.0%	16.7%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	

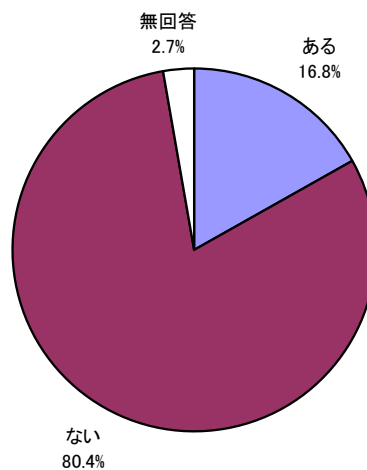
(6) 地域社会とのつながり

①日本人とのトラブルの状況

(単数回答)

回答者の日本人とのトラブルの状況は、「ない」が 80.4%、「ある」16.8%となっている。

問25 生活する中で、日本人とトラブルになったことがあるか
(n=511)



[年齢別に見た日本人とのトラブルの状況]

「30～40 歳代」は、『ある』の割合が全体と比較して高い。これらの世代は職場や地域での活動が活発になる世代であり、何らかのトラブルに遭う割合が高まるものと想定される。

		n	合計	ある	ない	無回答
全体		511	511	86	411	14
			100.0%	16.8%	80.4%	2.7%
年代別	10歳代	15	15	1	13	1
			100.0%	6.7%	86.7%	6.7%
	20歳代	218	218	29	185	4
			100.0%	13.3%	84.9%	1.8%
	30歳代	120	120	23	92	5
			100.0%	19.2%	76.7%	4.2%
	40歳代	82	82	22	59	1
			100.0%	26.8%	72.0%	1.2%
50歳代	44	44	5	38	1	
		100.0%	11.4%	86.4%	2.3%	
60歳代	5	5	0	4	1	
		100.0%	0.0%	80.0%	20.0%	
70歳代以上	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	27	27	6	20	1	
		100.0%	22.2%	74.1%	3.7%	

[在留資格別に見た日本人とのトラブルの状況]

在留資格の「長期滞在」グループは、『ある』の割合が全体と比較して高い。長く暮らすほど職場や地域での日本人との接触が多くなり、何らかのトラブルに遭う割合が高まるものと想定される。

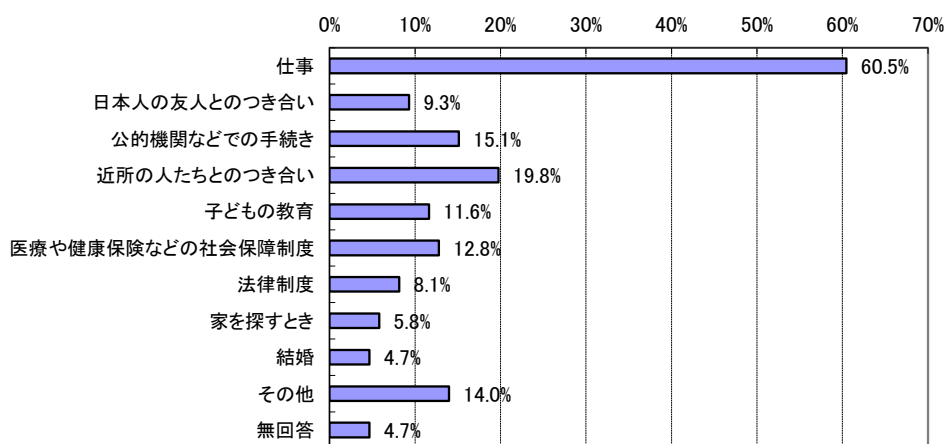
		n	合計	ある	ない	無回答
全体		511	511	86	411	14
			100.0%	16.8%	80.4%	2.7%
在留資格	短期	270	270	30	237	3
			100.0%	11.1%	87.8%	1.1%
	長期	229	229	53	166	10
			100.0%	23.1%	72.5%	4.4%
	無回答	12	12	3	8	1
			100.0%	25.0%	66.7%	8.3%

②トラブルの内容

(複数回答)

問 25 で日本人とのトラブルがあると答えた回答者のトラブルの内容は、「仕事」が60.5%と最も多く、「近所の人たちとのつき合い」が19.8%、「公的機関等での手続き」15.1%となっている。

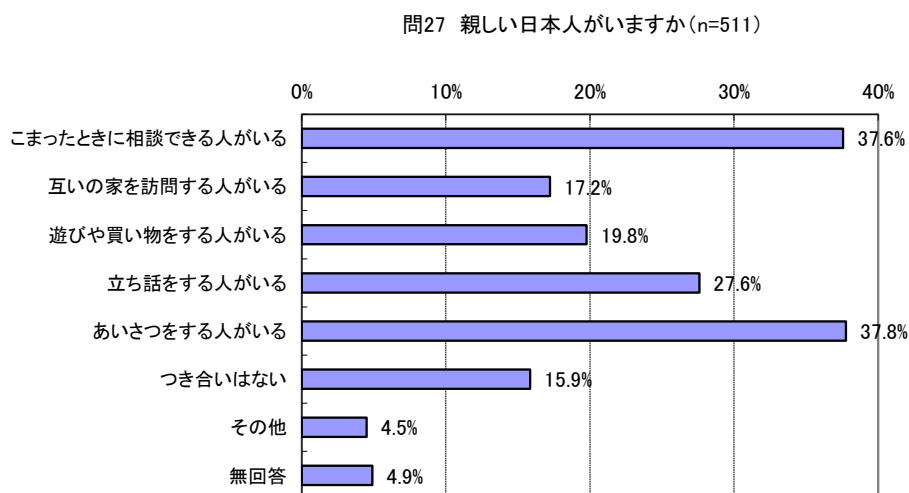
問26 どんなことでトラブルになったか (n=86)



③親しい日本人の状況

(複数回答)

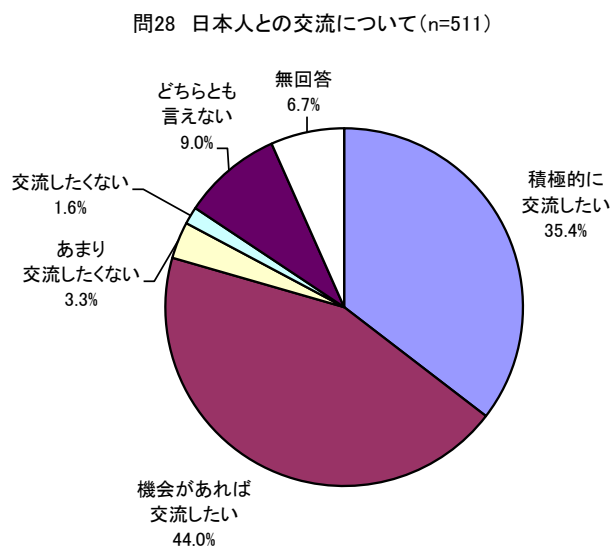
回答者の親しい日本人の状況は、「あいさつする人がいる」が37.8%と最も多く、「こまったときに相談できる人がいる」が37.6%、「立ち話をする人がいる」が27.6%となっている。



④日本人との交流意向

(単数回答)

回答者の日本人との交流意向は、「機会があれば積極的に交流したい」が44.0%と最も多く、「積極的に交流したい」が35.4%、「どちらともいえない」が9.0%となっている。



【年齢別に見た日本人との交流意向】

「10～20 歳代」及び「60 歳代」は、『積極的に交流したい』の割合が全体と比較して高い。一方、「30～40 歳代」は、『機会があれば交流したい』の割合が全体と比較して高い。

		n	合計	積極的に交流したい	機会があれば交流したい	あまり交流したくない	交流したくない	どちらとも言えない	無回答
全体		511	511	181	225	17	8	46	34
			100.0%	35.4%	44.0%	3.3%	1.6%	9.0%	6.7%
年代別	10歳代	15	15	8	5	0	0	1	1
			100.0%	53.3%	33.3%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%
	20歳代	218	218	81	90	8	3	20	16
			100.0%	37.2%	41.3%	3.7%	1.4%	9.2%	7.3%
	30歳代	120	120	40	59	6	2	7	6
			100.0%	33.3%	49.2%	5.0%	1.7%	5.8%	5.0%
	40歳代	82	82	24	40	3	2	8	5
			100.0%	29.3%	48.8%	3.7%	2.4%	9.8%	6.1%
	50歳代	44	44	14	19	0	1	8	2
		100.0%	31.8%	43.2%	0.0%	2.3%	18.2%	4.5%	
60歳代	5	5	2	2	0	0	0	1	
		100.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	
70歳代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	27	27	12	10	0	0	2	3	
		100.0%	44.4%	37.0%	0.0%	0.0%	7.4%	11.1%	

【在留資格別に見た日本人との交流意向】

在留資格の「短期滞在」のグループは『積極的に交流したい』の割合が全体と比較して高い。「長期滞在」のグループは『機会があれば交流したい』の割合が全体と比較して高い。

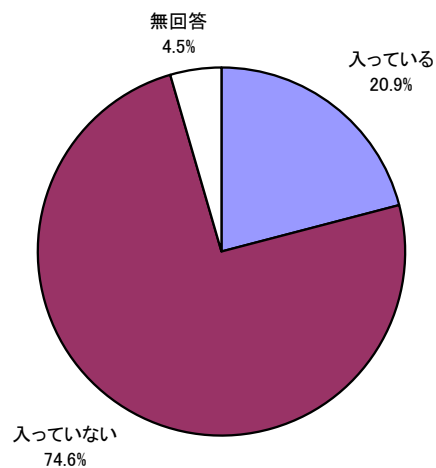
		n	合計	積極的に交流したい	機会があれば交流したい	あまり交流したくない	交流したくない	どちらとも言えない	無回答
全体		511	511	181	225	17	8	46	34
			100.0%	35.4%	44.0%	3.3%	1.6%	9.0%	6.7%
在留資格	短期	270	270	103	115	12	3	17	20
			100.0%	38.1%	42.6%	4.4%	1.1%	6.3%	7.4%
	長期	229	229	76	106	4	4	27	12
		100.0%	33.2%	46.3%	1.7%	1.7%	11.8%	5.2%	
無回答	12	12	2	4	1	1	2	2	
		100.0%	16.7%	33.3%	8.3%	8.3%	16.7%	16.7%	

⑤町内会への加入状況

(単数回答)

回答者の町内会への加入状況は、「入っていない」が 74.6%、「入っている」が 20.9%となっている。

問29 町内会に入っているか(n=511)



【日本の居住年数別に見た町内会への加入状況】

「5年未満」は、『入っていない』の割合が全体と比較して高い。「5年以上」は、『入っている』の割合が全体と比較して高い。

概ね5年以上居住すると、地域への帰属意識が醸成されるものと想定される。

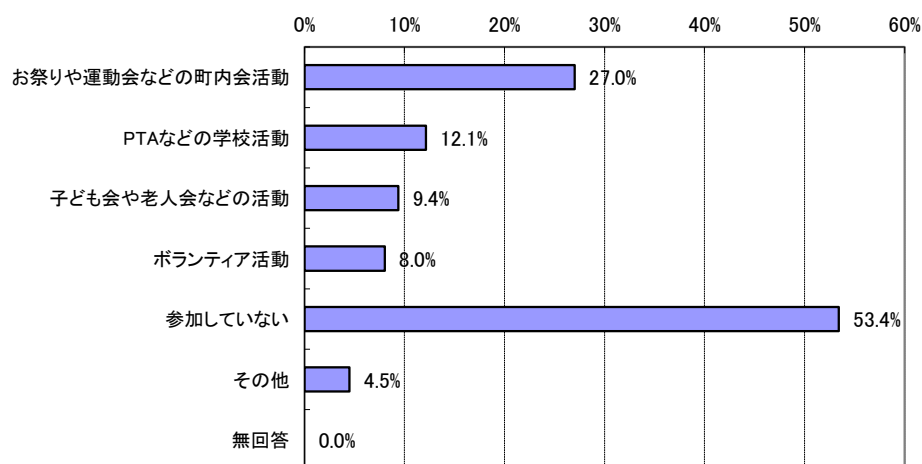
		n	合計	入っている	入っていない	無回答
全体		511	511	107	381	23
			100.0%	20.9%	74.6%	4.5%
日本の居住年数	～6か月	22	22	0	21	1
			100.0%	0.0%	95.5%	4.5%
	6か月～1年	56	56	0	53	3
			100.0%	0.0%	94.6%	5.4%
	1年～3年	189	189	4	176	9
			100.0%	2.1%	93.1%	4.8%
	3年～5年	11	11	1	9	1
			100.0%	9.1%	81.8%	9.1%
	5年～10年	42	42	10	31	1
		100.0%	23.8%	73.8%	2.4%	
10年～20年	105	105	56	45	4	
		100.0%	53.3%	42.9%	3.8%	
20年～	77	77	34	41	2	
		100.0%	44.2%	53.2%	2.6%	
無回答	9	9	2	5	2	
		100.0%	22.2%	55.6%	22.2%	

⑥参加している地域活動

(複数回答)

回答者の参加している地域活動は、「参加していない」が 53.4%と最も多く、「お祭りや運動会などの町内会活動」が 27.0%、「PTA などの学校活動」が 12.1%となっている。

問30 住んでいる地域で参加している活動はあるか(n=511)

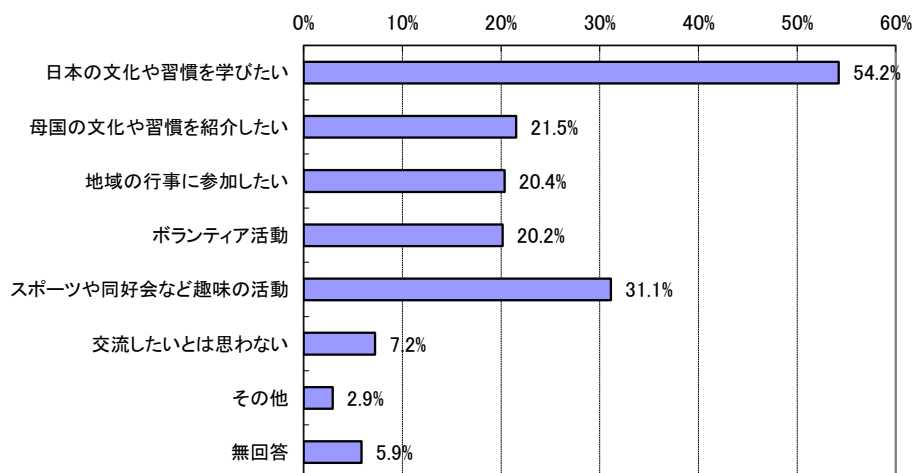


⑦希望する日本人との交流方法

(複数回答)

回答者の希望する日本人との交流方法は、「日本の文化や習慣を学びたい」が 54.2%と最も多く、「スポーツや同好会などの趣味の活動」が 31.1%、「母国の文化や習慣を紹介したい」が 21.5%となっている。

問31 住んでいる地域で日本人とどんな交流をしたいか(n=511)



[年齢別に見た希望する日本人との交流方法]

「10～20 歳代」は、『日本の文化や習慣を学びたい』『スポーツや同好会など趣味の活動』の割合が全体と比較して高い。一方、「30～50 歳代」は、『母国の文化や習慣を紹介したい』『地域の行事に参加したい』の割合が全体と比較して高い。

20 歳代までの世代は、日本文化を学ぶという受け身の志向があり、30 歳代以降は、母国の文化等を紹介するという自発的な志向がある傾向が伺える。また、20 歳代までの世代は趣味などの共通項を持った人間との関わりを持ちたいという志向があり、30 歳代以降は地域との関わりを持ちたいという志向がある傾向が伺える。

		n	合計	日本の文化や習慣を学びたい	母国の文化や習慣を紹介したい	地域の行事に参加したい	ボランティア活動	スポーツや同好会など趣味の活動	交流したいとは思わない	その他	無回答
全体		511	835	277	110	104	103	159	37	15	30
			163.4%	54.2%	21.5%	20.4%	20.2%	31.1%	7.2%	2.9%	5.9%
年代別	10歳代	15	23	9	4	2	2	4	1	0	1
			153.3%	60.0%	26.7%	13.3%	13.3%	26.7%	6.7%	0.0%	6.7%
	20歳代	218	350	131	37	37	46	76	10	2	11
			160.6%	60.1%	17.0%	17.0%	21.1%	34.9%	4.6%	0.9%	5.0%
	30歳代	120	210	65	34	28	23	38	14	5	3
			175.0%	54.2%	28.3%	23.3%	19.2%	31.7%	11.7%	4.2%	2.5%
	40歳代	82	140	41	23	19	17	22	8	5	5
			170.7%	50.0%	28.0%	23.2%	20.7%	26.8%	9.8%	6.1%	6.1%
	50歳代	44	65	17	6	12	7	14	3	2	4
		147.7%	38.6%	13.6%	27.3%	15.9%	31.8%	6.8%	4.5%	9.1%	
60歳代	5	5	2	0	1	1	0	0	0	1	
		100.0%	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	
70歳代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	27	42	12	6	5	7	5	1	1	5	
		155.6%	44.4%	22.2%	18.5%	25.9%	18.5%	3.7%	3.7%	18.5%	

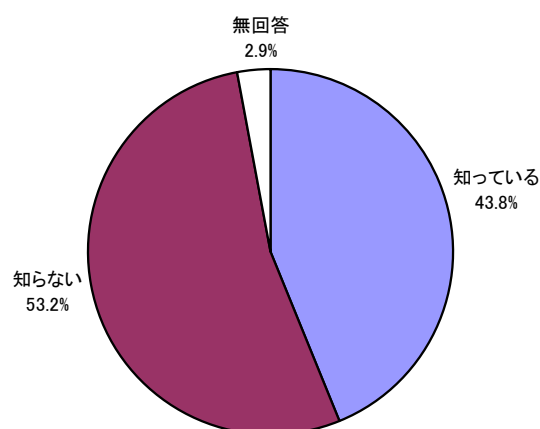
(7) 災害・防災

①避難場所の認知状況

(単数回答)

回答者の避難場所の認知状況は、「知らない」が 53.2%、「知っている」が 43.8%となっている。

問32 災害が起きたときの地域の避難場所を知っているか (n=511)

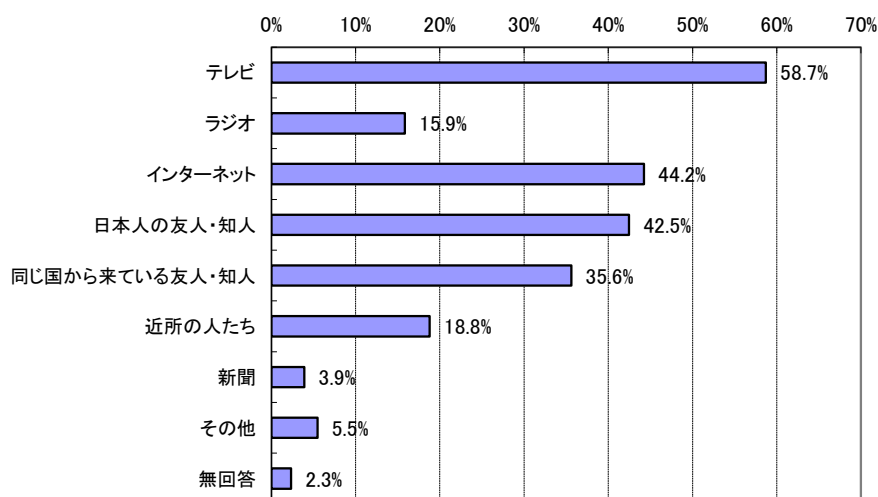


②災害時の情報入手方法

(複数回答)

回答者の災害時の情報入手方法は、「テレビ」が 58.7%と最も多く、「インターネット」が 44.2%、「日本人の友人・知人」が 42.5%となっている。

問33 災害が起きたときに必要な情報はどこから手に入れるか(n=511)

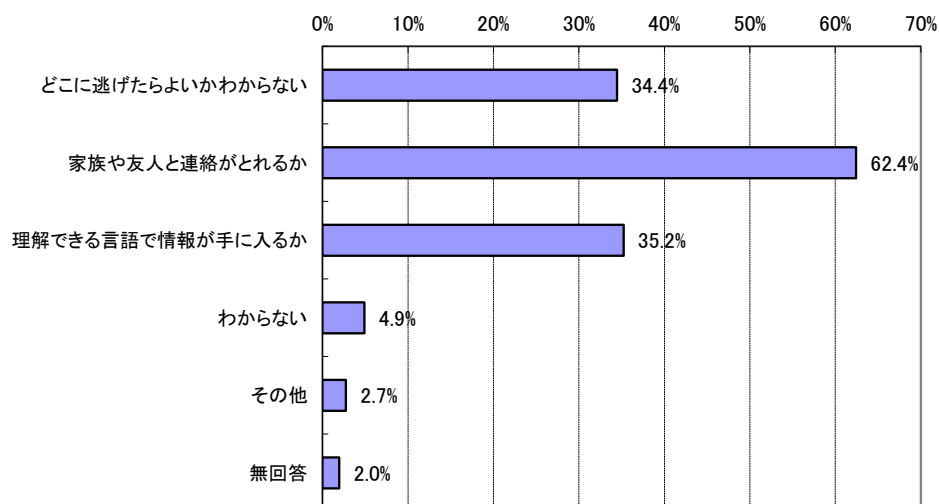


③災害時の心配ごと

(複数回答)

回答者の災害時の心配ごとは、「家族や友人と連絡がとれるか」が 62.4%と最も多く、「理解できる言語で情報が手に入るか」が 35.2%、「どこに逃げたらよいかわからない」が 34.4%となっている。

問34 災害が起きたときに心配なこと(n=511)

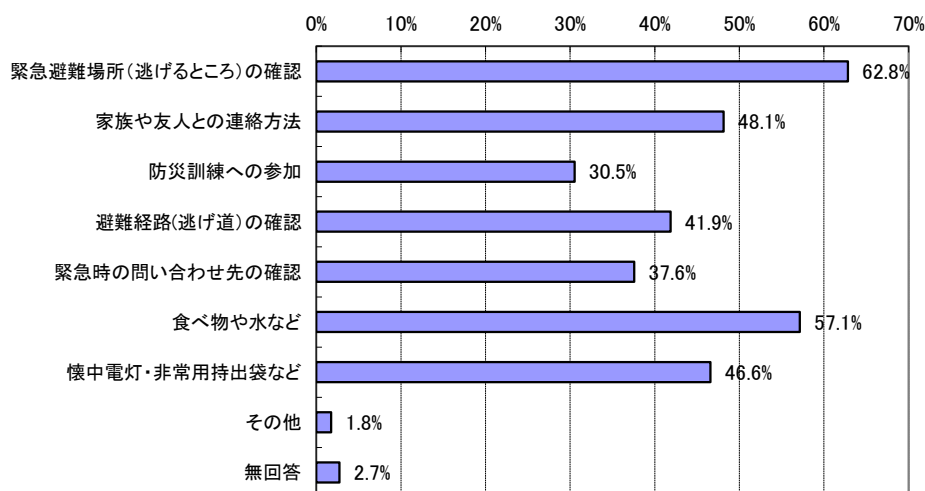


④防災への日頃からの備え

(複数回答)

回答者の防災への日頃からの備えは、「緊急避難場所(逃げるところ)の確認」が62.8%と最も多く、「食べ物や水など」が57.1%、「家族や友人との連絡方法」が48.1%となっている。

問35 防災について、日頃から備えておくべきこと(n=511)



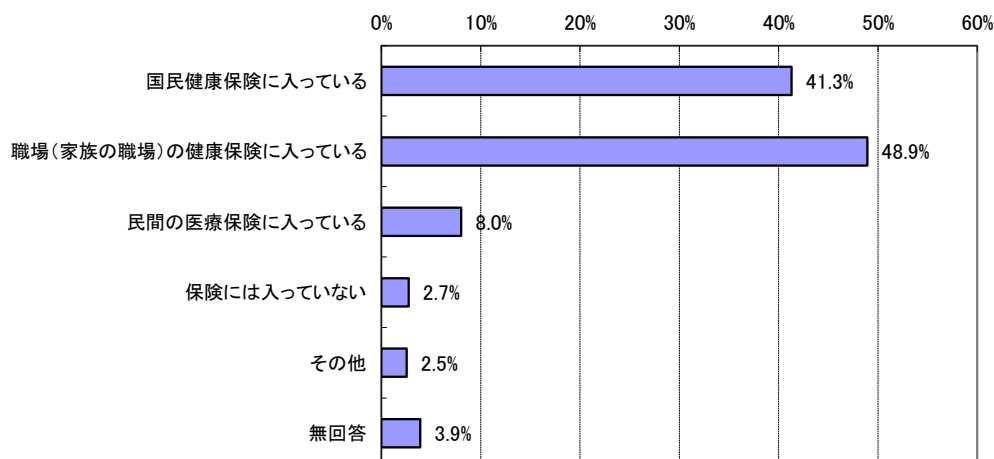
(8) 医療・保険

①医療保険の加入状況

(複数回答)

回答者の医療保険の加入状況は、「職場(家族の職場)の健康保険に入っている」が48.9%と最も多く、「国民健康保険に入っている」が41.3%、「民間の医療保険に入っている」が8.0%となっている。

問36 国民健康保険などの医療保険に入っているか (n=511)

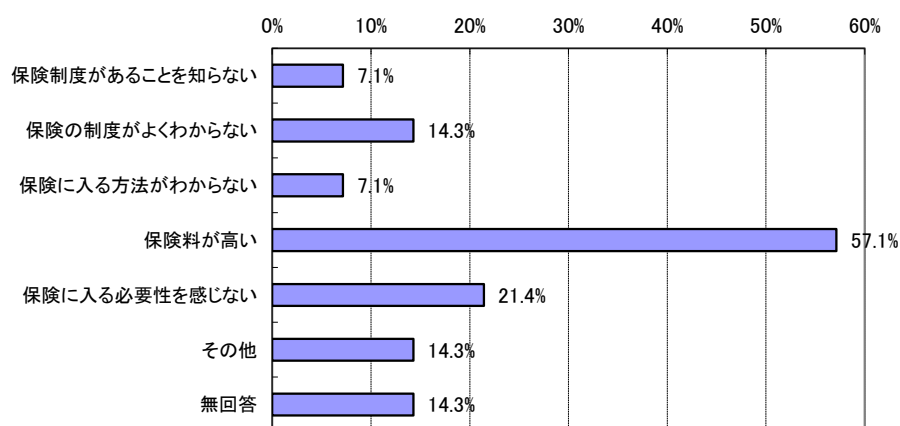


②未加入の理由

(複数回答)

問36で保険には入っていないと回答した回答者の未加入の理由は、「保険料が高い」が57.1%と最も多く、「保険に入る必要性を感じない」が21.4%、「保険の制度がよくわからない」「その他」が共に14.3%となっている。

問37 なぜ保険に入らないのか(n=14)

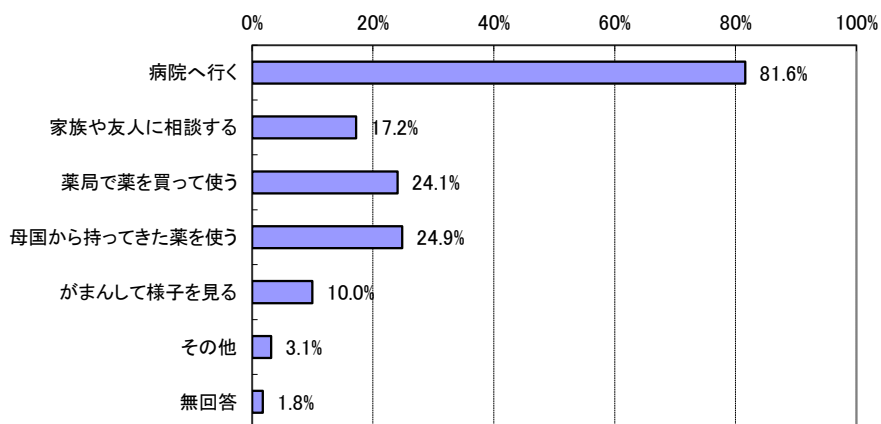


③病気やけがの対応

(複数回答)

回答者の病気やけがの対応は、「病院へ行く」が81.6%と最も多く、「母国から持ってきた薬を使う」が24.9%、「薬局で薬を買って使う」が24.1%となっている

問38 病気やけがのときは、どうしているか(n=511)

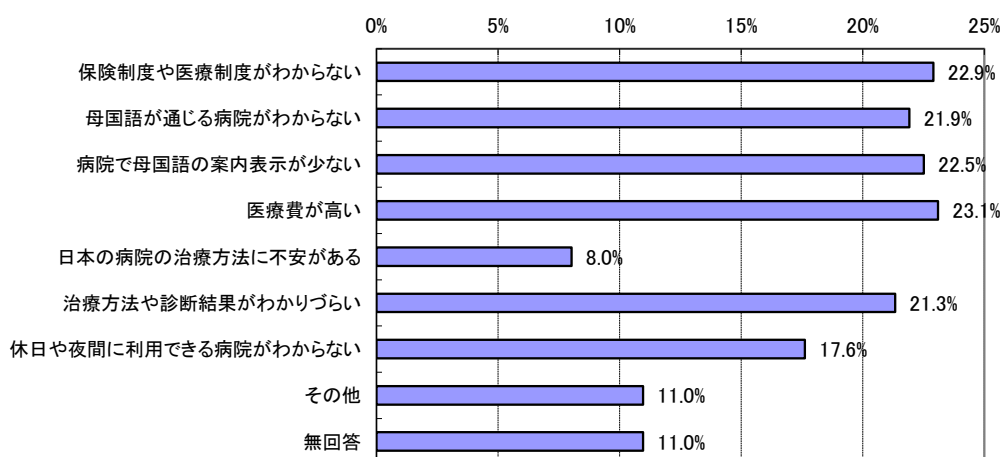


④保険や医療の困りごと

(複数回答)

回答者の保険や医療の困りごとは、「医療費が高い」が23.1%と最も多く、「保険制度や医療制度がわからない」が22.9%、「病院で母国語の案内表示が少ない」が22.5%となっている。

問39 保険や医療のことでこまっていることや心配なこと(n=511)



【在留資格別に見た保険や医療の困りごと】

在留資格として「短期滞在」のグループは、『保険制度や医療制度がわからない』の割合が全体と比較して高い。一方、「長期滞在」グループは、『病院で母国語の案内表示が少ない』『治療方法や診断結果がわかりづらい』の割合が全体と比較して高い。

「短期滞在」のグループは、そもそも制度自体が分からないという傾向があり、「長期滞在」のグループは、受診に関わる具体的な内容に不便さを感じている傾向が伺える。

		n	合計	保険制度や医療制度がわからない	母国語が通じる病院がわからない	病院で母国語の案内表示が少ない	医療費が高い	日本の病院の治療方法に不安がある	治療方法や診断結果がわかりづらい	休日や夜間に利用できる病院がわからない	その他	無回答
全体		511	814	117	112	115	118	41	109	90	56	56
			159.3%	22.9%	21.9%	22.5%	23.1%	8.0%	21.3%	17.6%	11.0%	11.0%
在留資格	短期	270	383	68	53	38	59	18	45	46	34	22
			141.9%	25.2%	19.6%	14.1%	21.9%	6.7%	16.7%	17.0%	12.6%	8.1%
	長期	229	408	47	57	74	53	21	62	41	22	31
			178.2%	20.5%	24.9%	32.3%	23.1%	9.2%	27.1%	17.9%	9.6%	13.5%
	無回答	12	23	2	2	3	6	2	2	3	0	3
			191.7%	16.7%	16.7%	25.0%	50.0%	16.7%	16.7%	25.0%	0.0%	25.0%

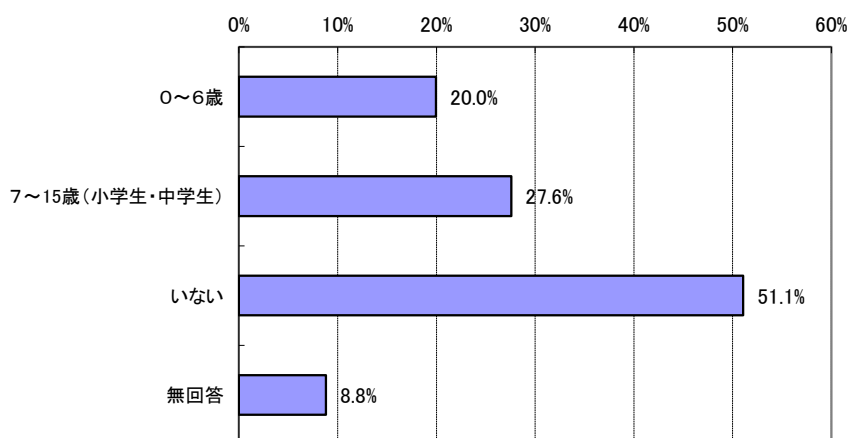
(9) 子育て・教育

①15歳以下の子どもの状況

(複数回答)

回答者の15歳以下の子どもの状況は、「いない」が51.1%と最も多く、「7～15歳(小学生・中学生)」が27.6%、「0～6歳」が20.0%となっている。

問40 15歳以下の子どもがいるか(n=511)

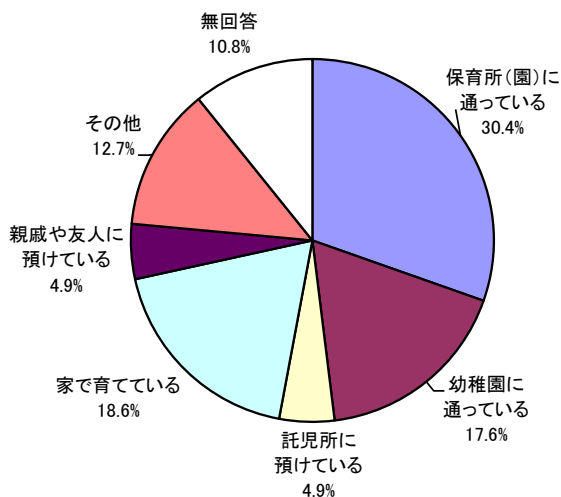


②保育所等への通園状況

(単数回答)

問40で0～6歳の子どもがいると答えた回答者の保育所等への通園状況は、「保育所(園)に通っている」が30.4%と最も多く、「家で育てている」が18.6%、「幼稚園に通っている」が17.6%となっている。

問41 子どもは保育所(保育園)などに通っているか(n=102)

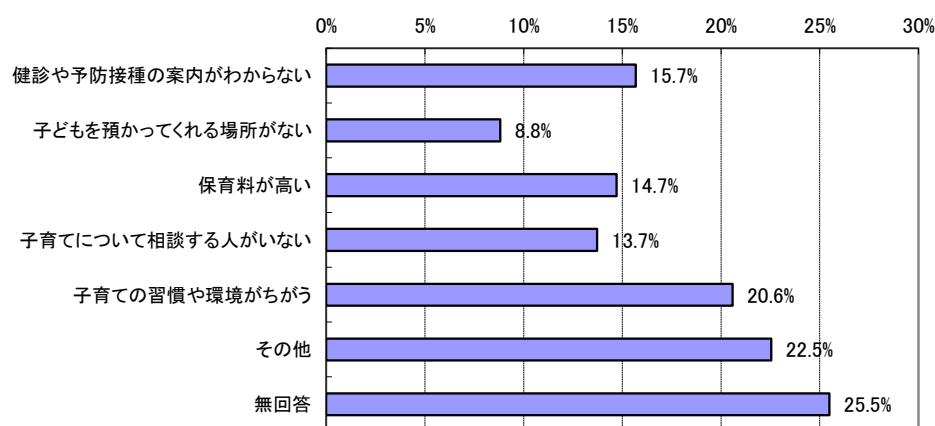


③子育ての困りごとや心配ごと

(複数回答)

問 40 で 0～6 歳の子どもがいると答えた回答者の子育ての困りごとや心配ごとは、「その他」が 22.5%と最も多く、「子育ての習慣や環境がちがう」が 20.6%、「健診や予防接種の案内がわからない」が 15.7%となっている。

問42 子育てで困っていることや心配なこと(n=102)



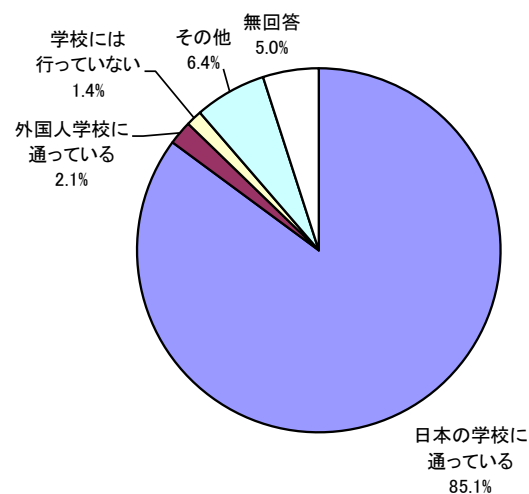
「その他」の内容について見ると、23 件中 14 件に記入があり、特になし (9 件)、日本に子どもがいない (2 件)、子どもの躰が分からない (2 件)、幼稚園の預かり時間が短い (1 件) という結果となった。

④学校への通学状況

(単数回答)

問 40 で 7～15 歳 (小学生・中学生) の子どもがいると答えた回答者の学校への通学状況は、「日本の学校に通っている」が 85.1%と最も多く、「その他」が 6.4%、「外国人学校に通っている」が 2.1%となっている。

問43 子どもは学校に通っているか(n=141)

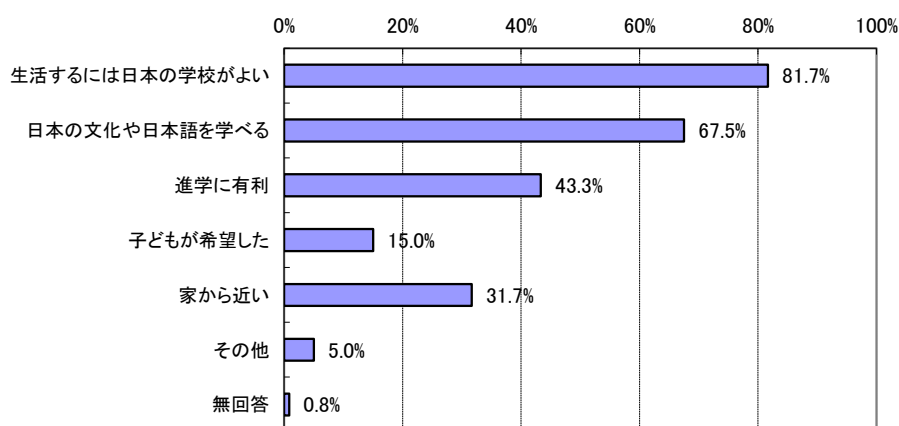


⑤日本の学校を選択した理由

(複数回答)

問 43 で日本の学校に通っていると答えた回答者が日本の学校を選択した理由は、「生活するには日本の学校がよい」が 81.7%と最も多く、「日本の文化や日本語を学べる」が 67.5%、「進学に有利」が 43.3%となっている。

問44 日本の学校を選んだのはなぜか(n=120)

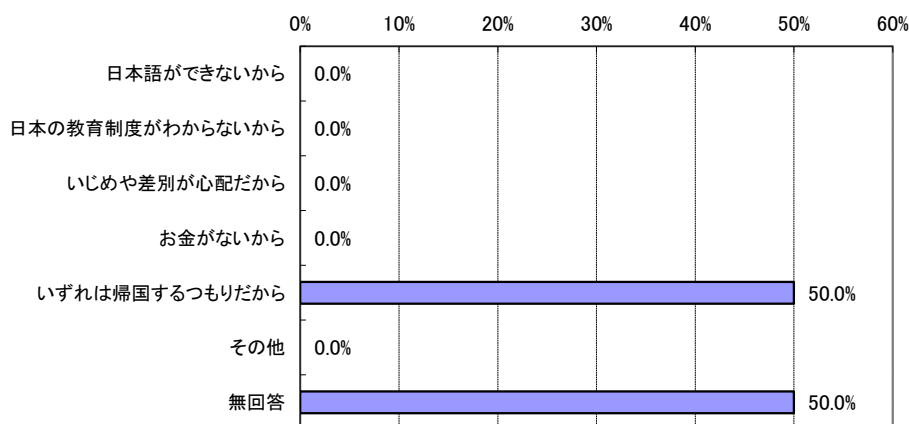


⑥学校に行っていない理由

(複数回答)

問 43 で学校には行っていないと答えた回答者の学校に行っていない理由は、「いずれは帰国するつもりだから」が 50.0%となっている。

問45 学校に行っていないのはなぜか(n=2)

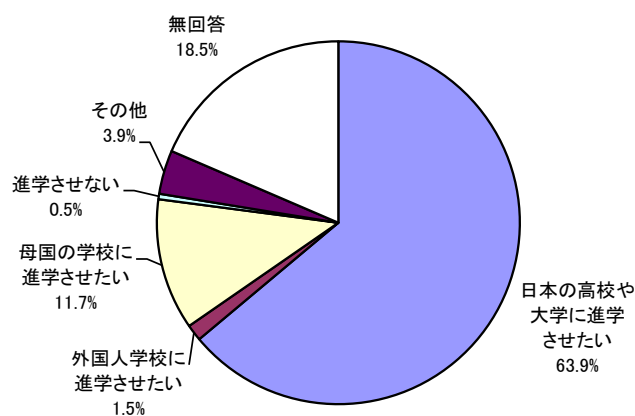


⑦将来の子どもの進路の希望

(単数回答)

問 40 で 15 歳以下の子どもがいると答えた回答者の将来の子どもの進路の希望は、「日本の高校や大学に進学させたい」が 63.9%と最も多く、「母国の学校に進学させたい」が 11.7%、「その他」が 3.9%となっている。

問46 将来は子どもをどのような進路に進ませたいか(n=205)

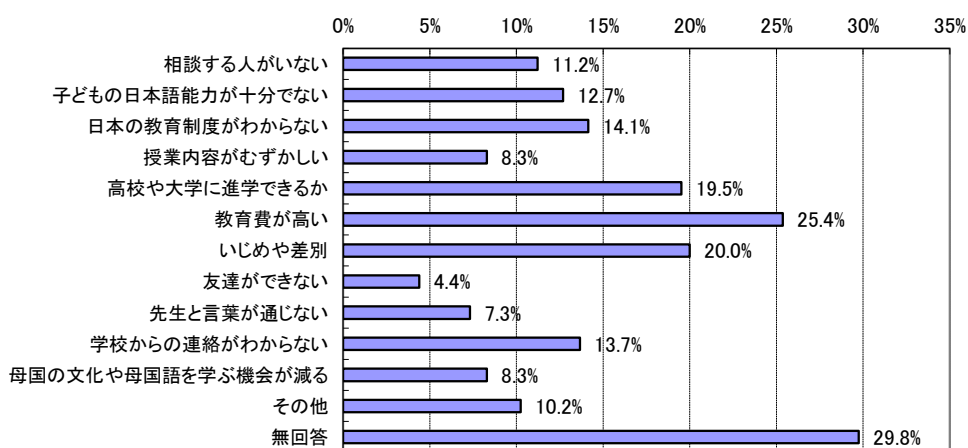


⑧子どもの教育に関する困りごとや心配ごと

(複数回答)

問 40 で 15 歳以下の子どもがいると答えた回答者の子どもの教育に関する困りごとや心配ごとは、「教育費が高い」が 25.4%と最も多く、「いじめや差別」が 20.0%、「高校や大学に進学できるか」が 19.5%となっている。

問47 子どもの教育でこまっていることや心配なこと(n=205)



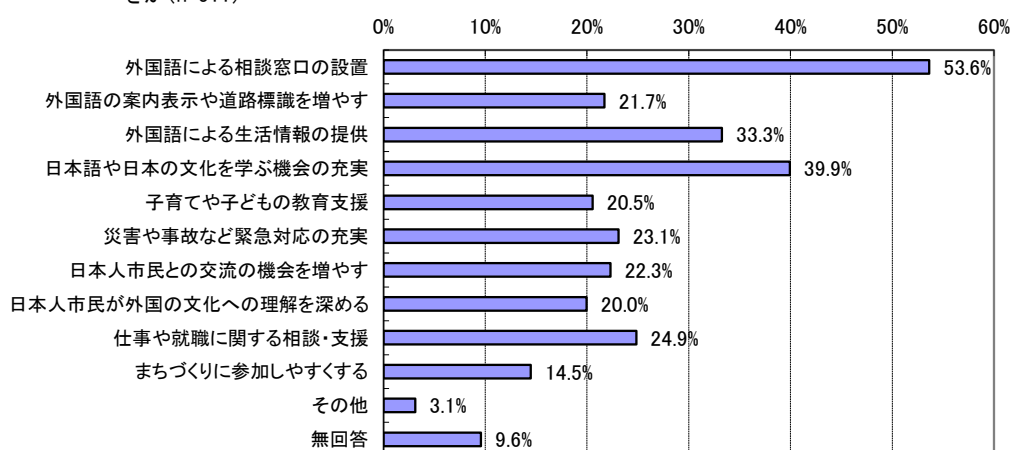
(10) 行政がすべき施策

(複数回答)

回答者の考える外国人市民にとって土浦市がもっと暮らしやすいまちになるために、行政がすべき施策は、「外国語による相談窓口の設置」が 53.6%と最も多く、「日本語や日本の文化を学ぶ機会の充実」が 39.9%、「外国語による生活情報の提供」が 33.3%となっている。

また、問 23（情報の入手方法）では、「市役所窓口」の割合が低い傾向にあったのに対し、問 48 では「外国語による相談窓口の設置」の割合が最も高くなっている。今後、外国人市民への窓口サービスの充実と十分な周知が必要と想定される。

問48 外国人市民にとって土浦市がもっと暮らしやすいまちになるために、行政は何をするべきか(n=511)



【在留資格別に見た行政がすべき施策】

在留資格として「短期滞在」のグループは、『日本語や日本の文化を学ぶ機会の充実』の割合が全体と比較して高い。一方、「長期滞在」グループは、『外国語による生活情報の提供』『子育てや子どもの教育支援』『仕事や就職に関する相談・支援』の割合が全体と比較して高い。

		n	合計	外国語による相談窓口の設置	外国語の案内表示や道路標識を増やす	外国語による生活情報の提供	日本語や日本の文化を学ぶ機会の充実	子育てや子どもの教育支援	災害や事故など緊急対応の充実	日本人市民との交流の機会を増やす	日本人市民が外国の文化への理解を深める	仕事や就職に関する相談・支援	まちづくりに参加しやすくする	その他	無回答
全体		511	1464	274	111	170	204	105	118	114	102	127	74	16	49
			286.5%	53.6%	21.7%	33.3%	39.9%	20.5%	23.1%	22.3%	20.0%	24.9%	14.5%	3.1%	9.6%
在留資格	短期	270	697	136	55	79	123	15	59	69	47	48	36	2	28
			258.1%	50.4%	20.4%	29.3%	45.6%	5.6%	21.9%	25.6%	17.4%	17.8%	13.3%	0.7%	10.4%
	長期	229	740	131	52	89	77	88	56	45	53	78	38	14	19
			323.1%	57.2%	22.7%	38.9%	33.6%	38.4%	24.5%	19.7%	23.1%	34.1%	16.6%	6.1%	8.3%
	無回答	12	27	7	4	2	4	2	3	0	2	1	0	0	2
			225.0%	58.3%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	25.0%	0.0%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%

(11) 自由意見のまとめ

①多言語表記による情報提供や情報発信（21件）

- 広報紙のタイ語版をつくることを提案したいと思う。それは日本語の読み書きができない人達にとって貴重な情報のソースだと思う。
- お知らせに書かれていることを理解するのが難しい。提案だが、お知らせを英語で書いてもらえないか。
- 土浦の地元の祭りやスポーツやイベントの情報をもっと外国語で発信して欲しい。キララまつりなど。
- バスを利用するとき、外国語（英語）に書かれている時刻表がない。また、電車の路線マップも日本語（漢字）でしか書かれていない。
- 漢字とローマ字で表示する。
- 全ての病院や医院で外国語、特に英語の案内があれば、とても良いと思う。
- 外国人向けの情報はあまりない。土浦市の美しさ、文化をより広げるために、外国人向けの観光地や文化の情報を沢山作って欲しい。
- 道路標識に英語も追加してくれると良い。
- 土浦市の生活・文化などの情報をインターネットにアップすべき。
- 英語で土浦市の facebook グループがあればとてもすばらしい。

②治安の改善、安全の確保（18件）

- 車の運転マナーが悪い。子供が危ない。すぐにクラクションを鳴らす。スピードを出す。
- 通学路に電灯（街灯）が少ない。
- 町の平和を邪魔するバイクに乗った人が迷惑をかけていること。
- 子供たちが遊ぶことができる適切な場所が不足している。
- 治安があまり良くなく、沢山の外国人の物が盗まれたことがある。なので、土浦市役所に防犯の面で今以上にしっかり取組んで盗難事件を減らすように努力して欲しい。
- 私たちが利用しているゴミステーションが古過ぎる、改善して欲しい。
- 動物の死体が道路に転がっているのを見かけたことがある、死んだ動物を道路に捨てないで欲しい。

③日本語教室、日本の文化等の講座（15件）

- 外国から来ている人たちの多くが仕事をするために来ているのだから、無料での日本語教室などがあると嬉しいと思う。また、開催しているのであれば、日程などについても多くの方に知って貰えるようなシステムにしていかなければと思う。

- 外国人向けの無料の日本語教室があるコミュニティがあればよいと思う。
- 各地域のコミュニティセンターで日本語講座を受講できたら夜間でも受けられる。私は一般的な文化について学びたい。
- 日本語を勉強する機会を与えて欲しい。公民館などでも構わない。日本語を習いたいので土浦市に日本語の学校などを増やして欲しい。
- 日本語の勉強についての相談窓口を設置して欲しい。
- 私は日本のライフスタイルや風習・習慣などをとても知りたいが、知る機会がなかなか無い。しかも、日本の地理・人文などもよく分からない為、普段の生活の中、困る事が度々ある。

④交流の場（9件）

- 日本の文化や言語に触れられるイベントに参加したい。
- 今後は外国人がもっと土浦のことが知ることができるようなイベントをより多く開催して欲しい。
- 休日はポジティブな活動をやりたくて、団体の行事に参加したい。
- 私は去年地域の“そば大会”にも参加した。今回の参加は私自身の日本語学習や文化交流の面に大変役立った。参加した日本の方々もとても親切で友好的だった。こういう外国人が参加できるような文化交流会や郷土風習展示などのイベントをこれからも沢山行って欲しい。
- 土浦市で運動会や日本の風習や習慣を紹介するイベントにも参加したい。
- 公的機関の主催で同じ国から来た人たちの集会を行なって欲しい。

⑤生活に係るコストの低減（9件）

- 税金を安くして欲しい（住民税）。
- 税金がとても高い。
- 国民健康保険料は家族の収入に合わせて支払額を修正できないか。とても負担になっている。自分でオプションを選べるようにして欲しい。
- 高校の授業料が高すぎる。私立高校の授業料が払えない又は通えない人に対して公立の学校がもっと必要である。

⑥外国人の受入体制（6件）

- 外国人に対する理解が足りないことと外国人に閉鎖的であることにすごくびっくりする時がある。
- 外国人と日本人の関係があまりにも距離を感じる。

⑦市役所等の相談窓口（5件）

- 外国語による相談窓口の設置は大事だと思う。それ以外に外国人は日本の法律、政府の規則等々に対して十分に理解していないで、役所窓口の方々の十分の説明が必要ではと思う。日本人の優しい心が外国人に見せられるので、それは外国人が日本（土浦）での生活の第一歩になる。市役所職員の対応はそこに登録しに来た外国人の方の土浦市に対する第一印象になると思う。いい印象を持ったら、外国人は役所に行って相談しやすくなる、利用しやすくなる。
- 市役所に行く度に少し英語が話せる人がいて幸運だった。週のうち何日か外国語のボランティアがいるとよいと思う。
- 日本語の勉強についての相談窓口を設置して欲しい。

⑧外国語を話せるスタッフ（2件）

- 医療機関と市役所で、特にポルトガル語での相談が受けられない。
- 医療について外国語による問合せ窓口の設置をして欲しい。

⑨雇用の場の確保（3件）

- 10年以上働いても給料は上がらないし、母国へ一度帰国すると給料は下げられていて、会社は私たちがそれに気がつかないと思っている。後から入社した人の方が高い給料をもらっている。
- 永住権をもった外国人の両親や子供にもっと公共の直接雇用の機会を与える（フルタイム）。派遣の雇用には昇進もない。外国人を平等に扱って欲しい。
- 実習生と日本人スタッフの待遇に差がある。会社が実習生に与えた給料が低すぎる。

⑩その他

- 日本語のクラス受講時、受講時間外でも毎日託児施設があればすばらしい。
- 娘を土浦市の県立高校に通わせたいが、公立高校への入学資格がない。私立高の授業料は払いきれないし、どうすればよいか。
- イスラム教徒の礼拝施設がない。

第4章 地域における外国人市民に関するアンケート

I 実施概要

①実施概要

- ・ 調査実施時期：平成 25 年 10 月～11 月
- ・ 調査対象：市内 172 町内会
- ・ 調査項目：外国人市民の町内会への加入状況や行事への参加状況、町内での困りごとなど全 3 項目
- ・ 配布方法：郵送（町内会アンケートと一緒に配布）
- ・ 回収方法：郵送（町内会アンケートと一緒に回収）

②調査結果

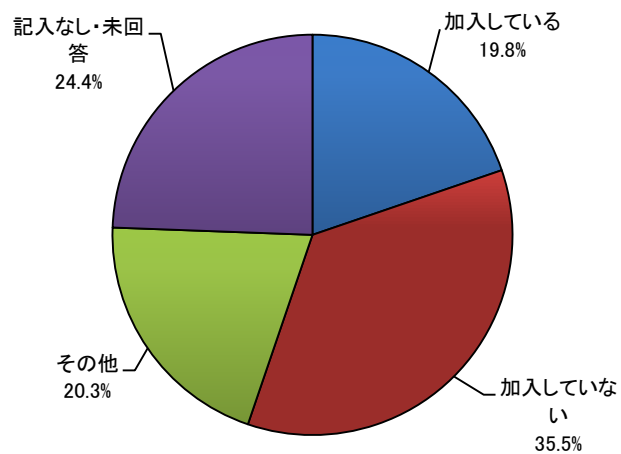
対象町内会数	回答町内会数	回収率
172	170	98.8%

II 分析結果

(1)-1 外国人世帯の町内会加入について（単数回答）

外国人世帯の町内会加入状況は、「加入していない」が 35.5%と最も多く、「その他」20.3%、「加入している」19.8%であった。

問1 外国人世帯の町内会加入について(n=172)

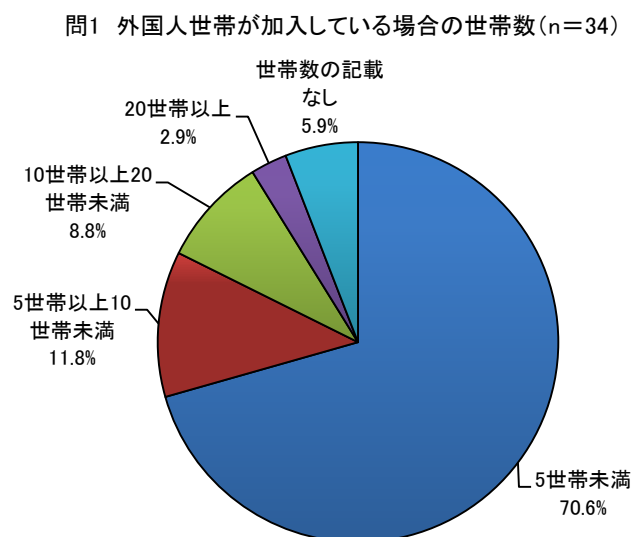


● 「その他」「記入なし・未回答」の主な理由

- ・ 事業所と思われるところはある。(町会費は徴収している)
- ・ 一部加入しているが、加入していない世帯も多い。
- ・ 外国人がいない。
- ・ 外国人世帯が無い。
- ・ アパート居住者の把握が出来ないので不明。
- ・ 外国人世帯を把握していない。

(1)-2 外国人世帯が加入している場合の世帯数について（単数回答）

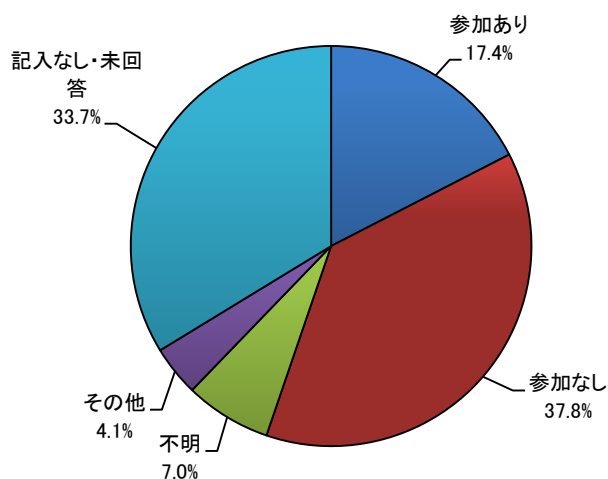
外国人世帯が加入している場合の世帯数は、「5世帯未満」が70.6%と最も多く、「5世帯以上10世帯未満」11.8%、「10世帯以上20世帯未満」8.8%であった。



(2)-1 外国人市民の町内会行事の参加について（単数回答）

外国人市民の町内会行事の参加状況は、「参加なし」が37.8%と最も多く、「記入なし・未回答」33.7%、「参加あり」17.4%であった。

問2 外国人市民の町内会行事の参加について(n=172)

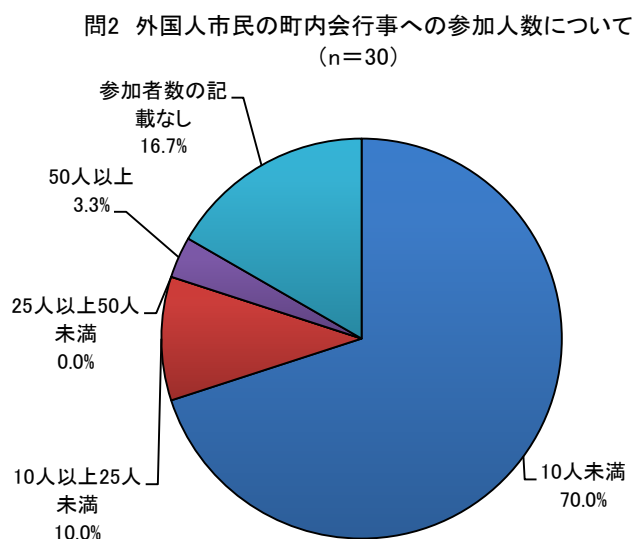


● 「その他」と回答した主な理由

- ・参加はあるが人数は把握していない。
- ・参加をするのは子どもがいる人。

(2)-2 町内会行事への参加ありの場合の人数

外国人市民の町内会行事の参加ありの場合の人数は、「10人未満」が70.0%と最も多く、「10人以上25人未満」10.0%、「50人以上」3.3%であった。



(3) 外国人市民に関する町内での困りごとなどについての主な意見

- ・ごみの出し方で困っている。マナーが悪い。特に外国人が経営する飲食店がひどい。
- ・外国人はいないが、他町内から来る人が多い。犬の散歩で糞を放置したりゴミを置いていく、公園にコンビニ弁当のゴミを放置していくなど、見かけたときは声を掛け合おうと町内会だよりに掲載しているが、浸透しない。
- ・戸建持家に外国人が居住しているが、特に問題はありません。
- ・外国人世帯とおぼしき人たちがまとまって住んでいる所があるが、町内会に未加入で、普段の交流もないため詳細は不明。
- ・外国人世帯の人たちとのトラブル等は報告されていない。
- ・日本人と結婚している世帯は把握しているが、夫婦とも外国人世帯は把握していない。
- ・外国人市民のみの世帯が町内に住むことがこれからは充分発生しうることなので、他町内会の状況（問題点）の情報がほしい。
- ・町内会に未加入（アパート等に入居している）外国人（タイ人・フィリピン人）などは生ゴミ（分別収集含む）をよく理解していないので困っている。
- ・言葉が通じなくコミュニケーションがとれないため、町内会に加入してもらっても、市報をはじめ、他の住民と同レベルのサポートができないので、積極的に加入活動を行えない。
- ・外国人がいれば、大いに歓迎します。異文化交流のため。
- ・アパート居住の外国人がごみ出しのルールが守れないため、大家への徹底、外国語表示の注意札が必要。

- ・深夜、屋外で大声で話したり花火をする人がいる。風習の違いからか？日本人にもこのような人はいるが…。
- ・集合住宅に住む外国人は、ゴミ集積場の排出基準が守られていない。
- ・町内行事には進んで参加しているし、特に意見等はありません。また、同世帯者も戸建ですので、区費等に関しても問題ありません。
- ・協力的に参加をいただいています。
- ・言葉の問題が一番。
- ・アパートに住んでいる外国人とそのアパートの住人が、ごみの問題で一時ボヤ騒ぎがありました。その後アパートの持ち主と市との話し合いがあり、解決しました。
- ・ドラムやたいこを叩いたり、夜遅くまで騒ぐ時がある。夏には夜中1時過ぎまで外でお酒を飲み話している。窓を開けて寝ていると話し声が聞こえるので派出所に電話をしてパトロールに来てもらった。2～3歳の子供もいるが、夜中1時過ぎでも外から声がする時がある。さらに誕生会などがあると他からも集まってくる。